

# Panasonic®

## 取扱説明書 活用ガイド

デジタルカメラ/レンズキット/ボディ

品番 DMC-GX7C/DMC-GX7

### LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(付属冊子「取扱説明書」)を必ずお読みください。



困ったときは?

メッセージ表示: 278 ページ  
Q & A 故障かな? と思ったら: 289 ページ

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

VQT5B22-2  
F0713MY2093

# 知りたいことの探し方

取扱説明書 活用ガイドでは、知りたいことを以下のページから探すことができます。  
参照ページをクリックすると、該当ページへ移動するので、知りたいことを素早く探せます。

## 「目次」から探す

はじめに	P4
準備	P4
基本	P5
撮影モード	P5
画像・画質の設定	P6
ピント・露出の設定	P6
シャッター(ドライブ)の設定	P6
被写体・目的に合わせた機能	P7
手ブレ・ズーム・フラッシュ	P7
動画	P7
再生・編集	P8
Wi-Fi・NFC	P8
他の機器との接続	P9
その他・Q&A	P9



P4 ~

## 「モニター/ファインダーの表示」から探す

カメラに表示された メッセージから探す	P278 ~
—メッセージ表示—	



P272 ~

## メニュー名から探す

—メニュー一覧—	
撮影	P282
動画	P284
カスタム	P285
セットアップ	P287
再生	P288



P282 ~

## 機能から探す

—機能別目次—



P10 ~

## 「Q & A 故障かな? と思ったら」から探す



P289 ~

## 「各部の名前と働き」 から探す



P15 ~

## キーワードから探す —さくいん—



P311 ~

本書の詳しい読み方は、次ページへ

Wi-Fi・NFCについては、210 ページへ

# GX7



## 本書の見方



使えるモード: C1 C2 C3 SCN

説明している機能がどの撮影モードで使えるかを表しています。

- 黒のアイコン : 使えるモード
  - グレーのアイコン : 使えないモード

**C1**、**C2**、**C3**は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。



クリックすると「知りたいことの探し方」のページに移動します。



クリックすると「目次」のページに移動します。



クリックすると「メニュー一覧」のページに移動します。



クリックすると「さくいん」のページに移動します。



クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。

クリックすると、説明が  
次のページに続きます。

- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
  - Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
  - お使いのAdobe Readerのバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

## ■ 本文中の記号について

**MENU:** 「MENU/SET」ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

**Wi-Fi :** [Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。



カスタムメニューで設定を行う項目を示しています。



上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。



特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

(P\*\*): 参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン→[撮影]→[クオリティ]→[■]

# 目次

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

はじめに P4	ピント・露出の設定 P6	再生・編集 P8
準備 P4	シャッター(ドライブ)の設定 P6	Wi-Fi・NFC P8
基本 P5	被写体・目的に合わせた機能 P7	他の機器との接続 P9
撮影モード P5	手ブレ・ズーム・フラッシュ P7	その他・Q&A P9
画像・画質の設定 P6	動画 P7	

知りたいことの探し方.....	2
本書の見方.....	3
目次 .....	4
機能別目次.....	10

## はじめに

ご使用の前に .....	12
同梱品.....	13
各部の名前と働き .....	15
本機に使用可能なレンズ.....	23

## 準備

レンズを交換する .....	24
ショルダーストラップを付ける .....	26
バッテリーを充電する.....	27
充電する .....	27
使用時間と撮影枚数の目安 .....	29
バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す .....	31
カードについて .....	32
本機で使用できるカードについて .....	32
カードをフォーマット(初期化)する .....	33
記録可能枚数・時間の目安 .....	33
時計を設定する .....	35
時計設定を変更する .....	35
メニューを使って設定する .....	36
メニューの設定方法 .....	36
よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー).....	38
クイックメニューをお好みの項目に変更する .....	40
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン).....	41
本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー) .....	43
文字を入力する .....	51

**基本**

<b>本機の構え方について</b>	52
構えた向きを検出する(縦位置検出機能)	52
<b>ファインダー撮影について</b>	53
モニターとファインダーを切り換える	53
アイセンサーAFについて	54
タッチパッドでピントを合わせる位置を設定する	54
<b>写真を撮る</b>	55
タッチシャッター機能を使って撮る	56
<b>動画を撮る</b>	57
<b>撮影モードを選ぶ</b>	58
<b>撮影画面の表示情報を切り換える</b>	60
<b>再生する</b>	63
写真を見る	63
動画を見る	65
再生画面の表示情報を切り換える	66
<b>画像を消去する</b>	67

**撮影モード**

<b>カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)</b>	68
背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)	71
明るさや色合いを変えて撮る	72
<b>お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)</b>	73
<b>絞り/シャッタースピードを決めて撮る</b>	75
絞り優先AEモード	75
シャッター優先AEモード	76
マニュアル露出モード	77
絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)	79
絞り/シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる (ワンプッシュAE)	80
<b>撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)</b>	81
<b>画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)</b>	92
<b>絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)</b>	102
動画撮影中の操作音を抑えて撮る	103
<b>お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)</b>	104
お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)	104
登録したカスタムセットで撮る	105



## 画像・画質の設定

効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル) .....	107
明るい/暗い部分を調整する(ハイライトシャドウ) .....	109
ホワイトバランスを調整する .....	110
画質とサイズを設定する .....	114
画像の横縦比を選ぶ .....	114
記録画素数を設定する .....	114
画像の圧縮率を設定する(クオリティ) .....	115
画像に関する機能を設定する .....	116
コントラストや露出を補正する(iDレンジコントロール) .....	116
解像感を高める(超解像) .....	116
露出の異なる写真を合成する(HDR) .....	117
長秒露光時のノイズを低減する(長秒ノイズ除去) .....	118
画面周辺の明るさを補正する(シェーディング補正) .....	118
色空間を設定する .....	119

## ピント・露出の設定

自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) .....	120
フォーカスマードについて(AFS、AFF、AFC) .....	121
オートフォーカスマードの種類 .....	122
ピントの合わせ方をお好みに設定する .....	127
手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス) .....	129
露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック) .....	134
露出を補正して撮る .....	135
明るさの測り方を選ぶ(測光モード) .....	137
1枚の写真に複数回の露出をする(多重露出) .....	138
狙った場所に簡単に明るさを合わせる(タッチ AE) .....	139
ISO感度を設定する .....	141
ISO感度の上限を設定する .....	142
ISO感度のステップ幅を設定する .....	142
ISO感度を拡張する .....	142

## シャッター（ドライブ）の設定

ドライブモードを選ぶ .....	143
連写する .....	144
露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影) .....	146
セルフタイマーを使って撮る .....	148



## 被写体・目的に合わせた機能

撮影間隔を空けて自動的に撮影する(インターバル撮影) .....	150
ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ) .....	152
操作音と発光の禁止を一括で設定する(サイレントモード) .....	155
シャッター音を鳴らさずに撮影する(電子シャッター) .....	156
顔を登録してきれいに撮影する(個人認証) .....	157
赤ちゃんやペットのプロフィールを設定して画像に記録する .....	160

## 手ブレ・ズーム・フラッシュ

<b>手ブレを補正する .....</b>	<b>161</b>
レンズの手ブレ補正機能を使う .....	162
本体の手ブレ補正機能を使う .....	163
シャッターによるブレを抑える .....	165
<b>ズームを使って撮る .....</b>	<b>166</b>
望遠効果を上げる .....	167
タッチ操作でズームを使う .....	171
<b>フラッシュを使って撮る .....</b>	<b>172</b>
フラッシュモードを切り換える .....	174
後幕シンク口に設定する .....	176
フラッシュの発光量を調整する .....	176
露出補正時に内蔵フラッシュ発光量を連動させる .....	177
発光モードを変更する(マニュアルフラッシュ) .....	177
ワイアレスフラッシュの設定をする .....	178
赤目を補正する .....	180

## 動画

<b>動画を撮る .....</b>	<b>181</b>
フォーマット、サイズ、フレームレートを設定する .....	181
動画撮影時のピントの合わせ方(AF連続動作) .....	182
動画を撮る .....	183
<b>動画撮影中に写真を記録する .....</b>	<b>185</b>
<b>動画撮影メニューを使う .....</b>	<b>186</b>
記録方式 .....	186
画質設定 .....	186
動画露出設定 .....	186
写真撮影 .....	186
AF連続動作 .....	186
動画ハイライト表示 .....	186
EX テレコン(動画) .....	186
フリッカー軽減 .....	187
タッチ静音操作 .....	187
マイクレベル表示 .....	187
マイクレベル設定 .....	187
風音低減 .....	187

**再生・編集**

再生方法を切り換える .....	188
複数の画像を一覧表示する(マルチ再生) .....	188
画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生) .....	188
グループ画像を見る .....	189
2D/3D切換 .....	190
スライドショー .....	190
再生モード .....	192
<b>再生機能を使う .....</b>	<b>193</b>
動画から写真を作成する .....	193
位置情報記録 .....	194
不要な部分を消去する(クリアレタッチ) .....	195
タイトル入力 .....	196
文字焼き込み .....	197
動画分割 .....	199
インターバル動画作成 .....	200
コマ撮りアニメ作成 .....	201
リサイズ(縮小) 画像サイズ(画素数)を小さくする .....	202
トリミング(切抜き) 画像を切り抜く .....	203
画像回転 / 縦位置自動回転 .....	204
お気に入り .....	205
プリント設定 .....	206
プロテクト .....	208
認証情報編集 .....	209
消去確認画面 .....	209

**Wi-Fi・NFC**

Wi-Fi® 機能 / NFC 機能について .....	210
Wi-Fi 機能でできること .....	213
<b>スマートフォン/タブレットとつないで使う .....</b>	<b>214</b>
スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする .....	214
スマートフォン/タブレットと接続する .....	215
スマートフォン/タブレットで撮影する(リモート撮影) .....	217
カメラの画像を保存する .....	217
カメラの画像をSNSへ送信する .....	219
スマートフォン/タブレットからカメラに位置情報を送信する .....	219
カメラを操作してスマートフォン/タブレットに画像を送る .....	220
<b>テレビに写真を映す .....</b>	<b>223</b>
プリンターに画像を送る .....	224
AV機器に画像を送る .....	225
パソコンに画像を送る .....	227



<b>Webサービスを利用する</b>	230
Webサービスに画像を送る	230
クラウド同期サービスに画像を送る	233
<b>LUMIX CLUB (PicMate)への登録</b>	235
LUMIX CLUB (PicMate) を設定する	235
宅外 AV 機器を設定する	239
<b>接続について</b>	240
自宅で接続する（ネットワーク経由）	241
外出先で接続する（直接接続）	243
以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する]/[お気に入りから接続する])	244
画像の送信設定について	246
<b>Wi-Fi 設定メニュー</b>	248

## 他の機器との接続

<b>3D写真を楽しむ</b>	250
<b>テレビで見る</b>	253
ビエラリンク(HDMI)を使う	254
<b>写真や動画をパソコンに残す</b>	256
付属のソフトウェアを使う	257
<b>写真や動画をレコーダーに残す</b>	261
<b>プリントする</b>	262
画像に日付を入れるには	265

## その他・Q&A

<b>別売品のご紹介</b>	266
<b>海外旅行先で使う</b>	271
<b>モニター/ファインダーの表示</b>	272
<b>メッセージ表示</b>	278
<b>メニュー一覧</b>	282
撮影	282
動画	284
カスタム	285
セットアップ	287
再生	288
<b>Q &amp; A 故障かな？と思ったら</b>	289
<b>使用上のお願い</b>	303
<b>さくいん</b>	311

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

# 機能別目次

特徴的な機能やよく使う機能を中心に抽出しています。



## 撮影



### 画像効果

超解像	P116
ハイライトシャドウ	P109
フォトスタイル	P107

### AF/MF

オートフォーカスマード	P122
フォーカスマード	P121
AF/AE ロック	P134

### 露出

オートブラケット	P146
測光モード	P137
タッチ AE	P139
多重露出	P138
ワンプッシュ AE	P80
iD レンジコントロール	P116
ISO 感度	P141
HDR	P117

### 手ブレ補正

レンズによる手ブレ補正	P162
本体による手ブレ補正	P163

### フラッシュ

後幕シンクロ	P176
フラッシュ光量調整	P176
フラッシュモード	P174
ワイヤレスフラッシュ設定	P178

### 表現技法

インターバル撮影	P150
クリエイティブコントロールモード	P92
コマ撮りアニメ	P152
パノラマ	P89
3D 撮影	P250

### 動画

クリエイティブ動画モード	P102
--------------	------



## 再生

### 表示 / 再生設定

画像回転 / 縦位置自動回転	P204
スライドショー	P190

### 編集

インターバル動画作成	P200
コマ撮りアニメ作成	P201
トリミング	P203



### 情報追加

位置情報記録	P194
タイトル入力	P196
文字焼き込み	P197

### 画像設定

お気に入り	P205
プロテクト	P208

# 機能別目次(続き)



## Wi-Fi



### 接続

直接接続	P243
Image App	P214
NFC	P216
WPS (プッシュボタン)	P241、243

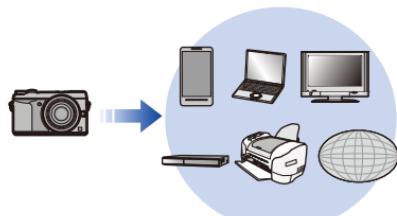
### Image App



位置情報の送信	P219
画像の送信	P218、220
画像の保存	P217
タッチシェアリング	P249
リモート撮影	P217

### 他機器連携

画像のプリント	P224
クラウド同期サービスの利用	P233
パソコンに画像を送信	P227
AV 機器に画像を送信	P225
TV で写真を再生	P223
Web サービスに画像を送信	P230



## 他機器接続

### パソコン



PHOTOfunSTUDIO	P257
SILKYPIX	P257

### テレビ



ビエラリンク	P254
--------	------

### レコーダー



#### ダビング

P261

### プリンター



#### ピクトブリッジ

P262

# はじめに

## ご使用の前に



### ■ 本機の取り扱いについて…



本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。

また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

- 本機を落とす、またはぶつける
- レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特に気をつけください。
- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかることろ

デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

### ■ 露付きについて(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)…



- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますので気をつけください。

- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

### ■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

### ■ 撮影内容の補償はできません

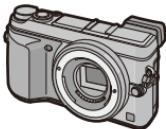
本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

### ■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので気をつけください。

### ■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P303)

# 同梱品



デジタルカメラボディ  
(本文中では**本体**と表記します)

記載の品番は2013年8月現在のものです。変更されることがあります。

## DMC-GX7C(レンズキット商品)に同梱



交換レンズ(H-H020A)  
LUMIX G 20 mm/F1.7 II ASPH.  
(本文中では**レンズ**と表記します)  
お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています)



レンズキャップ<sup>※</sup>  
VYF3371



レンズリアキャップ  
VFC4605



ボディキャップ  
VKF4971

お買い上げ時は1つにまとめられています

※お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

## DMC-GX7(ボディ商品)に同梱



ボディキャップ  
VKF4971  
(お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています)

→ 続く

## 同梱品（続き）



**バッテリーパック**  
DMW-BLG10  
(本文中では**バッテリー**と表記します)  
●充電してからお使いください。



**USB 接続ケーブル**  
K1HY08YY0034



**CD-ROM**  
●ソフトウェア  
●取扱説明書 活用ガイド(本書)  
(パソコンにインストールしてお使いください)



**バッテリーチャージャー\***  
DE-A99A  
(本文中では**チャージャー**と表記します)



**ショルダーストラップ**  
VFC5059



**ホットシューカバー**  
VKF5259(ブラック)  
VKF5260(シルバー)  
(お買い上げ時はデジタル  
カメラボディに装着されています)

\* 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー(DMW-BTC9)をお買い求めください。

- カードは別売です。
- 別売品については266ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本書では交換レンズ(H-H020A)を用いて説明をしています。

CLUB Panasonic

*Pana Sense*

付属品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

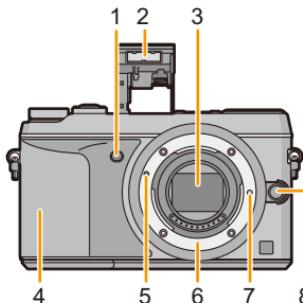
携帯電話からもお買い求めいただけます。

<http://p-mp.jp/cpm/>

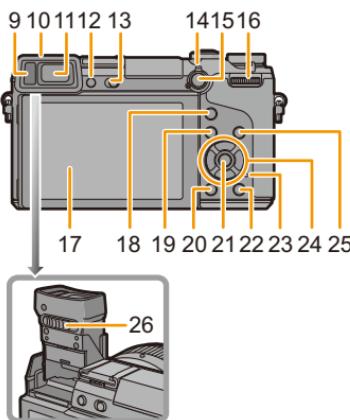
# 各部の名前と働き

## ■ デジタルカメラボディ

- 1 セルフタイマーランプ(P148)/  
AF補助光ランプ(P128)
- 2 フラッシュ発光部(P172)
- 3 センサー
- 4 NFCアンテナ部[](P216)
- 5 レンズ取り付けマーク(P24)
- 6 マウント
- 7 レンズロックピン
- 8 レンズ取り外しボタン(P25)



- 9 アイセンサー(P53)
- 10 アイカップ(P304)
- 11 ファインダー(P53)
- 12 [LVF]ボタン(P53) / [Fn4]ボタン(P41) ファンクション
- 13 フラッシュオーブンレバー(P172)
  - フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。
- 14 フォーカスマードレバー(P120, 129)  
ロック
- 15 [AF/AE LOCK]ボタン(P134)
- 16 後ダイヤル(P21)
- 17 タッチパネル/モニター(P19)  
タッチメニュー
- 18 [Q.MENU]ボタン(P38) / [Fn1]ボタン(P41) ファンクション
- 19 [](再生)ボタン(P63)
- 20 [面/](消去/戻る)ボタン(P67) / [Fn2]ボタン(P41) ファンクション  
メニュー セット
- 21 [MENU/SET]ボタン(P22, 36) ファッティ
- 22 [Wi-Fi]ボタン(P211) / [Fn3]ボタン(P41) ファンクション
- 23 Wi-Fi®接続ランプ(P211)
- 24 カーソルボタン(P22)
  - ▲(上)/ISOボタン(P141)、▼(下)/ドライブモードボタン(P143)、  
◀(左)/オートフォーカスマードボタン(P120)、▶(右)/  
ホワイトバランス WB ボタン(P110)
  - ドライブモードボタンで以下の設定をすることができます。  
単写(P55) / 連写(P144) / オートブレacket(P146) / セルフタイマー(P148)
- 25 [DISP.]ボタン(P60, 66)
  - 押すごとにモニターの表示を切り替えます。
- 26 視度調整レバー(P54)



## 各部の名前と働き（続き）

## 27 ステレオマイク (P187)

- マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。

## 28 ホットシュー（ホットシューカバー）(P268)

## 29 撮影距離基準マーク (P133)

## 30 シャッターボタン (P55)

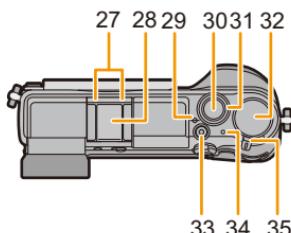
## 31 前ダイヤル (P21)

## 32 モードダイヤル (P58)

## 33 動画ボタン (P183)

## 34 電源表示ランプ (P35)

## 35 電源スイッチ (P35)



## 36 三脚取り付け部 (P308)

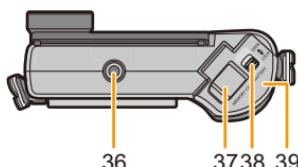
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

## 37 DCカプラーフィルム (P270)

- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター（別売:DMW-AC8）とDCカプラーフィルム（別売:DMW-DCC11）を使用してください。

## 38 開閉レバー (P31)

## 39 カード/バッテリー扉 (P31)



## 40 ショルダーストラップ取り付け部 (P26)

41 [AV OUT/DIGITAL] 端子  
（P253、259、261、262）

## 42 [HDMI] 端子 (P253)

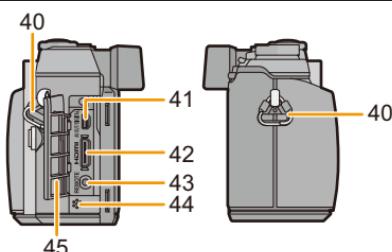
## 43 [REMOTE] 端子 (P269)

## 44 スピーカー (P45)

- スピーカーを指で塞がないようお気をつけてください。音が聞こえにくくなります。

## 45 端子カバー

- モニターを開いてから端子カバーを開けてください。

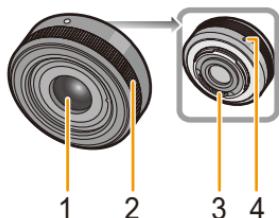


続く

## 各部の名前と働き（続き）

## ■ 同梱レンズ

H-H020A  
(LUMIX G 20 mm/F1.7 II ASPH.)



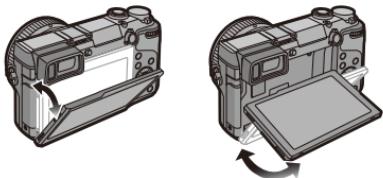
- 1 レンズ面
- 2 フォーカスリング([P129](#))
- 3 接点
- 4 レンズ取り付けマーク([P24](#))

- 交換レンズ(H-H020A)はコンパクトで明るいF1.7を実現するためのレンズ駆動方式を採用しています。そのため、フォーカス動作時に、動作音や振動が発生しますが、異常ではありません。
- 動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録されます。動作音が気になる場合は、[AF連続動作]([P182](#))を[OFF]に設定するなどして、撮影することをお勧めします。[\(P57\)](#)また、フォーカスマードを[AFC]、[AFF]に設定することはできません。[\(P121\)](#)

## 各部の名前と働き（続き）

**モニター/ ファインダー**

モニター/ ファインダーの角度を調整することができます。

**モニター/ ファインダーの角度を調整する**

- モニター/ ファインダーに指などを挟まないようにお気をつけてください。
- モニター/ ファインダーの角度を調整するときは、無理な力を加えないようお気をつけてください。  
傷や故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、モニター/ ファインダーを元の位置に完全に閉じてください。

**■ いろいろな角度で撮る**

モニター/ ファインダーの角度を調節すると、さまざまな角度からの撮影が可能になります。

- AF補助光ランプを指などで塞がないでください。

**ハイアングル撮影****ローランジル撮影**

- ファインダー使用時にフラッシュを使う場合は、ファインダーから目を離してから、フラッシュユニットのスライドしてください。
- 外部フラッシュ（別売）使用時は、ファインダーの調整できる角度は制限されます。
- 三脚 / 一脚の取り付け時は、モニターを元の位置に閉じた状態で取り付けてください。
- お使いの三脚 / 一脚によっては、モニターの調整できる角度が制限される場合があります。

## 各部の名前と働き（続き）

**タッチパネル**

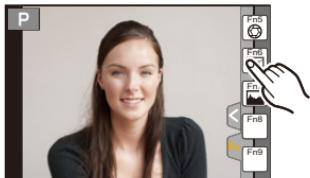
本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

**■ タッチする**

タッチパネルに触れて離す動作です。

項目やアイコンを選択するときなどに使います。

- 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。

**■ ドラッグする**

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。

AFエリアを移動したり、スライドバーを操作するときなどに使います。

再生時は画像を送ることなどもできます。

**■ ピンチする(広げる・縮める)**

タッチパネルを 2 本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。

再生画像やAFエリアを拡大/縮小するときなどに使います。



- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。  
(モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります)
- ボールペンなどの先のとがった硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- モニターが指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- モニターを強い力でこすったり、押したりしないでください。
- タッチパネルに表示されるアイコンについては、[272 ページ](#)の「モニター/ファインダーの表示」をお読みください。

**🚫 こんなときは使えません**

- 以下の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
  - 手袋を着用している
  - ぬれている手や、ハンドクリームを塗った直後の手
  - タッチパネルがぬれている
  - 市販のモニター保護シートを使用している
  - タッチパネルを複数の手や指で同時にタッチしている

## 各部の名前と働き（続き）

 タッチ操作の有効/無効を設定する**MENU** ボタン→[カスタム]→[タッチ設定]

- [OFF]に設定時は画面に該当のタッチタブやタッチアイコンは表示されません。

項目	設定内容
[タッチパネル]	すべてのタッチ操作。[OFF]に設定すると、ボタンやダイヤルでの操作のみになります。 [ON]、[OFF]
[タッチタブ]	画面右に表示される[  ]などのタブをタッチして、タッチアイコンを表示するための操作。 [ON]、[OFF]
[タッチAF]	タッチした被写体にピント、またはピントと明るさを合わせる操作。 [AF](P124)、[AF+AE](P140)、[OFF]
[タッチパッドAF]	ファインダー表示時にモニターをタッチパッドとして使う操作。(P54) [絶対位置]、[相対位置]、[OFF]

## 各部の名前と働き（続き）



## 後ダイヤル / 前ダイヤル

後ダイヤルは左右方向に回す操作と押して決定する操作の2とあります。  
前ダイヤルは左右方向に回す操作になります。

回す：各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。

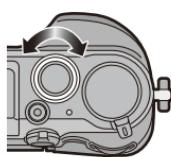
押す：各種設定時には、設定内容の決定など、[MENU/SET] ボタンと同じ操作を行います。

- 本書では後ダイヤル / 前ダイヤルの操作を次のように説明しています。

例：後ダイヤルを左右に回すとき、押すとき



例：前ダイヤルを左右に回すとき



P / A / S / M モード時は、絞りやシャッタースピードなどを設定します。

モードダイヤル	後ダイヤル	前ダイヤル
P (P73)	プログラムシフト*	プログラムシフト
A (P75)	絞り値*	絞り値
S (P76)	シャッタースピード*	シャッタースピード
M (P77)	シャッタースピード	絞り値

※後ダイヤルを押すと露出補正の設定に切り換わります。

ダイヤル操作ガイドを表示する/表示しない

[MENU] ボタン→[カスタム]→[ダイヤル操作ガイド]→[ON]/[OFF]

- [ON]に設定すると、撮影画面にダイヤル、ボタンなどの操作

ガイドが表示されます。



→ 続く

## 各部の名前と働き（続き）

 後ダイヤルと前ダイヤルの操作方法を設定する

MENU ボタン→[カスタム]→[ダイヤル設定]

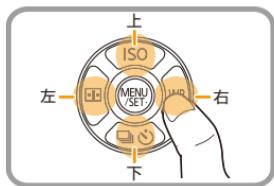
項目	設定内容
F/SS ダイヤルの割当	マニュアル露出モード時の、絞り値とシャッタースピードの操作を割り当てます。 [  F  SS ]: 前ダイヤルに絞り値、後ダイヤルにシャッタースピードの操作を割り当てます。 [  SS  F ]: 前ダイヤルにシャッタースピード、後ダイヤルに絞り値の操作を割り当てます。
F/SS ダイヤルの回転	絞り値とシャッタースピードを操作する際の、ダイヤルの回転方向を変更します。 [   ], [   ]
露出補正のダイヤル割当	前後いずれかのダイヤルで、露出補正を直接操作できるように割り当てます。 [  ](前ダイヤル)、[  ](後ダイヤル)、[OFF]

### カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン

カーソルボタンを押す: 項目の選択や、数値の設定などを行います。

[MENU/SET] ボタンを押す: 設定内容の決定などを行います。

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を▲/▼/◀/▶で説明しています。



タッチパネル操作中でも、右図のようなガイドが画面に表示されているときは、カーソルボタンと[MENU/SET]ボタンでも操作することができます。

ガイドが表示されないメニュー画面などでもボタン操作で設定や決定をすることができます。



# 本機に使用可能なレンズ



## ■マイクロフォーサーズ™マウント規格レンズ

マイクロフォーサーズシステムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使うことができます。



## ■フォーサーズ™マウント規格レンズ

マウントアダプター(別売:DMW-MA1)を使用することで、フォーサーズマウント規格のレンズを使用することができます。



## ■ライカマウント規格レンズ

Mマウントアダプター、Rマウントアダプター(別売:DMW-MA2M、DMW-MA3R)を使用することで、ライカMマウント、ライカRマウントの交換レンズを使用することができます。

- お使いのレンズによっては、実際にピントの合う距離とレンズの距離表示が多少ずれる場合があります。
- ライカレンズ用マウントアダプター使用時は、[レンズ無しレリーズ](P25)を[ON]に設定してください。

## レンズと機能について

お使いのレンズによっては使用できない、または動作が異なる機能があります。

オートフォーカス / 自動絞り動作 / アイセンサーAF(P54) / ポケ味コントロール(P71) /  
手ブレ補正(P161) / タッチズーム(P171) / シェーディング補正(P118) /  
クイックAF(P127) / パワーズームレンズ(P169)など

お使いのレンズについて詳しくは、ホームページでご確認ください。

対応レンズの最新情報は、カタログ / ホームページなどをご覧ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- お使いのレンズの絞り値によって、フラッシュ撮影可能範囲などが異なります。
- お使いのレンズに表記されている焦点距離は、35 mmフィルムカメラで換算すると2倍に相当します。(50 mmレンズを使用した場合は、100 mmレンズ相当になります)3D交換レンズについても、ホームページでご確認ください。

# 準備

## レンズを交換する



レンズを交換することで表現の幅が広がり、カメラの楽しさも広がります。以下の手順で交換してください。

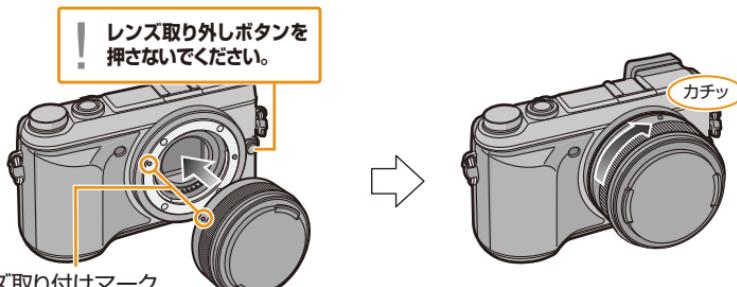
- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。  
ごみなどが付着した場合は、[304ページ](#)をお読みください。

### レンズの取り付け方

準備:レンズのレンズリアキャップを外してください。

- 本機にボディキャップが付いているときは外してください。

レンズ取り付けマークを合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す



- レンズを本体に対して傾いた状態で付けようすると、本体のレンズ取り付け部を傷つけるおそれがありますのでお気をつけください。
- 撮影の際は、必ずレンズキャップを外してください。

- 本体からレンズやボディキャップを外したとき、マウント内に指を入れないでください。
- 本体の内部にごみやほこりが付着するのを防ぐために、本体のマウントにはボディキャップまたはレンズを付けてください。
- 接点を傷つけないように、取り外したレンズにレンズリアキャップを付ける、または取り外したレンズを本体に付けてください。
- 持ち運びするときなどはレンズ面の保護のため、レンズキャップを付けるか、MCプロテクター(別売)の装着をお勧めします。[\(P266\)](#)



## レンズを交換する（続き）



## レンズの取り外し方

準備：レンズキャップを取り付けてください。

レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



レンズがなくてもシャッターが切れるようにする/しない

**MENU ボタン→[カスタム]→[レンズ無しレリーズ]**

[ON]：レンズの装着にかかわらず、シャッターが切れます。

[OFF]：本体にレンズを取り付けていないときやレンズが正しく取り付けられていないときには、シャッターが切れません。

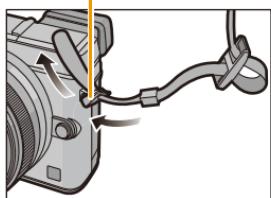
- ライカレンズ用マウントアダプター(別売:DMW-MA2M、DMW-MA3R)使用時は[ON]に設定してください。

# ショルダーストラップを付ける

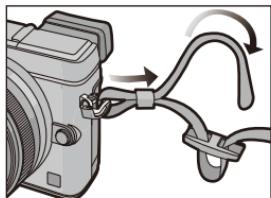
• 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

- 1 ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取り付け部に通す

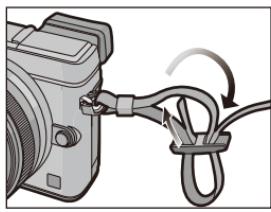
ショルダーストラップ  
取り付け部



- 2 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングに通したあと、留め具に通す

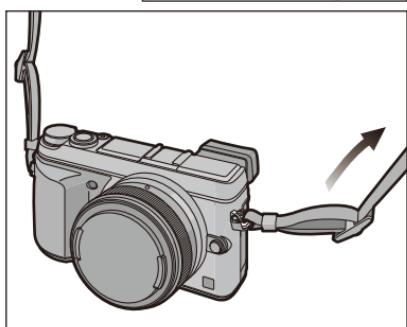


- 3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す



- 4 ショルダーストラップのもう一方を引いて、抜けないことを確認する

- 手順1～4の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



# バッテリーを充電する



## ■ 本機で使えるバッテリー(2013年8月現在)

本機で使えるバッテリーはDMW-BLG10です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。

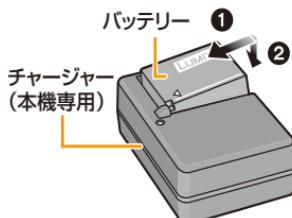
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますので了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

## 充電する

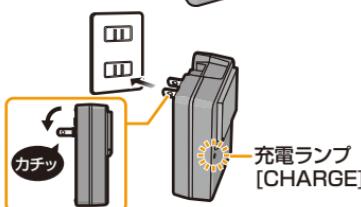
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

### 1 バッテリーの向きに気をつけ て、バッテリーを差し込む



### 2 電源コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。



続く

## バッテリーを充電する（続き）



### ■ 充電ランプの表示について

点灯：充電中

消灯：充電完了（充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください）

- 点滅するときは

- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電することをお勧めします。
- チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

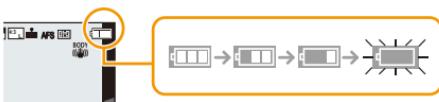
### ■ 充電時間について

充電時間

約190分

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温／低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

### ■ バッテリー残量表示について



- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。（電源表示ランプも点滅します）  
バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

- 電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
- チャージャーは海外でも使うことができます。（P271）

## バッテリーを充電する（続き）

## 使用時間と撮影枚数の目安

写真記録（モニター使用時）（条件はCIPA規格でプログラムAEモード時）

	交換レンズ（H-H020A）装着時
記録可能枚数	約320枚
撮影使用時間	約160分

写真記録（ファインダー使用時）（条件はCIPA規格でプログラムAEモード時）

	交換レンズ（H-H020A）装着時
記録可能枚数	約280枚
撮影使用時間	約140分

## CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度23°C / 湿度50%RH、モニター／ファインダーを点灯
- 当社製のSDHCメモリーカード使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始  
(手ブレ補正機能に非対応の交換レンズ：手ブレ補正を「BODY」に設定)
- 30秒間隔で1回撮影、フラッシュを2回に1回フル発光
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。

[例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30秒に1回撮影）の枚数の約1/4になります]

 続く

## バッテリーを充電する（続き）

### 動画撮影（モニター使用時）

→ AVCHD（画質設定を[FHD/60i]で撮影）

	交換レンズ（H-H020A）装着時
撮影可能時間	約130分
実撮影可能時間	約65分

→ MP4（画質設定を[FHD/30p]で撮影）

	交換レンズ（H-H020A）装着時
撮影可能時間	約130分
実撮影可能時間	約65分

- 温度23°C / 湿度50%RHの環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始／終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- [MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。[MP4]の[FHD/60p]、[FHD/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります）

### 再生（モニター使用時）

	交換レンズ（H-H020A）装着時
再生使用時間	約230分

- 使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。

例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は減少します。

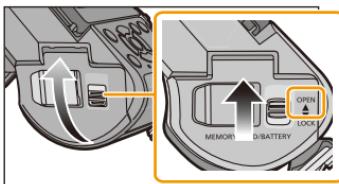
- スキー場などの低温下
- [モニター輝度]の[AUTO]または[MODE1]使用時
- [ライブビュー モード]の[通常]使用時
- フラッシュ発光を繰り返したとき
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。  
新しいバッテリーをお買い求めください。

# バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す



- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをお勧めします。

## 1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く



## 2 バッテリー:

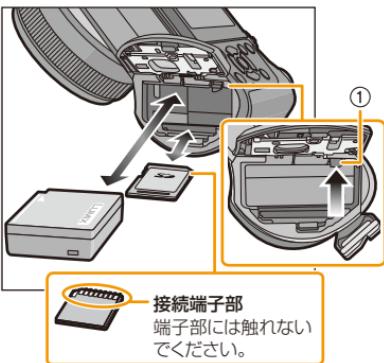
向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する

取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード:

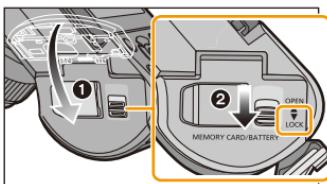
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる

取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く



## 3 ① カード/バッテリー扉を閉じる

## ② 開閉レバーをLOCK側にスライドさせる



- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- カードやバッテリーの取り出しへは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

# カードについて



## 本機で使用できるカードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

	特長
SDメモリーカード(8 MB~2 GB)/ miniSDカード*/microSDカード*	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。</li> </ul>
SDHCメモリーカード(4 GB~32 GB)/ microSDHCカード*	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 <a href="http://panasonic.jp/support/sd_w/">http://panasonic.jp/support/sd_w/</a></li> </ul>
SDXCメモリーカード (48 GB、64 GB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機はUHS-I規格のSDHC/SDXCメモリーカードに対応しています。</li> <li>左記の容量以外のカードは使えません。</li> </ul>

※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

## ■ 動画撮影と SD スピードクラスについて

動画撮影の際は、カードのラベル面などでSDスピードクラス(連続的な書き込みに関する速度規格)をご確認ください。[AVCHD]、[MP4]動画には「Class4」以上のカードを使用してください。

(例)

CLASS ④ ④

- 最新情報は下記サポートサイトをご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

カードアクセス中は…

カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- アクセス中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売: DMW-AC8)を取り外さないでください。

また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。

カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。

→ 続く

## カードについて（続き）

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P50）



### カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマット（P50）します。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

#### メニューを設定する

**MENU** ボタン→[セットアップ]→[フォーマット]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

### 記録可能枚数・時間の目安

#### 記録可能枚数（写真：枚）

- 残り枚数が10000枚以上の場合は、[9999+]と表示されます。
- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [■■■] の場合

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	220	900	3640	7260
M(8M)	410	1650	6690	13000
S(4M)	690	2800	11360	21480

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [RAW ■■■] の場合

記録画素数	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
L(16M)	68	270	1110	2230
M(8M)	79	320	1300	2580
S(4M)	86	340	1410	2800

→ 続く

## カードについて (続き)

### ■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

#### ● 記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[FHD/60p]	8m00s	36m00s	2h31m	5h6m
[FHD/60i]	13m00s	1h00m	4h8m	8h25m
[FHD/30p]/[FHD/24p]	9m00s	42m00s	2h56m	5h58m
[HD/60p]	13m00s	1h00m	4h8m	8h25m

#### ● 記録方式 [MP4] の場合

画質設定	2 GB	8 GB	32 GB	64 GB
[FHD/60p]	8m00s	36m00s	2h31m	5h7m
[FHD/30p]	11m00s	48m00s	3h21m	6h49m
[HD/30p]	21m00s	1h33m	6h25m	13h2m
[VGA/30p]	46m00s	3h25m	14h8m	28h42m

- 記録可能枚数・時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。
- [MP4] で 1 つの動画として連続記録できる時間は 29 分 59 秒まで、ファイルサイズは 4 GB までです。([MP4] の [FHD/60p]、[FHD/30p] では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は 29 分 59 秒より短くなります)
- 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。



記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換える

MENU ボタン → [カスタム] → [残枚数/残時間切換]

[¤:¤(残枚数)] : 写真の記録可能枚数を表示します。

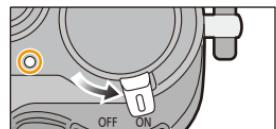
[¤:¤(残時間)] : 動画の記録可能時間を表示します。



# 時計を設定する

- お買い上げ時は、時計設定されていません。

- 電源スイッチを[ON]にする
  - 電源が入ると電源表示ランプが点灯します。



- [MENU/SET] ボタンを押す

- ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時分)を選び、▲/▼ ボタンで設定する

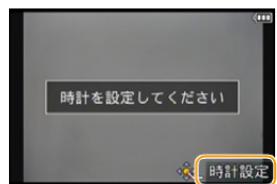
- [▲/▼] ボタンを押すと、時計を設定せずに中止することができます。

表示順・時刻表示形式を設定する場合

- [表示形式] を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。

- [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 確認画面で [MENU/SET] ボタンを押す



ホームの時間  
旅行先の時間



表示形式



表示順

時刻表示形式

## 時計設定を変更する

セットアップメニューの[時計設定]を選んでください。(P36)

- 上記の手順3、4の操作で変更できます。
- バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れたままにしてください)
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込みを行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

# メニューを使って設定する



お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

## メニューの設定方法

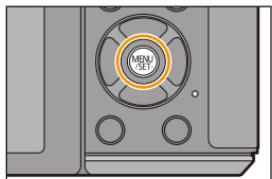
カーソルボタンを押したり後ダイヤルを回したりするボタン操作と、画面をタッチするタッチ操作の2つおりの操作でメニューを設定できます。



- セットアップメニューの[メニュー位置メモリー](P48)を[ON]に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択した状態の画面になります。お買い上げ時は[ON]に設定されています。
- セットアップメニューの[メニューインフォメーション](P48)を[ON]に設定していると、メニュー項目/設定内容の説明文がメニュー画面に表示されます。
- 画面をタッチするタッチ操作でもメニューを設定できます。

例)撮影メニューで、[クオリティ]を[■]から[■]に設定する

### 1 [MENU/SET] ボタンを押す



メニュー	内容
[] 撮影(P282～)	横縦比、画素数などを好みで設定できます。
[] 動画(P186～)	記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[] カスタム(P285～)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
[] セットアップ(P43～)	時計の設定や電子音の切り替えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi機能に関する設定もできます。
[] 再生(P288)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

### 2 ▲/▼ボタンでメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- 後ダイヤルを回しても、メニュー項目を選べます。
- [DISP.]ボタンを押すことでも、ページを切り換えられます。



→ 続く

## メニューを使って設定する（続き）

### 3 ▲/▼ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 後ダイヤルを回して設定内容を選び、後ダイヤルを押して設定することもできます。
- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。



- 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

**[MENU] ボタン→[撮影]→[クオリティ]→[▲・▼]**

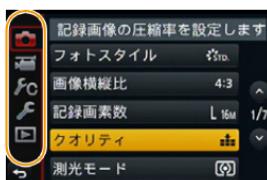
### ■ メニューを終了する

[**血/カ**] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

### ■ 他のメニューに切り換えるには

例)撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

- 1 ◀ボタンを押す
  - 2 ▲/▼ボタンで [**fx**] などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ
  - 3 [MENU/SET] ボタンを押す
- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。



- 前ダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンを選べます。

## メニュー画面の背景を設定する

好みに合わせてメニュー画面の背景を設定できます。

### 1 メニュー設定する

**[MENU] ボタン→[セットアップ]→[メニュー背景色]**

### 2 ▲/▼ボタンで背景の色を選び [MENU/SET] ボタンを押す

- 背景の色を4色から選ぶことができます。
- 設定後はメニューを終了してください。

# よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)

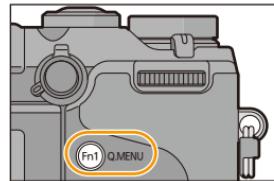
クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

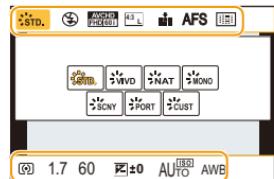
[Q.MENU]/[Fn1]ボタンは、[Q.MENU]と[Fn1](ファンクション1)の2つおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[Q.MENU]が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは [41 ページをお読みください。](#)

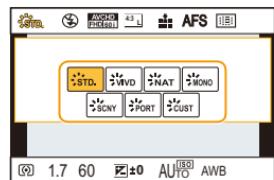
- [Q.MENU]ボタンを押して、クイックメニューを表示する



- 後ダイヤルを回してメニュー項目を選び、後ダイヤルを押す



- 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ



- 設定が終了したら [Q.MENU] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

- ▲/▼/◀/▶ボタンでも設定できます。

## [LCD] (モニタースタイル) のモニター撮影情報画面 (P60)

[Q.MENU]ボタンを押し、後ダイヤルを回して項目を選び、後ダイヤルを押してください。

後ダイヤルを回して設定内容を選び、後ダイヤルを押して決定してください。

- ▲/▼/◀/▶ボタンと [MENU/SET] ボタンでも設定できます。



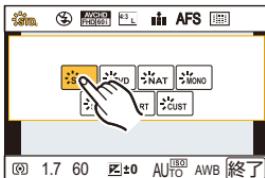
続く

#### よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー) (続き)



## ■ タッチパネル操作時

- [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する
  - メニュー項目をタッチする
  - 設定内容をタッチする
  - 設定が終了したら[終了]をタッチしてメニューを終了する
    - シャッターボタン半押しでも終了できます。



## ⑤ クイックメニューの設定方法を切り換える

MENU ボタン→[カスタム]→[Q.MENU]

[プリセット]:あらかじめ決められた項目を設定できます。

[カスタム]:項目をお好みで変更し、設定できます。(P40)

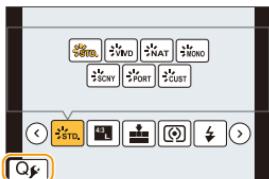
## よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー) (続き)



### クイックメニューをお好みの項目に変更する

カスタムメニューの[Q.MENU](P39)を[カスタム]に設定時は、クイックメニューをお好みで変更できます。クイックメニューは15項目まで設定しておくことができます。

- ▼ボタンで[Q.]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

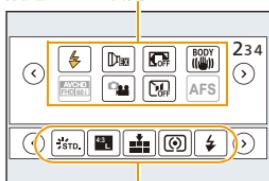


クイックメニューとして設定できる項目

- ▲/▼/◀/▶ボタンで上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- ◀/▶ボタンで下段の空き項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 上段から下段へ項目をドラッグしても設定できます。
- 下段に空き項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ替えて設定することができます。
- 設定を解除するには、▼ボタンで下段に入り、解除する項目を選んで[MENU/SET]ボタンを押してください。
- 設定できる項目は、以下のとおりです。



クイックメニュー画面に表示できる項目

### 撮影メニュー/撮影機能

- フォトスタイル(P107)
- 画像横縦比(P114) / 記録画素数(P114)
- クオリティ(P115)
- 測光モード(P137)
- iDレンジコントロール(P116)
- 超解像(P116)
- HDR(P117)
- 電子シャッター(P156)

- フラッシュモード(P174)
- EXテレコン(写真・動画)(P167)
- デジタルズーム(P170)
- 手ブレ補正(P161)
- ISO感度(P141)
- ホワイトバランス(P110)
- オートフォーカスマード(P120)
- ドライブモード(P143)

### 動画撮影メニュー

- 動画記録方式/画質設定(P181)
- 写真撮影(P185)

### カスタムメニュー

- サイレントモード(P155)
- AFS/AFF/AFC(P121)
- ピーキング(P131)
- ヒストグラム表示(P61)
- ガイドライン表示(P62)
- 記録枠表示(P183)
- ステップズーム(P169)
- ズーム速度(P169)

- [血/△]ボタンを押す

- 上記手順1の画面に戻ります。撮影画面にするには[MENU/SET]ボタンを押してください。

よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)



特定のボタンやアイコンに、よく使う機能を割り当てることができます。

## 1 メニューを設定する

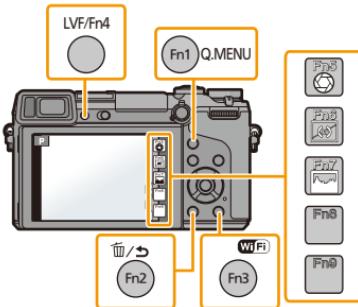
**MENU**ボタン→[カスタム]→[Fnボタン設定]

- ▲/▼ボタンで[撮影時設定]または[再生時設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

▲/▼ボタンで機能を割り当てるファンクションボタンを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

▲/▼ボタンで割り当てる機能を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

  - [撮影時設定]については下記を、「再生時設定」については42ページをお読みください。



## 撮影時のファンクションボタンを設定する

撮影時にファンクションボタンを押すことで、割り当てた機能を使えます。

- [Fn1]、[Fn2]、[Fn3]、[Fn4]のボタンと、[Fn5]、[Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9]のアイコンに以下の機能が割り当てられます。

撮影メニュー / 撮影機能		
– Wi-Fi(P211) : [Fn3] *	– フォトスタイル(P107)	– フラッシュモード(P174)
– Q.MENU(P38) : [Fn1] *	– 画像横縦比(P114)	– EXテレコン(写真・動画)(P167)
– LVF/モニター切換(P53) : [Fn4] *	– 記録画素数(P114)	– デジタルズーム(P170)
– AF/AE LOCK(P134)	– クオリティ(P115)	– 手ブレ補正(P161)
– AF-ON(P130, 134)	– 測光モード(P137)	– ISO感度(P141)
– ワンプッシュAE(P80)	– ハイライトシャドウ(P109) :	– ホワイトバランス(P110)
– タッチAE(P139)	– [Fn2] *	– オートフォーカスマード(P120)
– プレビュー(P79) : [Fn5] *	– iDレンジコントロール(P116)	– ドライブモード(P143)
– 水準器表示(P62) : [Fn6] *	– 超解像(P116)	– デフォルトに戻す(P42)
– フォーカスエリア選択(P42)	– HDR(P117)	
– ズーム操作(P166)	– 電子シャッター(P156)	
動画撮影メニュー		
– 動画記録方式/画質設定(P181)		– 写真撮影(P185)
カスタムメニュー		
– サイレントモード(P155)	– ヒストグラム表示(P61) : [Fn7] *	– ステップズーム(P169)
– AFS/AFF/AFC(P120)	– ガイドライン表示(P62)	– ズーム速度(P169)
– ピーキング(P131)	– 記録枠表示(P183)	

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

([Fn8], [Fn9]はお買い上げ時にファンクションボタン設定されていません)

- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。

→ 続く

## よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン) (続き)

### ■ モニター撮影情報画面からファンクションボタンの設定を行う

モニター撮影情報画面(P60)で[Fn]をタッチしても、手順3の画面を表示することができます。

### ■ タッチ操作でファンクションボタンを使う

[Fn5]、[Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9]はタッチ操作でファンクションボタンを使うことができます。

- ① [Fn]をタッチする

- ② [Fn5]、[Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9]をタッチする

- 割り当てられた機能が働きます。



- モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。
- [フォーカスエリア選択]設定時は、AFエリアまたはMFアシストの位置設定画面を表示することができます。
- [デフォルトに戻す]設定時は、ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

### 🚫 こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]、[ワンポイントカラー]、[サンシャイン]または多重露出撮影時は[Fn2]は使えません。
- インターバル撮影時は[Fn3]は使えません。
- ファインダー表示時は、[Fn5]、[Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9]は使えません。

## 再生時のファンクションボタンを設定する

再生時にファンクションボタンを押すことで、選んだ画像に割り当たる機能を直接設定できます。

- [Fn1]、[Fn3]、[Fn4]のボタンに以下の機能が割り当てられます。

再生メニュー/ 再生機能	
- お気に入り(P205):[Fn1] *	- 1枚消去(P67)
- プリント設定(P206)	- OFF:[Fn3] *、[Fn4] *
- プロテクト(P208)	- デフォルトに戻す

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

- [デフォルトに戻す]設定時は、ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

### ■ 再生時にファンクションボタンを使う

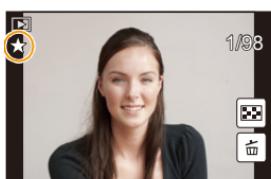
例)[お気に入り]を[Fn1]に設定した場合

- ① ◀/▶ボタンで画像を選ぶ

- ② [Fn1]ボタンを押し、画像に[お気に入り]設定する

- [プリント設定]時は、続けてプリント枚数を設定してください。

- [1枚消去]時は、確認画面で[はい]を選んでください。



# 本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー)



① セットアップメニューの設定方法は P36

[時計設定]、[エコモード]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

項目	設定・お知らせ
時計設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、35ページをお読みください。</li> </ul>
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。 旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。	<p>●お買い上げ時はまず [ホーム] を設定してください。 [旅行先] の設定は、[ホーム]設定後に行えます。</p> <p>[旅行先]: 現地時刻 旅行先の地域</p> <p>[ホーム]: ホームとの時差</p> <p>[ホーム]: 現在時刻 お住まいの地域</p> <p>GMT(グリニッジ標準時)との時差</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サマータイム[▲⌚] (夏時間)を採用している場合は、▲ボタンを押してください。(時計が1時間進みます)もう一度▲ボタンを押すと元に戻ります。</li> <li>画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。</li> </ul>

## 本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー) (続き)

セットアップメニューの設定方法は P36

項目	設定・お知らせ
トラベル日付  旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P197)で撮影画像に焼き込むことができます。	[トラベル日付設定]: [設定]: 出発日、帰着日を設定します。撮影時に旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。 [OFF]: •現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。 [トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。  [旅行先]: [設定]: 撮影時に旅行先が記録されます。 [OFF]: •文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。  •CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。 •トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。 •設定したトラベル日付は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。 •[AVCHD]で撮影された動画は[トラベル日付]は記録できません。 •動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。
Wi-Fi  電子音  電子音や電子シャッター音の音量を設定します。	[Wi-Fi 機能]、[Wi-Fi 設定] •詳しくは、213、248ページをお読みください。  [電子音音量]: [♪]: 大 [♫]: 小 [🔇]: OFF  [電子シャッター音音量]: [♪]: 大 [♫]: 小 [🔇]: OFF  •[電子シャッター音音量]は、連写の[SH]設定時、[電子シャッター]設定時にのみ働きます。

## 本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー) (続き)

セットアップメニューの設定方法は P36

項目	設定・お知らせ
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。また、このとき本機のスピーカーからは音声は出ません。</li> </ul>
モニター調整 / LVF調整 モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	<p>[] (明るさ): 明るさを調整します。  [] (コントラスト・彩度): 明暗差や色の鮮やかさを調整します。  [] (赤み): 赤みを調整します。  [] (青み): 青みを調整します。</p> <p><b>1 ▲/▼で設定項目を選び、◀/▶で調整する</b>  • 後ダイヤルを回しても、調整できます。</p> <p><b>2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。</li> <li>被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。</li> </ul>
モニター輝度 周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。	<p>[ (AUTO)]: 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。  [ (MODE1)]: モニターを明るくします。  [ (MODE2)]: モニターを標準的な明るさにします。  [ (MODE3)]: モニターを暗くします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニターに表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。</li> <li>[MODE1]のモニターは、撮影時30秒間何も操作しないと、自動的に標準的な明るさに戻ります。ボタンまたはタッチ操作で、再び明るく点灯します。</li> <li>[AUTO]または[MODE1]設定時は、使用時間が減少します。</li> <li>再生時は、[AUTO]は選択できません。</li> <li>ACアダプター(別売:DMW-AC8)使用時の初期設定は[MODE2]になります。</li> </ul>



## 本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー) (続き)

セットアップメニューの設定方法は P36

項目	設定・お知らせ
エコモード  バッテリーの消耗を防ぐための設定ができます。自動的に電源を切ったり、自動的にモニターを消灯したり、電力消費を抑えたモニターの表示方法にしたりできます。	<p>[スリープモード]: [10分]、[5分]、[2分]、[1分]、[OFF]  [モニター自動OFF]: [5分]、[2分]、[1分]  [ライブビューモード]: [通常]、[ECO]</p> <p>設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切れます。  設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニターを消灯します。  モニターの表示方法を電力消費を抑えた方法にします。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]してください。</li> <li>• モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押す、またはモニターをタッチしてください。</li> <li>• [ライブビューモード]を[ECO]に設定すると、[通常]設定時より撮影画面の画質が劣る場合がありますが、記録される画像に影響はありません。</li> <li>• [ライブビューモード]の[通常]設定時は、使用時間が減少します。</li> <li>• アイセンサー自動切り換え(P53)が働くと、[モニター自動 OFF]は解除されます。</li> <li>• 以下の場合、[エコモード]は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>-パソコンまたはプリンター接続時</li> <li>-スライドショー時</li> <li>-[インターバル撮影]設定時</li> </ul> </li> <li>• ACアダプター(別売: DMW-AC8)使用時は、[スリープモード]は働きません。</li> <li>• ACアダプター使用時は、[モニター自動 OFF]は[5分]に、[ライブビューモード]は[通常]に固定されます。</li> </ul>
USBモード  USB接続ケーブル(付属)を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	<p>[ 接続時に選択]: パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。</p> <p>[ PictBridge(PTP)]: PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。</p> <p>[ PC]: パソコンに接続する場合に設定します。</p>

## 本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー) (続き)

セットアップメニューの設定方法は P36

項目	設定・お知らせ
映像出力  テレビなどとの接続のし かたを設定します。	<p>[TV 画面タイプ]: テレビの種類に合わせて設定します。  <b>[16:9]</b>: 画面が16:9のテレビと接続時  <b>[4:3]</b>: 画面が4:3のテレビと接続時</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>AVケーブル(別売)接続時に働きます。</li> </ul> <p>[HDMI 出力解像度]: HDMI ミニケーブル(別売)を使って本機を HDMI 対応のハイビジョン テレビに接続して再生する際に、HDMI 出力の映像方式を設定します。  <b>[AUTO]</b>: 接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力 解像度を決定します。  <b>[1080p]</b>: 有効走査線数 1080本のプログレッシブ方式で 出力します。  <b>[1080i]</b>: 有効走査線数 1080本のインターレース方式で 出力します。  <b>[720p]</b>: 有効走査線数 720本のプログレッシブ方式で出 力します。  <b>[480p]</b>: 有効走査線数 480本のプログレッシブ方式で出 力します.</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。</li> <li>[AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[1080p]、 [1080i]、[720p] または[480p]に切り換えて、お使いのテレビが 表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読み ください)</li> </ul>
ビエラリンク  本機とHDMIミニケーブ ル(別売)を使って接続し たビエラリンク対応機器 を自動的に連動させ、ビエ ラのリモコンで操作でき るように設定します。	<p>[ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるよう になります。(すべての操作はできません) 本機のボタンでの操作は制限されます。</p> <p>[OFF]: 本機のボタンでの操作になります.</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。</li> <li>詳しくは、<a href="#">254</a>ページをお読みください。</li> </ul>



## 本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー) (続き)

セットアップメニューの設定方法は P36

項目	設定・お知らせ
<b>3D テレビ出力</b> 3D画像の出力方法を設定します。	[ <b>3D</b> ]：3D対応テレビに接続する場合に設定します。 [ <b>2D</b> ]：3D非対応のテレビに接続する場合に設定します。 3D対応テレビで2D(従来の画像)再生したい場合も、この設定にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。</li> <li>● 3D画像を3Dで再生する方法については、<a href="#">252ページ</a>をお読みください。</li> </ul>
<b>メニュー位置メモリー</b> 最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。	[ON]、[OFF]
<b>メニュー背景色</b> メニュー画面の背景色を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 詳しくは、<a href="#">37ページ</a>をお読みください。</li> </ul>
<b>メニューインフォメーション</b> メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。	[ON]、[OFF]
<b>バージョン表示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。</li> <li>● レンズを取り付けていないときは、レンズファームウェアは[-.-]と表示されます。</li> <li>● バージョン表示画面で[MENU/SET]ボタンを押すと、本機のソフトウェアに関する情報を表示します。</li> </ul>
<b>露出補正リセット</b> 撮影モード変更時および電源 OFF 時に露出補正量をリセットすることができます。	[ON]、[OFF]
<b>セルフタイマー自動解除</b> 電源スイッチを [OFF] にしたときに、セルフタイマーを解除する、しないを設定します。	[ON]、[OFF]



## 本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー) (続き)

セットアップメニューの設定方法は [P36](#)

項目	設定・お知らせ
<b>番号リセット</b> 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フォルダーファイル番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。</li> <li>• フォルダーファイル番号は100~999まで作成されます。フォルダーファイル番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(<a href="#">P50</a>)することをお勧めします。</li> <li>• フォルダーファイル番号を100にリセットするには、まずカードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。その後、フォルダーファイル番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。</li> </ul>
<b>設定リセット</b> 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	<p><b>撮影設定、セットアップ/カスタム設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 撮影設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>- [個人認証]の設定内容</li> </ul> </li> <li>• セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>- [ワールドタイム]の設定内容</li> <li>- [トラベル日付]の設定内容(出発日、帰着日、旅行先)</li> <li>- [プロフィール設定]の設定内容</li> </ul> </li> <li>• フォルダーファイル番号、時計の設定は変わりません。</li> </ul>
<b>Wi-Fi 設定リセット</b> Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。 <sup>*</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カメラを廃棄または譲渡する場合は、設定した個人情報を誤って使用されないためにも、必ずリセットしてください。</li> <li>• 修理を依頼する場合も、個人情報の控えをとったあと、必ずリセットしてください。</li> </ul> <p>※ ([PicMate 設定]は除く) (<a href="#">P238</a>)</p>

## 本機の基本的な設定をする(セットアップメニュー) (続き)



① セットアップメニューの設定方法は [P36](#)

項目	設定・お知らせ
<b>ピクセルリフレッシュ</b> 撮像素子と画像処理の最適化を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮像素子と画像処理の最適化については、お買い上げ時は最適な状態に設定されています。被写体にない明るい点が記録され、気になるときは、本機能をお使いください。</li> <li>終了後は、電源を入れ直してください。</li> </ul>
<b>センサークリーニング</b> 撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダストリダクション機能は電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になるときは、本機能をお使いください。 <a href="#">(P304)</a></li> </ul>
<b>フォーマット</b> カードをフォーマット(初期化)します。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマットときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8) <a href="#">(P270)</a>を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。</li> <li>他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。</li> <li>フォーマットできないときは、別のカードを入れてお試しいただいてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。</li> </ul>

# 文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。  
右記のような画面が表示されると、文字を入力できます。  
(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)



## 1 ▲/▼/◀/▶ボタンで文字を選び、[MENU/SET]ボタンで入力する

- [切換]にカーソルを合わせ [MENU/SET] ボタンを押すと、**かな**(ひらがな)、**カナ**(カタカナ)、**A**/**a**(アルファベット)、**1**(数字)、**&**(記号)に文字を切り換えることができます。
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、後ダイヤルを右側に回し、カーソルを移動させてください。
- 項目にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押すと以下の操作が行えます。
  - **[↔]**: 空白を入力
  - **[消去]**: 文字を消去
  - **[◀]**: 入力位置を左に移動
  - **[▶]**: 入力位置を右に移動
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - **かな**/**カナ**: 最大 15 文字 ([個人認証] の名前は最大 6 文字)
  - **A**/**a**/**1**/**&** ※: 最大 30 文字 ([個人認証] の名前は最大 9 文字)
  - ※ [↔], [↑], [↓], [↑], [↓] は最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字) です。

## 2 ▲/▼/◀/▶ボタンで [決定] にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押して入力を終了する

### 文字入力例

「パリ」と入力する場合:

- ① ▲/▼/◀/▶ ボタンで [切換] を選ぶ
- ② [MENU/SET] ボタンを押し、カナに切り換える
- ③ ▲/▼/◀/▶ ボタンで「ハ」に移動し、[MENU/SET] ボタンを押す
- ④ ▲/▼/◀/▶ ボタンで「。」に移動して [MENU/SET] ボタンを 2 回押し、「パ」にする
- ⑤ ▲/▼/◀/▶ ボタンで「ラ」に移動して [MENU/SET] ボタンを 2 回押し、「リ」にする
- ⑥ ▲/▼/◀/▶ ボタンで [決定] に移動し、[MENU/SET] ボタンを押す

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

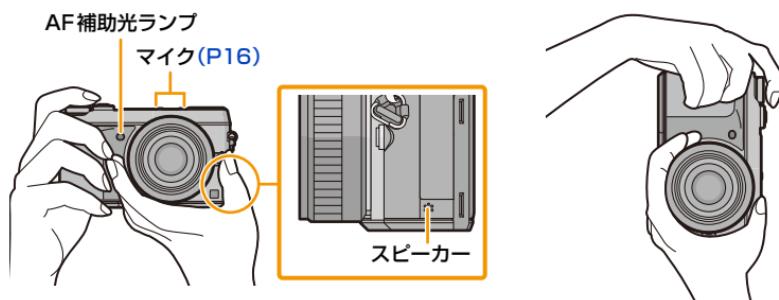
# 基本

## 本機の構え方について



両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

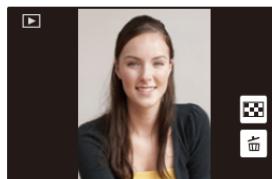
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突するおそれがある場所では周囲に十分お気をつけください。



### 構えた向きを検出する(縦位置検出機能)

本機を縦に構えて撮影したとき、構えた向きを検出できる機能です。

再生時に自動で縦向きに表示することができます。([縦位置自動回転](P204)を[ON]に設定している場合のみ)



- 縦位置検出機能に対応していないレンズを使用した場合でも、本機で撮影すると縦位置検出を行うことができます。
- 本機を縦に構えた状態で、本機を大きく上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。
- 3D写真的縦撮影には対応していません。

# ファインダー撮影について



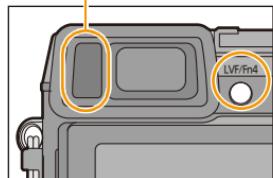
## モニターとファインダーを切り換える

### ■ アイセンサーでモニターとファインダーを切り換える

カスタムメニューの[アイセンサー](下記)の[LVF/モニター自動切換]を[ON]に設定しているときは、ファインダーに目や物を近づけると自動的にファインダー表示に切り替えます。

- お使いの眼鏡の形状やカメラの構え方、または接眼部付近に強い光が当たることなどにより、アイセンサーが正しく働かない場合があります。その場合は手動で切り換えてください。
- 動画再生中、スライドショー中は、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換わりません。

アイセンサー



### Tips 撮影時のこつやテクニック 「モニターとファインダーの使い分け」

撮影時の状況や被写体によって、モニターとファインダーを使い分けると便利です。

**モニター** : アングルが高いときや低いとき /

仕上がる写真の構図をじっくり確認したいとき

**ファインダー** : モニターが見えにくいとき(明るい屋外など) / ブレないようにしっかりと構えたいとき / 流し撮りをするとき



### ■ アイセンサーの感度やモニター表示 / ファインダー表示の自動切換を設定する

**MENU** ボタン→[カスタム]→[アイセンサー]

項目	設定内容
[感度]	アイセンサーの感度を設定します。 [強], [弱]
[LVF/モニター自動切換]	アイセンサーに目や物を近づけたときに、モニター表示からファインダー表示に自動的に切り換えるか、切り換えないかを設定します。 [ON], [OFF]

### ■ 手動でモニターとファインダーを切り換える

#### [LVF]ボタンを押す

- ファインダーに目や物を近づけたときのみ、ファインダーが点灯します。

[LVF]/[Fn4]ボタンは、[LVF]と[Fn4](ファンクション4)の2つおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[LVF/ モニターカット]が設定されています。

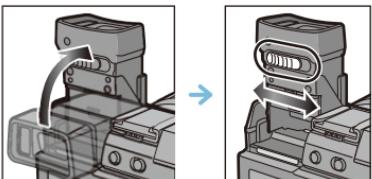
- ファンクションボタンについて詳しくは [41](#) ページをお読みください。

→ 続く

## ファインダー撮影について（続き）

### ■ 視度調整について

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整レバーをスライドさせて調整してください。



### アイセンサーAFについて

カスタムメニューの[アイセンサーAF]を[ON]に設定しているときには、アイセンサーが働くとカメラが自動的にピント合わせを行います。

- [アイセンサーAF]でピントが合っても電子音は鳴りません。

#### こんなときは使えません

- 低照度時は、[アイセンサーAF]が働かない場合があります。
- [アイセンサーAF]は、オートフォーカスのできないレンズおよびフォーサーズマウント規格レンズでは働きません。

### タッチパッドでピントを合わせる位置を設定する

カスタムメニューの[タッチ設定](P20)の[タッチパッドAF]を設定すると、ファインダー表示中にモニターをタッチパッドとして操作できます。



項目	設定内容
絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーのAFエリアが移動します。
相対位置	タッチパッドをドラッグ(P19)してファインダーのAFエリアを移動させます。
OFF	—

- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる位置を決定してください。  
また、決定前に[DISP.]ボタンを押すと、ピントを合わせる位置が中央に戻ります。
- オートフォーカスマード(P120)を[]（顔認識）、[]（追尾AF）、[]（23点）に設定時は、[MENU/SET]ボタンを押すとAFエリア枠の設定が解除されます。
- [タッチパッドAF]使用時は、タッチシャッター(P56)は無効になります。

# 写真を撮る

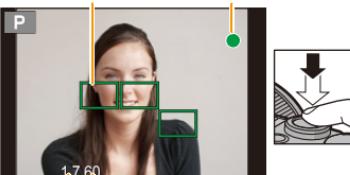
- ▼(■)ボタンを押して、ドライブモードを [□](単写)に設定する。

## 1 撮影モードを選ぶ(P58)

## 2 シャッターボタンを半押し (軽く押す)してピントを合わせる

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。  
(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)
- お買い上げ時は、[フォーカス/レリーズ優先] (P128)が[フォーカス]に設定されているため、ピントが合うまで撮影できません。

AFエリア フォーカス表示



フォーカスマード	AFS		AFF,AFC	
ピント	合っている	合っていない	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅	点灯	点滅または消灯
AFエリア	緑	—	緑※1	—
電子音	ピピッ	—	ピピッ※2	—

※1 オートフォーカスマードを[■]に設定している場合は、半押し中にピントが合った1回のみAFエリアが一瞬表示されます。

※2 半押し中にピントが合った1回のみ電子音が鳴ります。

- [AFF]や[AFC]で明るさが足りないときは[AFS]と同じ動作をします。このとき画面の表示が黄色の[AFS]に変わります。
- 暗い環境ではフォーカス表示が[●]と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

## 3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する



ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、もう一度ピントを合わせ直してください。

- ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。

- 交換レンズ(H-H020A)装着時: 0.2 m~∞



### ピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るもの近くにある被写体を撮影するとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るととき

→ 続く

## 写真を撮る（続き）

 写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定する

MENU ボタン→[カスタム]→[オートレビュー]→  
[ホールド]/[5秒]/[4秒]/[3秒]/[2秒]/[1秒]/[OFF]

[ホールド]設定時：シャッターボタン半押しまで表示

- オートレビュー中に再生画面の表示切り替えや消去などができます。
- 以下の場合、オートレビューは働きません。  
–動画撮影時

### タッチシャッター機能を使って撮る

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

#### 1 [◀]をタッチする



#### 2 [◀]をタッチする

- アイコンが[◀]に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。



#### 3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- ピントが合うと撮影されます。
- タッチしたい被写体の上にヒストグラムが表示されている場合は、ヒストグラムをドラッグ(P19)して移動させてからタッチしてください。

### ■ タッチシャッター機能を解除するには

#### [◀]をタッチする

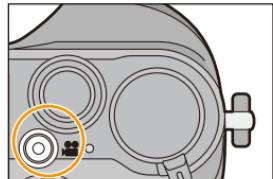
- タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤く点灯したあと消えます。もう一度やり直してください。
- [測光モード](P137)が[◀]のときは、タッチした場所で測光を行います。画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

# 動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

## 1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- 動画撮影時は、マイクの穴を指などで塞がないでください。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。



記録経過時間 記録動作表示



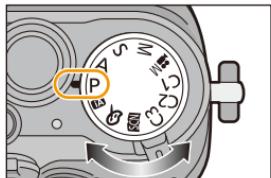
## 2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

記録可能時間

# 撮影モードを選ぶ

## モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



### **I**A インテリジェントオートモード(P68)

カメラにおまかせで撮影します。

### **I**A+ インテリジェントオートプラスモード(P68)

インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。

### **P** プログラム AE モード(P73)

カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。

### **A** 絞り優先 AE モード(P75)

絞り値を決めて撮影します。

### **S** シャッター優先AEモード(P76)

シャッタースピードを決めて撮影します。

### **M** マニュアル露出モード(P77)

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

→ 続く

## 撮影モードを選ぶ (続き)

**M クリエイティブ動画モード(P102)**

絞り値やシャッタースピードを決めて動画を撮影します。

※写真撮影はできません。

**C1 C2 C3 カスタムモード(P104)**

あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。

**SCN シーンガイドモード(P81)**

撮影シーンに合わせて撮影します。

**REC クリエイティブコントロールモード(P92)**

画像効果を確認しながら撮影します。

モードダイヤルを SCN / REC に切り換えたときに選択画面を表示する / しない

**[MENU] ボタン→[カスタム]→[メニューガイド]**

[ON]: シーンガイド、クリエイティブコントロールモードの選択画面を表示

[OFF]: 現在選択されているシーンガイド、クリエイティブコントロールモードの撮影画面を表示

# 撮影画面の表示情報を切り換える



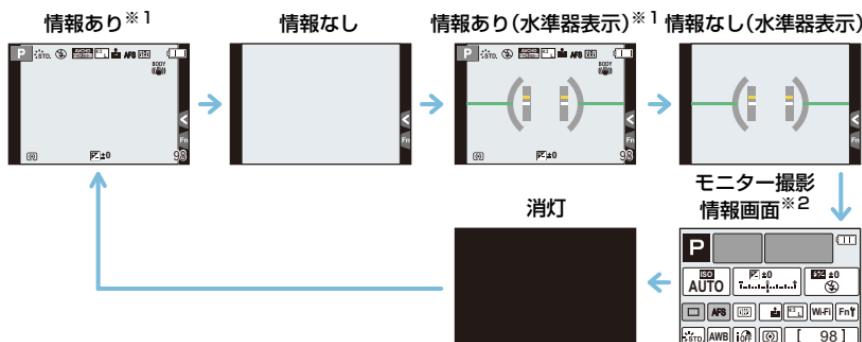
## [DISP.] ボタンを押して切り換える

- カスタムメニューの[モニター表示スタイル]、[LVF表示スタイル]で、モニターとファインダーの表示画面をそれぞれ[■] (モニタースタイル) または [□] (ファインダースタイル) から選ぶことができます。



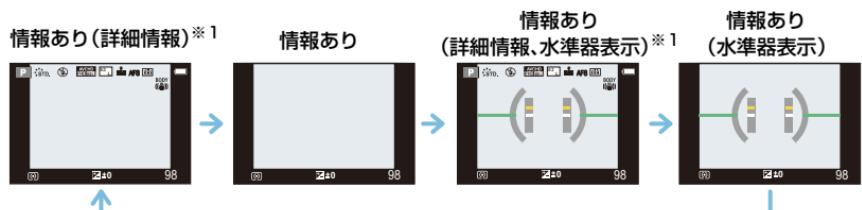
### ([■] モニタースタイル)

- 画面は以下のように切り換わります。(モニター表示での例です)



### ([□] ファインダースタイル)

- 画面は以下のように切り換わります。(ファインダー表示での例です)



\*1 カスタムメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。また、カスタムメニューの[露出メーター]を[ON]に設定すると、露出メーターを表示させることができます。(P73)

\*2 カスタムメニューの[モニター撮影情報画面]を[ON]にしているときのみ表示されます。(P62) 各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.] ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

続く

## 撮影画面の表示情報を切り換える（続き）



### モニターの表示方法を切り換える

**MENU** ボタン→[カスタム]→[モニター表示スタイル]

[]: ファインダースタイル

[]: モニタースタイル

### フайнダーの表示方法を切り換える

**MENU** ボタン→[カスタム]→[LVF表示スタイル]

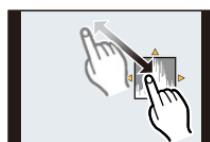
[]: ファインダースタイル

[]: モニタースタイル

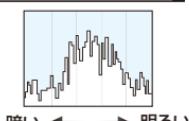
### ヒストグラムを表示する/しない

**MENU** ボタン→[カスタム]→[ヒストグラム表示]→[ON]/[OFF]

ヒストグラムをドラッグして、位置を設定することができます。



- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。



- 撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
  - 露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが“0”以外のとき
  - フラッシュが発光するとき
  - フラッシュを閉じているときに、適正露出にならないときや、暗いところで画面の明るさが正確に表示できないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

続く

## 撮影画面の表示情報を切り換える (続き)



### FC ガイドラインを表示する/しない

**MENU ボタン→[カスタム]→[ガイドライン表示]→[■]/[■]/[■]/[OFF]**

- ・シーンガイドモードの[パノラマで撮る]では、ガイドラインは表示されません。

[■]にすると、ガイドライン上の[■]をドラッグして、位置を設定することができます。

- ・画面の端など、タッチ操作でガイドラインを移動しにくいときは、カーソルボタンを使って位置を設定してください。



### FC モニターの撮影情報画面を表示する/しない

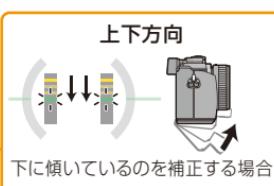
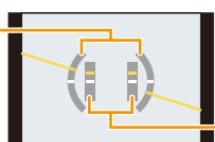
**MENU ボタン→[カスタム]→[モニター撮影情報画面]→[ON]/[OFF]**

## ■ 水準器表示について

水準器を表示させると、カメラの傾きを補正したい場合などに便利です。

**1 [DISP.] ボタンを押して水準器を表示させる**

**2 カメラの傾きを確認する**



- ・傾きがほぼない状態は、緑色に変わります。
- ・縦位置撮影時は、自動で縦位置用の表示に切り換わります。

- ・傾きがほぼ補正された状態でも、±1°程度の誤差が生じことがあります。
- ・ファンクションボタンに[水準器表示]を設定しているときは、ファンクションボタンを押すごとに、水準器の表示/非表示を切り換えることができます。

### ② こんなときは使えません

- ・本機を動かしている間は、水準器表示が正しく表示できない場合があります。
- ・本機を大きく上に向けたり下に向けたりして撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能(P52)が正しく働かない場合があります。

# 再生する



## 写真を見る

### 1 [□] ボタンを押す



### 2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押す

◀:前の画像へ ▶:次の画像へ

- ◀/▶ボタンを押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- 前ダイヤルを回す、または画面を水平にドラッグ(P19)しても画像を送ることができます。
- ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。  
(画像は縮小して表示されます)
- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。



画像を連続して送るときの速さを切り換える

MENU ボタン→[カスタム]→[タッチ再生送り速度]→[H](高速)/[L](低速)

### ■ 再生を終了するには

再度 [□] ボタンを押すか、動画ボタンを押す、またはシャッター ボタンを半押しする

#### こんなときは使えません

- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF (Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

## 再生する（続き）



## 再生画面を拡大する（再生ズーム）

## 後ダイヤルを右側に回す

1倍 ⇄ 2倍 ⇄ 4倍 ⇄ 8倍 ⇄ 16倍

- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- ▲/▼/◀/▶ボタンを押す、または画面をドラッグ（P19）すると、拡大部分を移動することができます。
- 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大（2倍）することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。
- 拡大したい部分をピンチアウト/ピンチイン（P19）しても、画像を拡大／縮小することができます。

ズーム位置表示



## ■ 再生ズームのまま表示画像を切り換えるには

再生ズームのズーム倍率、ズーム位置を保持したまま表示画像を切り換えることができます。

## 再生ズーム中に前ダイヤルを回して画像を送る

- 再生ズーム中に後ダイヤルを押して画像送り操作に切り換え、[◀]/[▶]をタッチする、またはカーソルボタンの◀/▶ボタンを押して画像を送ることもできます。



## 再生する（続き）



## 動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD、MP4 または QuickTime Motion JPEG です。

## 再生状態で動画アイコン([])が付いた画像を選び、▲ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。  
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- [AVCHD] で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。
- 画面中央の [] をタッチしても動画を再生できます。



動画記録時間

## ■ 動画再生中の操作

		再生/一時停止			停止
		早戻し再生*			早送り再生*
		コマ戻し(一時停止中)			コマ送り(一時停止中)
後ダイヤル (左回し)		音量下げる	後ダイヤル (右回し)		音量上げる

- 約2秒間何も操作しないとコントロールパネルの表示が消えます。画面をタッチしてコントロールパネルを表示させてください。

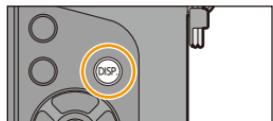
\* もう一度 ▶/◀ ボタンを押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]で撮影された動画は、約10倍の速度で再生されます。

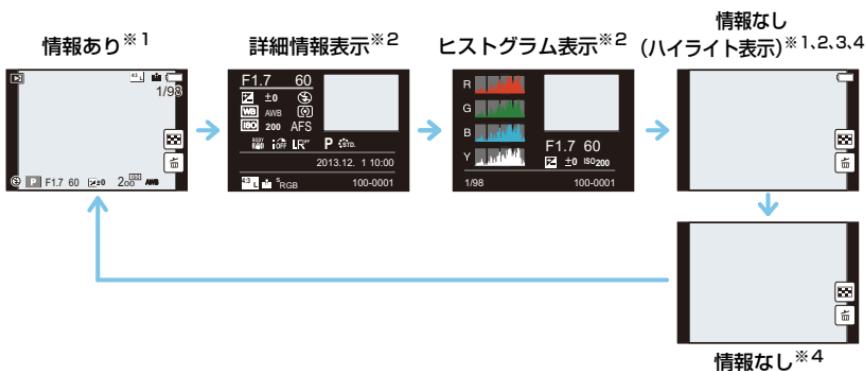
## 再生する（続き）

## 再生画面の表示情報を切り換える

## [DISP.] ボタンを押して切り換える



- 画面は以下のように切り换わります。



- ※1 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- ※2 再生ズーム時、動画再生中、連続再生中、パノラマ再生中、スライドショー中は表示されません。
- ※3 カスタムメニューの「[ハイライト表示]」(P66)を[ON]にしているときのみ表示されます。
- ※4 何も操作しないと、数秒後に[ ]などのタッチアイコンは表示されなくなります。
- 再生時はヒストグラムをR(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)、Y(輝度)に分けて表示します。



## 白飛びしている箇所を表示する/しない

**MENU ボタン→[カスタム]→[ハイライト表示]→[ON]/[OFF]**

オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。撮影画像には影響されません。

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム(P61)を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P135)再度撮影することをお勧めします。
- マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は働きません。

ハイライト表示[ON] ハイライト表示[OFF]



# 画像を消去する

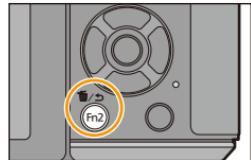
画像は一度消去すると元に戻すことができません。

- DCF規格外または[プロジェクト]設定された画像は、消去できません。

## 1枚消去

### 1 再生状態で消去する画像を選び、[▲/▼]ボタンを押す

- [▲]をタッチしても同じ操作ができます。



### 2 ▲ボタンで[1枚消去]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。



- 再生メニューの[消去確認画面]で、消去確認画面で[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定できます。お買い上げ時は[いいえ]が選ばれるように設定されています。(P209)
- [1枚消去]を設定しているファンクションボタンを押すことで、直接1枚消去することができます。(P42)



## 複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

### 1 再生状態で[▲/▼]ボタンを押す

### 2 ▲/▼ボタンで[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

### 3 ([複数消去]選択時) ▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンで設定する(繰り返す)

- 設定した画像に[▲]が表示されます。  
もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。

### 4 ([複数消去]選択時) ◀ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

- 消去中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC8)(P270)を使用してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。



# 撮影モード

## カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード:

カメラにおまかせで気軽に撮りたいときは、被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行なうインテリジェントオートプラスモードやインテリジェントオートモードをお使いください。

### インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードについて

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードでは、設定できる機能が異なります。(○: 設定可、×: 設定不可)

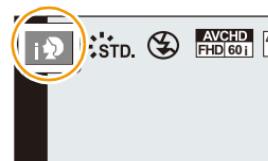
	インテリジェントオートプラスモード	インテリジェントオートモード
明るさ設定	○	×
色合い設定	○	×
ボケ味コントロール	○	○
設定できるメニュー	<a href="#">70 ページをお読みください。</a>	<a href="#">70 ページをお読みください。</a>

### 1 モードダイヤルを [] に合わせる

- ・インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。

### 2 被写体に画面を合わせる

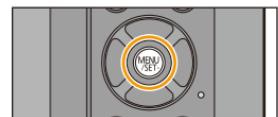
- ・カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。
- ・被写体をタッチすると追尾AF機能が働きます。◀ボタンを押し、シャッターボタンを半押ししても可能です。  
詳しくは [122 ページ](#)をお読みください。



### ■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換えるには

#### 1 [MENU/SET] ボタンを押す

- ・◀ボタンを押してから▲/▼ボタンで [] または [] を選んでください。



#### 2 ◀/▶ボタンで [] または [] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[DISP.]ボタンを押す、または[]をタッチすると、選択されているモードの説明が表示されます。



撮影状態で撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



続く

## カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード) (続き)

## ■ 自動シーン判別について

写真撮影時

	→		i 人物		i 風景		i マクロ		i 夜景&人物 <sup>※1</sup>
			i 夜景		i 料理		i 赤ちゃん <sup>※2</sup>		i 夕焼け

※ 1 [iA] (オート)選択時のみ

※ 2 [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録(P158)の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

動画撮影時

	→		i 人物		i 風景		i ローライト		i マクロ
--	---	--	------	--	------	--	---------	--	-------

- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [iP]、[iL]、[iS]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。(顔認識)
- [iL]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようお気をつけください。
- 追尾AF時は、指定した被写体に最適なシーンを判別します。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[iP]、[iL]、[iS]の右上に[R]が表示されます。

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
    - 被写体条件  
顔の明暗/被写体の大きさ・色・形状/被写体までの距離/被写体の濃淡/被写体が動いているとき
    - 撮影条件  
夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生したとき/ズーム倍率
  - 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをお勧めします。

## ■ フラッシュ

フラッシュを閉じているときは[④]に、開いているときは[iA] (オート)に設定されます。フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で[iA]、[iA] (赤目軽減オート)、[iS]、または[iS]に設定します。

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P172)
  - [iA]、[iS]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
  - [iS]、[iS]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

続く

## カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード) (続き)



## ■自動で働く機能について

カメラが最適な設定を行うため、以下の機能が自動で働きます。

- 自動シーン判別/逆光補正/顔認識/オートホワイトバランス/インテリジェントISO/デジタル赤目補正/超解像/iDレンジコントロール/長秒ノイズ除去/シェーディング補正/クリックAF/AF補助光

## ■設定できるメニューについて

以下のメニューのみ設定できます。

## インテリジェントオートプラスモード

メニュー	項目
撮影	[フォトスタイル]/[画像横縦比]/[記録画素数]/[クオリティ]/[連写速度]/[オートブラケット]/[セルフタイマー]/[インターバル撮影]/[コマ撮りアニメ]/[電子シャッター]/[シャッターディレイ]/[EX テレコン(写真)]/[色空間]/[手ブレ補正]/[個人認証]/[プロフィール設定]
動画撮影	<a href="#">186 ページの「動画撮影メニューを使う」をお読みください。</a>
カスタム	[サイレントモード]/[シャッター半押しレリーズ]/[AFS/AFF/AFC]/[ピンポイントAF時間]/[フォーカス/レリーズ優先]/[AF+MF]/[MFアシスト]/[MFガイド]/[ピーキング]/[ヒストグラム表示]/[ガイドライン表示]/[ハイライト表示]/[常時プレビュー(Mモード)]/[ダイヤル操作ガイド]/[LVF表示スタイル]/[モニター表示スタイル]/[モニター撮影情報画面]/[記録枠表示]/[残枚数/残時間切換]/[オートレビュー]/[Fnボタン設定]/[Q.MENU]/[ダイヤル設定]/[動画ボタン]/[パワーズームレンズ]/[アイセンサー]/[タッチ設定]/[タッチ再生送り速度]/[メニューガイド]/[レンズ無しレリーズ]
セットアップ	すべてのメニュー項目が設定できます。 <a href="#">(P43)</a>

## インテリジェントオートモード

メニュー	項目
撮影	[画像横縦比]/[記録画素数]/[連写速度]/[セルフタイマー]/[インターバル撮影]/[コマ撮りアニメ]/[個人認証]
動画撮影	<a href="#">186 ページの「動画撮影メニューを使う」をお読みください。</a>
カスタム	[サイレントモード]/[AFS/AFF/AFC]/[ガイドライン表示]/[残枚数/残時間切換]
セットアップ	すべてのメニュー項目が設定できます。 <a href="#">(P43)</a>



## 逆光補正について

- カメラが自動で画像を明るくすることにより、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。

## カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード) (続き)

## 背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

撮影モード:

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

## 1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- ・インテリジェントオートプラスモード時は、後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作(P72)、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。
- ・インテリジェントオートモード時は、後ダイヤルを押すごとに、ボケ味コントロール操作と操作の終了が切り換わります。

## 2 後ダイヤルを回してボケ具合を設定する



ボケ具合が大きい



ボケ具合が小さい

## 3 写真または動画を撮影する

## ■ タッチパネル操作時

① [] をタッチする

② [] をタッチして、設定画面を表示する

③ 露出メーターをドラッグして設定する

- ・[MENU/SET] ボタンを押すと、ボケ味コントロール操作を終了します。



- ・ボケ具合の設定画面で [ / ] ボタンを押すと、設定が解除されます。
- ・インテリジェントオート( または )モードでは、オートフォーカスマードが [] になります。画面をタッチすると、AFエリアの位置を設定できます。(大きさは変更できません)
- ・使用するレンズによっては、ボケ具合を操作しているときに、レンズ部から音がすることがあります、このときの音はレンズの絞り動作によるもので、異常ではありません。
- ・使用するレンズによっては、動画撮影中にボケ具合を操作すると、その動作音が記録されることがあります。

## ② こんなときは使えません

- ・使用するレンズによっては動作しない場合があります。対応レンズについては、ホームページをご覧ください。

## カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード) (続き)

## 明るさや色合いを変えて撮る

撮影モード:

カメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できます。

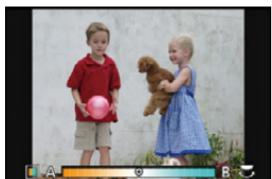
## 明るさを設定する

- 1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する
  - 後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作 (P71)、操作の終了に切り換わります。
- 2 後ダイヤルを回して明るさを調整する



## 色合いを設定する

- 1 ▶ボタンを押して設定画面を表示する
- 2 後ダイヤルを回して色合いを調整する
  - 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
  - [MENU/SET]ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



## ■ タッチパネルで設定を変える

- ① をタッチする
- ② 設定する項目をタッチする
  - : 色合い
  - : 明るさ
- ③ スライドバーをドラッグして設定する
  - [MENU/SET]ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



- [露出補正リセット]を[ON]に設定した場合、設定した明るさは、電源スイッチを[OFF]にする、または他の撮影モードに変更すると標準(中心点)に戻ります。
- 設定した色合いは、電源スイッチを[OFF]にする、または他の撮影モードに変更すると、標準(中心点)に戻ります。

# お好みの設定で撮る(プログラム AE モード)

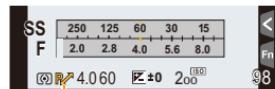
撮影モード: **P**

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

## 1 モードダイヤルを[P]に合わせる

## 2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

- シャッタースピードは、[ISO200]、開放絞り値F1.7[交換レンズ(H-H020A)装着時]の場合、約15秒～1/8000秒の間で自動的に設定されます。



プログラムシフト表示

## 3 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してプログラムシフトする

- 数値の表示中は、後ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作([P135](#))が切り換わります。
- 画面にプログラムシフト表示が出ます。
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、前後のダイヤルを回してください。

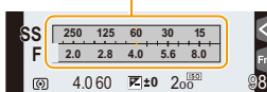
ファンクションボタンに[ワンプッシュAE]を設定すると、簡単にプログラムシフトを解除できます。[\(P80\)](#)

### 露出メーターを表示する/しない

MENU ボタン→[カスタム]→[露出メーター]→[ON]/[OFF]

- [ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に[露出メーター]が表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- [露出メーター]が表示されないとときは、[DISP.]ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。[\(P60\)](#)
- 約4秒間何も操作しないと[露出メーター]が消灯します。

露出メーター



## お好みの設定で撮る(プログラム AE モード) (続き)

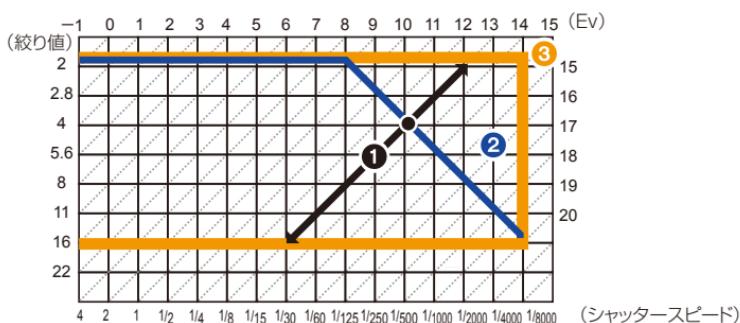
## プログラムシフトについて

プログラム AE で本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。

プログラム AE での撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

<プログラムシフトの例>

交換レンズ(H-H020A)装着時



- ① プログラムシフト量
- ② プログラム線図
- ③ プログラムシフト限界

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。
- プログラムシフトが有効になってから10秒以上経過すると、通常のプログラムAEに戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。

こんなときは使えません

- 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。
- ISO感度を[ISO]に設定すると、プログラムシフトできません。

# 絞り/シャッタースピードを決めて撮る

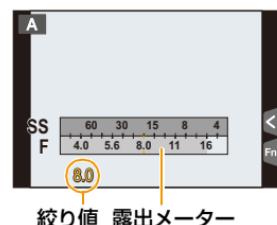
撮影モード: **A S M**

## A: 絞り優先AE モード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

**1 モードダイヤルを [A] に合わせる**

**2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して絞り値を設定する**



**絞り値:小さくなる**  
背景をぼかしやすくな  
ります。

**絞り値:大きくなる**  
背景までピントが合  
った状態にしやすくな  
ります。

- ・後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。
- ・設定した絞り値の効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P79)

- ・画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- ・前後のダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- ・シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- ・絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの位置を[A]にすると前後のダイヤルの設定が有効になり、[A]以外では絞りリングの設定が優先されます。

## 絞り/シャッタースピードを決めて撮る（続き）

**S：シャッター優先AEモード**

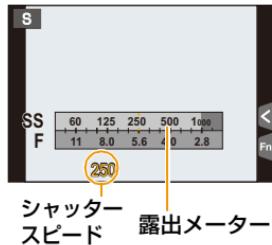
動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

**1 モードダイヤルを[S]に合わせる****2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する**

シャッタースピード：  
遅くなる  
動きを表現しやすくな  
ります。



シャッタースピード：  
速くなる  
動きを止めやすくな  
ります。



- ・後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。
- ・設定したシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビュー モード]をお使いください。(P79)

- ・画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- ・前後のダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- ・シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- ・シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- ・ISO感度が[ISO]のときに、撮影モードをシャッター優先AEに切り換えると、ISO感度は[AUTO]になります。

**○ こんなときは使えません**

- ・フラッシュ発光時は、1/320秒(外部フラッシュ使用時は1/250秒)より速いシャッタースピードには設定できません。(P174)
- ・[電子シャッター]を[ON]に設定時は、1秒より遅いシャッタースピードには設定できません。

## 絞り/シャッタースピードを決めて撮る（続き）

## M：マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

露出の状態の目安を示すマニュアル露出アシストが、画面下部に表示されます。

## 1 モードダイヤルを【M】に合わせる

## 2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを、前ダイヤルを回して絞り値を設定する

絞り値		
	小さくなる 背景をぼかしやすくなります。	大きくなる 背景までピントが合った状態にしやすくなります。
シャッタースピード		
	遅くなる 動きを表現しやすくなります。	速くなる 動きを止めやすくなります。



絞り値 マニュアル露出アシスト  
シャッタースピード

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード] (P79)、または [常時プレビュー(Mモード)]をお使いください。



## マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

→ 続く

## 絞り/シャッタースピードを決めて撮る（続き）

## ■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。（最大約120秒間）

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、画面に[B]が表示されます。
- バルブ撮影時は、十分に充電されたバッテリー（P27）を使用してください。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- [電子シャッター]を[ON]に設定時は使えません。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。



- バルブ撮影時は、三脚やシャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、269ページをお読みください。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。（P118）



## 撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認する / しない

**MENU** ボタン→[カスタム]→[常時プレビュー（Mモード）]→[ON]/[OFF]

- フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 前後のダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚の使用をお勧めします。
- ISO感度が[AUTO]または[ISO]のときに、撮影モードをマニュアル露出に切り換えると、ISO感度は[ISO200]になります。
- 絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの設定が優先されます。



## こんなときは使えません

- フラッシュ発光時は、1/320秒（外部フラッシュ使用時は1/250秒）より速いシャッタースピードには設定できません。（P174）
- [電子シャッター]を[ON]に設定時は、1秒より遅いシャッタースピードには設定できません。

## 絞り/シャッタースピードを決めて撮る(続き)

## 絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード: **T A T P A S M** **M** **C1 C2 C3 SCN** **♪**

プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

- **絞り効果の確認**: 実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度(ピントの合っている範囲)を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**: 実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。

- 1 ファンクションボタンに[プレビュー]を設定する(P41)  
●次の手順は、[Fn5]ボタンに[プレビュー]を設定した場合の例です。
- 2 [A]タブをタッチする
- 3 [Fn5]をタッチして確認画面を切り換える  
●[Fn5]をタッチするごとに画面が切り換わります。



## 被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	レンズの焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い(狭い) 例:背景をぼかして撮りたいときなど	深い(広い) 例:背景までピントを合わせて撮りたいときなど

- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果確認のできる範囲は、8秒～1/1000秒です。

## 絞り/シャッタースピードを決めて撮る(続き)



## 絞り/シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる(ワンプッシュAE)

使えるモード: **A** **P** **S** **M** **C1** **C2** **C3**

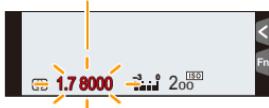
露出の設定が明るすぎたり、暗すぎたとき、ワンプッシュAEを使うと簡単に適正露出に合わせることができます。



## 適正露出でないときの見分け方

- シャッター速度ボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが $\blacksquare$ 以外で表示されたとき。マニュアル露出アシストについて詳しくは [77 ページ](#)をお読みください。

赤色で点滅

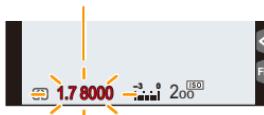


## 1 ファンクションボタンに[ワンプッシュAE]を設定する(P41)

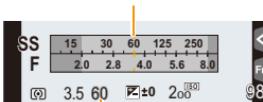
- 次の手順は、[Fn1]ボタンに[ワンプッシュAE]を設定した場合の例です。

## 2 (適正露出でないときに)[Fn1]ボタンを押す

赤色で点滅



露出メーター



適正露出に変更

- 露出メーターが表示され、絞り値やシャッタースピードが適正露出に合った設定に変わります。設定が変わる項目は、撮影モードによって異なります。

撮影モード	設定が変わるもの
<b>A</b>	絞り値
<b>S</b>	シャッタースピード
<b>M</b>	絞り値/シャッタースピード

- 以下の場合は、適正露出に合わせることができません。(露出メーターは表示されます)
  - 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
  - フラッシュ撮影時
  - プレビューモード時(P79)
  - 絞りリングのあるレンズを使用時

- プログラムAEモード時では、[ワンプッシュAE]を設定しているファンクションボタンを押すとプログラムシフトを解除することができます。

# 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

撮影モード: **[SCN]**

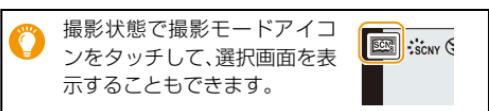
作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

## 1 モードダイヤルを [**[SCN]**] に合わせる

## 2 ◀/▶ボタンでシーンを選ぶ

- ・作例写真やスライドバーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。

## 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



### ■ シーンを選ぶ画面表示を切り換えるには

#### [DISP.] ボタンを押して切り換える

- ・[DISP.] ボタンを押す、または [表示切換] をタッチするごとに、シーンを選ぶ画面が切り換わります。



#### もっと表現を楽しむために

シーンを選ぶ画面表示をガイド表示に切り換えると、シーンに合わせた写真表現のための説明などが表示されます。もっと写真表現を楽しみたい方には、説明を読んで撮影してみることをお勧めします。

- ・▲/▼ボタンを押してページを切り換えられます。

- ・シーンガイドモードを変更したい場合は、メニュー画面で [**[SCN]**] タブを選び、[シーン切換] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと上記手順 2 に戻ります。
- ・シーンガイドモード時は、カメラが自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
  - [フォトスタイル] の画質調整以外の項目/[ISO感度]/[測光モード]/[ハイライトシャドウ]/[HDR]/[デジタルズーム]/[多重露出]
- ・シーンによってはホワイトバランスは[AWB]に固定されますが、撮影画面で ▶ ボタンを押すとホワイトバランスの微調整やホワイトバランスプラケットが使えます。  
詳しくは、[112](#)、[113](#)ページをお読みください。



① シーンガイドモードの設定方法は

P81



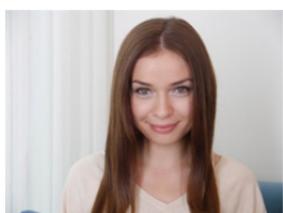
## 1: 人物をきれいに撮る

顔の明るさを適正にして、背景をぼかすことで、人物をきれいに撮影できます。



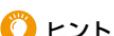
### ヒント

- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。



## 2: 人物の肌をきれいに撮る

顔を少し明るめにして、肌色を滑らかにすることで、人物の肌をきれいに撮影できます。



### ヒント

- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。



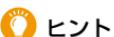
## 3: 逆光でふんわり撮る

逆光のときに、画面全体を明るめにすることで、光があふれて、ふんわりとした雰囲気で人物を撮影できます。



## 4: 逆光でしっかり撮る

昼間の屋外で、フラッシュを使うことで、しっかりと人物の顔を撮影できます。



### ヒント

- フラッシュを開いてください。([闪光]に設定できます)
- 被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- [サイレントモード]を[ON]に設定している時は、フラッシュは発光しません。



① シーンガイドモードの設定方法は

P81

**5: ほのぼのとした雰囲気で撮る**

暖色の色調にすることで、ほのぼのとした雰囲気で人物を撮影できます。

**6: 子どもをかわいく撮る**

顔にピントを合わせて背景をぼかすことで、子どもの表情を引き立てて、かわいく撮影できます。

**顔をタッチする**

- タッチした場所にピントや露出が合い、写真が撮影されます。



- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

**7: 風景をきれいに撮る**

青空や緑を鮮やかにすることで、風景をきれいに撮影できます。

**8: 青空をさわやかに撮る**

晴れた日に、画面全体を明るめにすることで、さわやかに青空を撮影できます。

## 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード) (続き)



① シーンガイドモードの設定方法は

P81



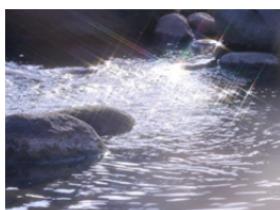
## 9: 夕焼けを幻想的に撮る

日没直後に、紫がかった色調にすることで、幻想的な空を撮影できます。



## 10: 夕焼けを印象的に撮る

赤色を強調することで、印象的な夕焼けを撮影できます。



## 11: 水面をキラキラ撮る

水面に映る光を、明るく青く、キラキラと強調させて撮影できます。

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。



## 12: 夜景をきれいに撮る

光の色を鮮やかにすることで、夜景をきれいに撮影できます。



- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります。信号処理のために異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

## 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード) (続き)



① シーンガイドモードの設定方法は

P81



## 13: 夜空をクールに撮る

日没後に、青みがかった色調にすることで、都会的でクールに夜空を撮影できます。



- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります。信号処理のために異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



## 14: 夜景を暖かく撮る

暖色の色調にすることで、暖かみのある夜景を撮影できます。



- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります。信号処理のために異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



## 15: 夜景をアーティスティックに撮る

シャッタースピードを遅くすることで、光の軌跡が美しい、アーティスティックな夜景を撮影できます。



- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります。信号処理のために異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

## 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード) (続き)



① シーンガイドモードの設定方法は

P81



## 16: イルミネーションをキラキラ撮る

クロスフィルターを使うことで、光の輝きがキラキラと強調されたイルミネーションやライトアップを撮影できます。



## ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります。信号処理のために異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



## 17: 夜景をバックに人物をきれいに撮る

フラッシュを発光し、長秒撮影することで、夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。



## ヒント

- フラッシュを開いてください。([  $\#S\circledR$  ]に設定できます)
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。
- [サイレントモード]を[ON]に設定している時は、フラッシュは発光しません。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります。信号処理のために異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

## 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード) (続き)



① シーンガイドモードの設定方法は

P81



## 18: 花をふんわり撮る

ソフトフォーカスを使うことで、ふんわりとやわらかな雰囲気で花を撮影できます。

## 💡 ヒント

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。
- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- ピントが合う範囲は、使用するレンズによって異なります。  
133 ページの「撮影距離基準について」をお読みください。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- 撮影時は近距離側を優先するため、遠くの被写体を撮影する場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合がありますのでお気をつけください。



## 19: 料理をおいしそうに撮る

画面全体を明るくすることで、おいしそうに料理を撮影できます。

## 💡 ヒント

- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。



① シーンガイドモードの設定方法は

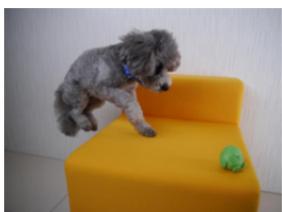
P81

**20: スイーツをかわいく撮る**

画面全体を明るくすることで、かわいくスイーツを撮影できます。



- ズーム機能のあるレンズを使用した場合、ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。

**21: 動くペットをきちんと撮る**

シャッタースピードを速くすることで、ブレずに動きの速いペットを撮影できます。

**22: スポーツをきれいに撮る**

シャッタースピードを速くすることで、スポーツシーンなど、動きの速い場面をブレずに撮影できます。

**23: モノクロで撮る**

モノクロで撮影することで、いつもと違った雰囲気で撮影できます。

## 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード) (続き)



① シーンガイドモードの設定方法は

P81



## 24: パノラマで撮る

カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

## 1 撮影方向を確認し、[MENU/SET]ボタンを押す

- 水平/垂直ガイドが表示されます。



撮影方向を変更するには

## ① メニュー設定する

[MENU]ボタン→[撮影]→[パノラマ設定]→[撮影方向]

## ② 撮影方向を選んで[MENU/SET]ボタンを押す

[](左→右)/[](右→左)/[](下→上)/[](上→下)



画像効果を加えるには

## ① メニュー設定する

[MENU]ボタン→[撮影]→[パノラマ設定]→[フィルター選択]

## ② ▲/▼ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

- クリエイティブコントロールモードと同じ操作で、同じ画像効果を加えることができます。(P92)([トイフォト]、[トイポップ]、[ジオラマ]、[サンシャイン]を除く)
- パノラマ写真の撮影中、以下のクリエイティブコントロールモードの画像効果は画面に反映されません。

[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]

- 画像効果を加えない場合は「効果なし」を選択してください。

## ③ [MENU/SET]ボタンを押す

## 2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

→ 続く

## 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード) (続き)

## 3 シャッターボタンを全押しし、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

左から右へ撮影する場合



撮影の方向と進み具合(目安)

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

## 4 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めて撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

## ■ タッチパネルで設定を変える

- []タブをタッチして撮影方向や画像効果の設定をすることもできます。

[]:撮影方向

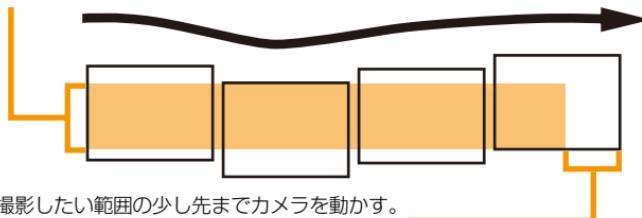
[ICLR]:画像効果(フィルター)選択

[]:画像効果の調整  
(画像効果設定時のみ表示されます)[]:画像効果の調整  
(ワンポイントカラー設定時のみ表示されます)

## ■ 撮影のテクニック

- 揺らさないように気をつけながら、撮影方向へカメラを動かす。

(揺れが大きいと撮影できなかったり、記録されるパノラマ写真が細く(小さく)なります)



- 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。  
(最後の1コマは端まで記録されません)

→ 続く

## 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード) (続き)

## ■ 再生について

▲ボタンを押すと、撮影時と同じ方向に自動でスクロール再生されます。

- スクロール再生中は、以下の操作が行えます。

▲	▶/II	パノラマ再生開始 / 一時停止*
▼	■	停止



\*一時停止中は、画面をドラッグしてスクロールを進めたり戻したりすることができます。スクロールバーをタッチすると、タップした位置まで再生位置がジャンプします。

- カメラを動かす最適な速さは、使用するレンズによって異なります。
- 望遠レンズ装着時など、焦点距離が大きいときはカメラをゆっくり動かしてください。
- ピント・ホワイトバランス・露出は、1コマ目の写真に最適な値で固定されます。このため、撮影の途中でピントや明るさが極端に変わった場合、パノラマ写真全体では適切なピントや明るさで撮影されない場合があります。
- 画像効果を加えた場合、ホワイトバランスは [AWB] に固定されます。
- 複数の写真から1枚のパノラマ写真に合成するため、被写体がゆがんだりつなぎ目が目立つ場合があります。
- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、撮影方向や合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

撮影方向	横	縦
水平方向	8176 画素	1920 画素
垂直方向	2560 画素	8176 画素

## ② こんなときは使えません

- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
  - 単調な色や模様が続く被写体(空や砂浜など)
  - 動いている被写体(人やペット、自動車、波、風に揺れる花など)
  - 短時間で色や模様が変化する被写体(ディスプレイに映った画像など)
  - 暗い場所
  - 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所
- サイレントモード設定時は使えません。

# 画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

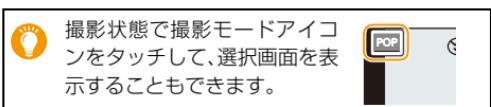
撮影モード: 

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

## 1 モードダイヤルを [] に合わせる

## 2 ▲/▼ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

- 選んだ作例写真的画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。



プレビュー表示



## 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

### ■ 画像効果(フィルター)を選ぶ画面表示を切り換えるには

#### [DISP.] ボタンを押して切り換える

- [DISP.]ボタンを押す、または[表示切換]をタッチするごとに、画像効果を選ぶ画面が切りわります。
- ガイド表示に切り換えると、選択されている画像効果の説明が表示されます。



- クリエイティブコントロールモードを変更したい場合は、メニュー画面で [] タブを選び、[フィルター切換] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと上記手順 2 に戻ります。
- クリエイティブコントロールの設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- ホワイトバランスは[AWB]に、ISO感度は[AUTO]に固定されます。

## 画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単に好みに合わせることができます。

## 1 ►を押して設定画面を表示する

## 2 後ダイヤルを回して設定する

- 調整できる項目は、選択している画像効果により異なります。  
それぞれの画像効果の「調整できる項目」をお読みください。
- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- 画像効果の設定を行うと、画面に [] が表示されます。
- 設定を変えない場合は、中心(標準)を選んでください。





## 背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

### 1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

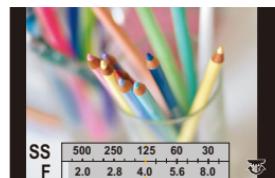
- ・後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

### 2 後ダイヤルを回して設定する

- ・ボケ具合の設定画面で[▲/▼]ボタンを押すと、設定が解除されます。

#### こんなときは使えません

- ・クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、ボケ味コントロール機能を使えません。

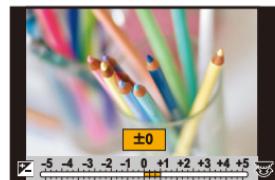


## 明るさを設定する

### 1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- ・後ダイヤルを押すごとに、明るさ設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

### 2 後ダイヤルを回して設定する



## ■ タッチパネルで設定を変える

### ① [ ]をタッチする

### ② 設定する項目をタッチする

[]: 画像効果

[]: ボケ具合

[]: 明るさ

### ③ スライドバーをドラッグして設定する

- ・[MENU/SET]ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



## 画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード) (続き)



## ポップ

色を強調したポップアート風の画像効果です。

## 調整できる項目

鮮やかさ	落ち着いた色合い	<input type="button" value="↔"/>	派手な色合い
------	----------	----------------------------------	--------



## レトロ

色あせた写真の雰囲気をかもし出した、柔らかい画像効果です。

## 調整できる項目

色合い	黄色っぽい色	<input type="button" value="↔"/>	赤っぽい色
-----	--------	----------------------------------	-------



## オールドデイズ

光に包まれた柔らかく懐かしい雰囲気をかもし出す画像効果です。

## 調整できる項目

コントラスト	明暗差が小さい	<input type="button" value="↔"/>	明暗差が大きい
--------	---------	----------------------------------	---------



## ハイキー

全体的に明るく、ふんわりと柔らかな雰囲気に仕上げる画像効果です。

## 調整できる項目

色合い	ピンクっぽい色	<input type="button" value="↔"/>	水色っぽい色
-----	---------	----------------------------------	--------

- シーンガイドモードの[パノラマで撮る]でこの画像効果を選択した場合、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。



クリエイティブコントロールモードの設定方法は P92



### ローキー

全体的に暗く落ち着いた雰囲気で、明るい部分を引き立てる画像効果です。

#### 調整できる項目

色合い	赤っぽい色		青っぽい色
-----	-------	--	-------



### セピア

セピア色の画像効果です。

#### 調整できる項目

コントラスト	明暗差が小さい		明暗差が大きい
--------	---------	--	---------



### モノクローム

白黒の画像効果です。

#### 調整できる項目

色合い	黄色っぽい色		青っぽい色
-----	--------	--	-------



### ダイナミックモノクローム

コントラストを高めにし、力強いモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

#### 調整できる項目

コントラスト	明暗差が小さい		明暗差が大きい
--------	---------	--	---------

## 画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード) (続き)

**ラフモノクローム**

粗い粒子感を加えたモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

粒子感	粒子感が弱い		粒子感が強い
-----	--------	--	--------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

**シルキーモノクローム**

全体を少しづかし、柔らかい雰囲気のモノクロ写真に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

ボケ具合	ボケ具合が小さい		ボケ具合が大きい
------	----------	--	----------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

**インプレッシブアート**

強いコントラストで、現実ではない劇的な雰囲気を描き出す画像効果です。

**調整できる項目**

鮮やかさ	白黒		派手な色合い
------	----	--	--------

- シーンガイドモードの[パノラマで撮る]でこの画像効果を選択した場合、写真のつなぎ目が目立つことがあります。

**ハイダイナミック**

暗いところから明るいところまで、全体的にバランスのよい明るさで描き出す画像効果です。

**調整できる項目**

鮮やかさ	白黒		派手な色合い
------	----	--	--------

## 画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード) (続き)



④ クリエイティブコントロールモードの設定方法は [P92](#)

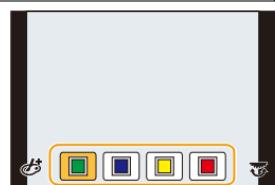
**クロスプロセス**

意外な発色で、独特の雰囲気に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色
-----	--------------------------------

- ・後ダイヤルを回して発色させる色合いを選択し、[MENU/SET]ボタンを押してください。

**トイフォト**

周辺光量を落とした、トイカメラで撮影したような画像効果です。

**調整できる項目**

色合い	オレンジっぽい色	↔	青っぽい色
-----	----------	---	-------

**トイポップ**

明るく鮮やかにトイカメラで撮影したような画像効果です。

**調整できる項目**

周辺光量が落ちる範囲	小さい	↔	大きい
------------	-----	---	-----

**ブリーチバイパス**

高コントラストで彩度を低くした、映画で使われるような渋い雰囲気の画像効果です。

**調整できる項目**

コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
--------	---------	---	---------

## 画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード) (続き)



## ジオラマ

周辺をぼかし、ジオラマ風に描き出す画像効果です。

## 調整できる項目

鮮やかさ	落ち着いた色合い		派手な色合い
------	----------	--	--------

## ■ ぼかし方を設定する

[ジオラマ]では、ぼかす部分とぼかさない部分を意図的に作ることで、模型を撮影したような効果を描き出します。撮影する向き(ぼかす向き)やぼかさない部分の位置、大きさを設定することができます。

## 1 [Fn2] ボタンを押して設定画面を表示する

- [Fn2] をタッチしたあと、[DISP.] をタッチしても表示できます。

## 2 ▲/▼ボタンまたは◀/▶ボタンでぼかさない部分を移動する

- 撮影画面で画面をタッチすることでも、ぼかさない部分を移動することもできます。
- [DISP.] をタッチすると、撮影する向き(ぼかす向き)を設定できます。



## 3 後ダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する

- 画面をピンチアウト/ピンチイン(P19)しても、拡大/縮小できます。
- [DISP.] ボタンを押す、または[リセット]をタッチすると、ぼかさない部分の設定は、初期設定に戻ります。

## 4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- [決定] をタッチしても決定できます。

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。
- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約1/10の時間で記録されます。(10分間撮影した場合、動画記録時間は約1分になります)表示される記録可能時間は約10倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。
- フォーカスモードレバーを[MF]に合わせた場合、ピントを合わせた場所にぼかさない部分を移動させてください。

## 画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード) (続き)

**ソフトフォーカス**

全体を少しづかし、柔らかい雰囲気に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

ボケ具合	ボケ具合が小さい		ボケ具合が大きい
------	----------	--	----------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

**ファンタジー**

淡い色調で空想の世界のような雰囲気に仕上げる画像効果です。

**調整できる項目**

鮮やかさ	落ち着いた色合い		派手な色合い
------	----------	--	--------

**クロスフィルター**

光源からの光が十字状に輝く、華やかな雰囲気を描き出す画像効果です。

**調整できる項目**

光の輝きの長さ	輝きが短い		輝きが長い
---------	-------	--	-------

- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

## 画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード) (続き)



④ クリエイティブコントロールモードの設定方法は P92

**ワンポイントカラー**

モノクロ写真に特定の色だけを残し、印象的に強調する画像効果です。

## 調整できる項目

残す色の量	少し色を残す		多く色を残す
-------	--------	--	--------

**■ 残したい色を設定する**

画面の位置を選ぶことで、残したい色を選ぶことができます。

**1 [Fn2] ボタンを押して設定画面を表示する**

- をタッチしたあと、 をタッチしても表示できます。

**2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、残す色を選ぶ**

- 画面をタッチすることでも、残す色を選べます。
- [DISP.] ボタンを押す、または[リセット]をタッチすると、枠は中央に戻ります。

**3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する**

- [決定]をタッチしても決定できます。



- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。



① クリエイティブコントロールモードの設定方法は [P92](#)



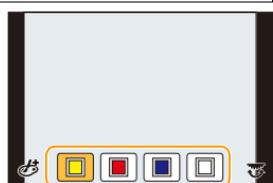
### サンシャイン

光が差し込むような雰囲気を作る画像効果です。

#### 調整できる項目

色合い	黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色
-----	--------------------------------

- 後ダイヤルを回して色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。



### ■ 光源を設定する

光源の位置と大きさを設定できます。

#### 1 [Fn2] ボタンを押して設定画面を表示する

- [Fn2] をタッチしたあと、[REC] をタッチしても表示できます。

#### 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで光源の中心の位置を移動する

- 画面をタッチして光源の位置を移動することもできます。
- 光源の中心は画面の端まで移動できます。

##### 光源の中心を置くときのポイント

画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。



決定

#### 3 後ダイヤルを回して光源の大きさを調整する

- 4種類の大きさに変更できます。
- ピンチアウト / ピンチインしても拡大 / 縮小できます。
- [DISP.] ボタンを押す、または [リセット] をタッチすると、光源の設定は初期設定に戻ります。



#### 4 [MENU/SET] ボタンを押す

- [決定] をタッチしても決定できます。
- 撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。

# 絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る(クリエイティブ動画モード)

撮影モード: 

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

## 1 モードダイヤルを [REC] に合わせる

## 2 メニューを設定する

**MENU** ボタン→[動画]→[動画露出設定]

## 3 ▲▼ボタンで [P]、[A]、[S]、[M] のいずれかを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- モードダイヤルを **P / A / S / M** のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。



撮影状態で撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示する  
こともできます。



## 4 撮影を開始する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を開始できます。(写真は撮れません)

## 5 撮影を終了する

- 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して、動画撮影を終了できます。

### ・絞り値について

- 背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

### ・シャッタースピードについて

- 動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。
- 手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。

- 極端に明るい場所や被写体を撮影したり、蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、他の撮影モードで撮影するか、手動でシャッタースピードを1/60または1/100に調整してください。

- 動画撮影中でも、設定の変更ができます。この場合、動作音が記録されることがありますので、[タッチ静音操作]を使って撮影することをお勧めします。(P103)

## 絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る(クリエイティブ動画モード) (続き)

**動画撮影中の操作音を抑えて撮る**

動画撮影中にズームやボタン操作などをしてると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

- ・動画撮影メニューの[タッチ静音操作]を[ON]に設定してください。

**1 撮影を開始する****2 [ ]をタッチする****3 アイコンをタッチする**

	ズーム(パワーズーム対応交換レンズ使用時)
	絞り値
	シャッタースピード
	露出補正
	ISO 感度
	マイクレベル設定

**4 スライドバーをドラッグして設定する**

- ・タッチする位置により、操作のスピードは変わります。

	ゆっくり設定を変える
	速く設定を変える

**5 撮影を終了する**

# お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

撮影モード: C1 C2 C3

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

## お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で5つまで登録しておくことができます。(C1,C2,C3-1,C3-2,C3-3)

準備: あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

### 1 メニューを設定する

**MENU**ボタン→[カスタム]→[カスタムセット登録]

### 2 ▲/▼ボタンで登録したいカスタムセットを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。  
実行後はメニューを終了してください。

カスタムセット	内容
C1	モードダイヤルの <b>C1</b> に登録されます。 • モードダイヤルを合わせるだけで撮影できますので、よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。
C2	モードダイヤルの <b>C2</b> に登録されます。 • モードダイヤルを合わせるだけで撮影できますので、よく使うカスタムセットを登録しておけば、便利にお使いいただけます。
C3-1	モードダイヤルの <b>C3</b> に登録されます。
C3-2	• 3つまでカスタムセットを登録できますので、状況に合わせて使い分けいただけます。
C3-3	

## お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード) (続き)



## 登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

## モードダイヤルを[C1]または[C2]に合わせる

- [C1]または[C2]に登録されたカスタムセットが呼び出されます。

## 1 モードダイヤルを[C3]に合わせる

- [C3-1]、[C3-2]または[C3-3]に登録されたカスタムセットが呼び出されます。  
最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。
- カスタムセットを変更するときは、  
→手順 2、3 へ

## 2 [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する

## 3 ◀/▶ ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



撮影状態で撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示する  
こともできます。



- 選択されているカスタムセット表示が画面に出ます。



## ■ 設定を変更した場合は

モードダイヤルをC1、C2またはC3に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されず、他の撮影モードに反映されます。

撮影メニュー	セットアップメニュー	カスタムメニュー
- [個人認証]で登録されたデータ	- すべてのメニュー	- [タッチ再生送り速度]
- [プロフィール設定]の設定内容		- [メニューガイド]

# 画像・画質の設定



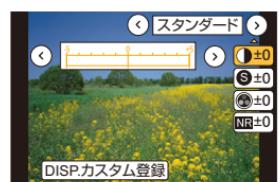
画像効果を加えて撮る

**クリエイティブコントロールモード  
(P92)**



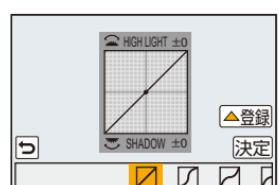
効果をつけて画質を調整する

**フォトスタイル(P107)**



明部と暗部の明るさを調整する

**ハイライトシャドウ(P109)**



ホワイトバランスを調整する(P110)

画質とサイズを設定する(P114)

画像横縦比(P114) / 記録画素数(P114) / クオリティ(P115)

コントラストや露出を補正する

**iDレンジコントロール(P116)**

解像感を設定する

**超解像(P116)**

露出の異なる写真を合成する

**HDR(P117)**

長秒露光時のノイズを低減する(長秒ノイズ除去)(P118)

レンズの周辺光量を補正する(シェーディング補正)(P118)

# 効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル)

使えるモード:         

撮影したいイメージに合わせて、6種類の効果を選択することができます。好みに合わせて効果の色や画質を調整することができます。

**[MENU] ボタン→[撮影]→[フォトスタイル]**

設定	設定内容
 [スタンダード] *	標準的な設定
 [ヴィヴィッド] *	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
 [ナチュラル] *	コントラスト低めの柔らかな効果
 [モノクローム] *	色味を抜いた単色の効果
 [風景] *	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
 [人物] *	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
 [カスタム] *	あらかじめ登録している設定を使用

\* インテリジェントオートプラス()モード時は設定できません。

- インテリジェントオートプラス()モード時、他の撮影モードに切り換えたり、電源の[ON]/[OFF]切り換えをした場合は、[スタンダード]にリセットされます。
- シーンガイドモード時は、それぞれのシーンに合ったフォトスタイルに固定されます。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

→ 続く

## 効果をつけて画質を調整する(フォトスタイル) (続き)

## ■ 画質調整する

- インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

## 1 ◀/▶ ボタンでフォトスタイルの種類を選ぶ

- シーンガイドモード時はフォトスタイルの種類を選べません。

## 2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する



項目	効果	
① コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
② シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
③ 彩度	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
NRノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感が僅かに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
④ フィルター効果*	黄	被写体のコントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	-

\* [モノクローム] 選択時のみ表示されます。

- 登録した内容は電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[+]が表示されます。
- [モノクローム]選択時は[彩度]で色調を変更できます。

## 3 [MENU/SET] ボタンを押す

## ■ 設定を [カスタム] に登録する

「画質調整する」の手順 2 で画質を調整し、[DISP.] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

# 明るい/暗い部分を調整する(ハイライトシャドウ)

使えるモード: **P A S M C1 C2 C3**

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

## 1 メニューを設定する

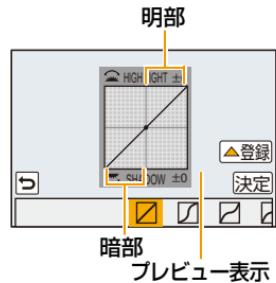
**MENU** ボタン→[撮影]→[ハイライトシャドウ]

## 2 ◀/▶ ボタンで設定項目を選ぶ

項目	設定内容
<input type="checkbox"/> (スタンダード)	調整なしの状態になります。
<input type="checkbox"/> (コントラストを上げる)	明部を明るく、暗部を暗くします。
<input type="checkbox"/> (コントラストを下げる)	明部を暗く、暗部を明るくします。
<input type="checkbox"/> (暗部を明るくする)	暗部を明るくします。
<input type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。

## 3 前後ダイヤルを回して、明部/暗部の明るさの調整をする

- 後ダイヤルは暗部の調整、前ダイヤルは明部の調整になります。
- お好みの設定を登録する場合は ▲ ボタンを押して、カスタム登録先(カスタム1() / カスタム2() / カスタム3() )を選んでください。
- グラフをドラッグ操作して調整することもできます。



## 4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 明るさ調整の画面で [DISP.] ボタンを押して、画面の表示を切り換えることができます。



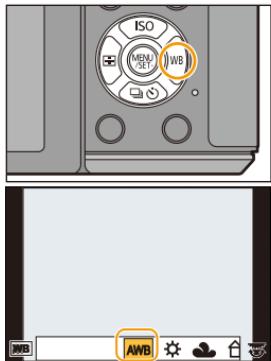
- /  /  に登録した設定は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- /  /  で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] するとお買い上げ時の設定に戻ります。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

# ホワイトバランスを調整する

使えるモード: **[A]** **[AWB]** **[P]** **[A]** **[S]** **[M]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[SCN]** **[手]**

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

## 1 ▶(WB)ボタンを押す



## 2 後ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

## 3 後ダイヤルを押して決定する

項目	撮影状況
[AWB]	自動調整
[]	晴天の屋外での撮影時
[]	曇りの屋外での撮影時
[]	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[]	白熱灯下での撮影時
[] *	フラッシュ光のみでの撮影時
[], []	手動で設定した設定値を使用
[]	あらかじめセットしている色温度設定を使用

※ 動画撮影中は[AWB]の動作になります。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[], []をご使用ください。

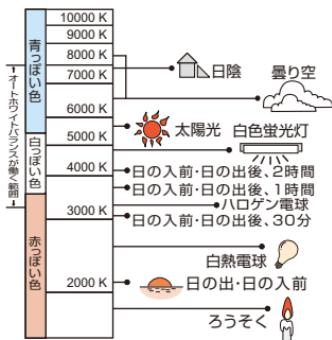
- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲(P172)外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- 電源を切っても設定したホワイトバランスは記憶されます。(シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります)
- 以下のシーンガイドモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
  - [逆光でふんわり撮る]/[ほのぼのとした雰囲気で撮る]/[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]
- [ダイレクトフォーカス移動](P125)が[ON]に設定されているときは、カーソルボタンでの操作がAFエリアの移動に変わりますので、クイックメニュー(P38)を使って設定してください。

→ 続く

## ホワイトバランスを調整する（続き）

### ■ オートホワイトバランスについて

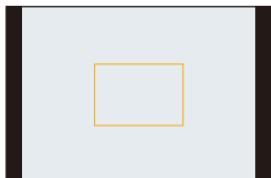
撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AWB] 以外に設定して調整してください。



### 手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

- 1 ►(WB)ボタンを押す
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して [ ] または [ ] を選び、▲ ボタンを押す
- 3 白い紙など白いものだけを枠内に映し、[MENU/SET] ボタンを押す



- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。  
そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。

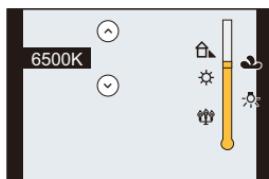
## ホワイトバランスを調整する（続き）



### 色温度設定

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

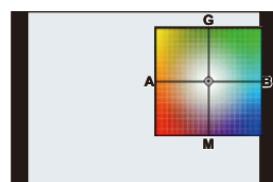
- 1 ►(WB)ボタンを押す
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して [ ] を選び、▲ ボタンを押す
- 3 ▲/▼ボタンで色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
  - [Ⓐ]/[Ⓑ] をタッチしても数値を設定することができます。
  - [2500K]～[10000K]まで設定できます。



### ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- 1 ホワイトバランスを選び、▼ ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押してホワイトバランスを微調整する
  - ホワイトバランスのグラフをタッチしても微調整することができます。
  - ◀: A (アンバー:オレンジ系)      ▲: G (グリーン:緑系)
  - : B (ブルー:青系)      ▼: M (マゼンタ:赤系)
  - [DISP.]ボタンを押すと中心点に戻ります。
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す



- ホワイトバランスをA(アンバー)またはB(ブルー)方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG(グリーン)またはM(マゼンタ)方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+] (グリーン)または[-] (マゼンタ)が表示されます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- 電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- [REC], [PLAY] で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または [ ] で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準(中心点)に戻ります。

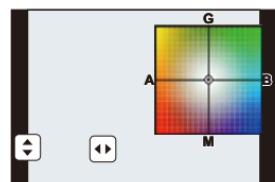
## ホワイトバランスを調整する（続き）



## ホワイトバランスブラケット

1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なる色合いの画像を自動的に3枚撮影します。

- 1 「ホワイトバランス微調整」の手順2でホワイトバランスを微調整し、後ダイヤルを回してブラケット設定を行う  
後ダイヤルを右に回す：横方向（A～B）  
後ダイヤルを左に回す：縦方向（G～M）
  - [▲]/[▼]/[◀]/[▶]をタッチしてもブラケット設定することができます。



## 2 [MENU/SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスブラケットを設定すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[BKT]が表示されます。
- 電源スイッチを[OFF]（スリープモードを含む）にすると、ホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
- シャッター音は1回しか鳴りません。

## ② こんなときは使えません

- 以下の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
  - シーンガイドモードの「水面をキラキラ撮る」、「イルミネーションをキラキラ撮る」、「花をふんわり撮る」、「パノラマで撮る」
  - 動画撮影時
  - 「クオリティ」を[RAW<sup>Hi</sup>]、[RAW<sup>+</sup>]、[RAW]に設定時
  - [HDR]を[ON]に設定時
  - [多重露出]設定時
  - インターバル撮影時

# 画質とサイズを設定する



## 画像の横縦比を選ぶ

使えるモード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[SCN]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[REC]**

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

**MENU** ボタン→[撮影]→[ 画像横縦比 ]

設定	設定内容
[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般的なフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

●プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P301)

② こんなときは使えません

●シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時は使えません。

## 記録画素数を設定する

使えるモード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[SCN]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[REC]**

記録画素数を設定します。

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

**MENU** ボタン→[撮影]→[ 記録画素数 ]

画像横縦比:[4:3]のとき

設定	画像サイズ
[L](16M)	4592×3448
[EX M](8M)	3232×2424
[EX S](4M)	2272×1704

画像横縦比:[3:2]のとき

設定	画像サイズ
[L](14M)	4592×3064
[EX M](7M)	3232×2160
[EX S](3.5M)	2272×1520

画像横縦比:[16:9]のとき

設定	画像サイズ
[L](12M)	4592×2584
[EX M](6M)	3232×1824
[EX S](2M)	1920×1080

画像横縦比:[1:1]のとき

設定	画像サイズ
[L](11.5M)	3424×3424
[EX M](6M)	2416×2416
[EX S](3M)	1712×1712

●[EXテレコン(写真)](P167)を設定時は、各画像横縦比の[L]以外の記録画素数に[EX]が表示されます。

●[連写速度]を[SH]に設定時は、記録画素数は[S]に固定されます。

② こんなときは使えません

●シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時は使えません。

## 画質とサイズを設定する（続き）

## 画像の圧縮率を設定する（クオリティ）

使えるモード：

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→[撮影]→[ クオリティ ]

設定	ファイル形式	設定内容
[]	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
[]		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
[RAW <del></del> ]	RAW+JPEG	RAW 画像と JPEG 画像([] または [])を同時に記録できます。※1
[RAW <del></del> ]	RAW	RAW 画像のみを記録できます。※2

※ 1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

※ 2 各画像横縦比の最大記録画素数([L])に固定されます。

- RAW ファイルを利用すると、より高度な画像の編集が可能です。編集した画像はパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFFなど）で保存できます。
- RAW ファイルの現像や編集には、CD-ROM(付属)のソフトウェア（市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」）をお使いください。
- [RAW] は [RAW] または [RAW] よりも小さいデータ容量で記録できます。

## こんなときは使えません

- 以下の効果は、RAW 画像には反映されません。
  - 撮影メニューの[フォトスタイル]、[ハイライトシャドウ]、[iDレンジコントロール]、[デジタル赤目補正]、[超解像]、[色空間]
  - シーンガイドモード
  - クリエイティブコントロールモード
- 以下の場合、[RAW]、[RAW]、[RAW] に設定できません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]

# 画像に関する機能を設定する



## コントラストや露出を補正する(iDレンジコントロール)

使えるモード:

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。

**MENU** ボタン→[撮影]→[iD レンジコントロール]

設定: [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

- [AUTO]では、撮影状況に合わせて効果の強さを自動的に設定します。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

### こんなときは使えません

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の場合、[iDレンジコントロール]は働きません。
  - シーンガイドモードの「パノラマで撮る」に設定時
  - [HDR]を[ON]に設定時

## 解像感を高める(超解像)

使えるモード:

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影することができます。

**MENU** ボタン→[撮影]→[超解像]

設定: [強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]

- [拡張]は、より解像感を高めた自然な画像を撮影できます。
- 動画撮影時は[拡張]は[弱]に変わります。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

## 画像に関する機能を設定する(続き)

## 露出の異なる写真を合成する(HDR)

使えるモード:

露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。

HDR合成した画像はJPEGで記録されます。

**MENU ボタン→[撮影]→[HDR]**

設定	設定内容	
[ON]	HDR合成した写真を撮影します。	
[OFF]	HDR合成を行いません。	
[設定]	[Dレンジ設定]	[AUTO]:被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV]、[±2EV]、[±3EV]:設定した露出の調整幅で撮影します。
	[自動位置調整]	[ON]: 手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時の設定をお勧めします。 [OFF]: 画像のずれ調整を行いません。三脚使用時の設定をお勧めします。

## ■ HDRとは

High Dynamic Range(ハイダイナミックレンジ)の略で、幅広い明暗差を表現するための技術を表します。

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- [自動位置調整]を[ON]に設定時は、画角が僅かに狭くなります。
- フラッシュは[④](発光禁止)に固定されます。

## ④ こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[HDR]は使えません。
  - [クオリティ]を[RAW<sub>+</sub>], [RAW<sub>-</sub>], [RAW]に設定時
  - インターバル撮影時
  - [コマ撮りアニメ]時 ([自動撮影]設定時のみ)

## 画像に関する機能を設定する(続き)

## 長秒露光時のノイズを低減する(長秒ノイズ除去)

使えるモード: C1 C2 C3 SCN

夜景撮影など、シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを、カメラが自動的に取り除き、きれいな画像を撮影することができます。

**MENU ボタン→[撮影]→[長秒ノイズ除去]**

設定: [ON]、[OFF]

- ノイズ除去中は、信号処理のために選択したシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。
- シャッタースピードを遅くして撮影する場合は、三脚の使用をお勧めします。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[長秒ノイズ除去]は働きません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時
  - 動画撮影時
  - [連写速度]を[SH]に設定時
  - [電子シャッター]を[ON]に設定時

## 画面周辺の明るさを補正する(シェーディング補正)

使えるモード: C1 C2 C3 SCN

レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影することができます。

**MENU ボタン→[撮影]→[シェーディング補正]**

設定: [ON]、[OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

こんなときは使えません

- 以下の場合は補正できません。
  - 動画撮影時
  - 動画撮影中の写真記録([ (動画優先)] 設定時のみ)
  - [連写速度]を[SH]に設定時
- 使用するレンズによっては補正できない場合があります。対応レンズについては、ホームページをご覧ください。

## 画像に関する機能を設定する（続き）

## 色空間を設定する

使えるモード: **[A]** **[W]** **P** **A** **S** **M** **[M]** **C1** **C2** **C3** **SCN** **[REC]**

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

**MENU** ボタン→[撮影]→[色空間]

設定	設定内容
[sRGB]	sRGB色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
[AdobeRGB]	AdobeRGB色空間に設定します。 AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- 色空間の設定によって、撮影した画像のファイル名は以下のように変わります。

P1000001.JPG


 P : sRGB  
 └── : AdobeRGB

- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
- 動画撮影時は、[sRGB]に固定されます。

# ピント・露出の設定

## 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス)

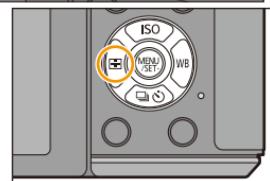
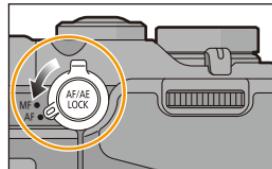
使えるモード: C1 C2 C3 SCN

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 フォーカスマードレバーを [AF] に合わせる

2 カスタムメニューの [AFS/AFF/AFC] を [AFS]、[AFF] または [AFC] に設定する([P121](#))

3 ◀(■)ボタンを押す



4 ◀/▶ボタンでオートフォーカスマードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [■]、[■]、[□]、[+] を選択時に ▼ ボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。AF エリア設定画面での操作については、[124](#) ページをお読みください。



- 以下の場合、オートフォーカスマードは [■] に固定されます。

- デジタルズーム使用時
- クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ]

こんなときは使えません

- 以下の場合、[■] に設定できません。
  - シーンガイドモードの [夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]
  - [AFS/AFF/AFC] の [AFF]、[AFC] では [+] に設定できません。

## 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) (続き)

## フォーカスマードについて(AFS、AFF、AFC)

使えるモード: **[A]** **[T]** **[P]** **[A]** **[S]** **[M]** **[SCN]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[SCN]** **[S]**

## 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[カスタム]→[AFS/AFF/AFC]

2 ▲/▼ ボタンで設定したい項目を選び、  
[MENU/SET] ボタンを押す

- 被写体の動き、撮影シーンに合わせて、フォーカスマードを選んでください。
- 設定したフォーカスマードがフォーカスマードレバーの[A]に割り当てられます。



項目	被写体の動き、撮影シーン(お勧め)	内容
AFS	静止している (風景、記念撮影など)	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
AFF	動きが予測できない (子ども、ペットなど)	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている (スポーツ、鉄道など)	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測)

## [AFF]、[AFC]で撮影する場合は

- W端からT端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに変えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に搖れが見える場合があります。

- [AFF]、[AFC]は使用するレンズによって、動作しない場合があります。

詳しくは、[23ページ](#)のホームページをご覧ください。

- 交換レンズ(H-H020A)は、[AFF]、[AFC]に設定できません。

- 設定後はメニューを終了してください。

## こんなときは使えません

- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] では、[AFF]、[AFC]に設定できません。

## 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) (続き)



## オートフォーカスモードの種類

## ①(顔認識)について

人の顔を自動的(最大15個)に検知します。認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。

カメラが顔を認識するとAFエリアが表示されます。

黄色: シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色: 複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。



- AFエリアの位置と大きさを変えることができます。(P124)

- [肖像]選択時、[測光モード]を[④]に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。(P137)

## ② こんなときは使えません

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が動かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[■]に切り換わります。
  - 顔が正面に向いていない/傾いている/極端に明るいまたは暗い/サングラスなどで隠れている/小さく写っている
  - 顔の陰影が少ない
  - 動きが速い
  - 被写体が人物以外である
  - 手ブレしている

## ③(追尾AF)について

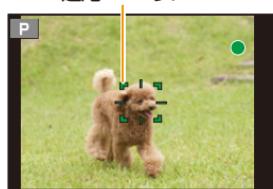
指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。(動体追尾)

## ■ ボタン操作時

被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しするとロックできます。

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色になります。
- [MENU/SET]ボタンを押すと、ロックは解除されます。
- インテリジェントオート(IA)または(FA)モードでは、◀ボタンを押すごとに追尾AFと顔認識が切り換わります。

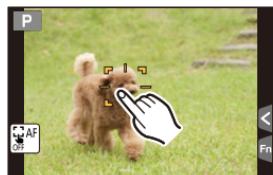
追尾AFエリア



## ■ タッチパネル操作時

被写体をタッチしてロックできます。

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- ロック中はAFエリアが黄色になります。
- [AF OFF]をタッチすると、ロックは解除されます。



→ 続く

## 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) (続き)

- [測光モード]を[]に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。(P137)
- ロックに失敗したときは、追尾AFエリアが赤く点滅したあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- 追尾AFに失敗したときは、追尾AFは働きません。その際、オートフォーカスマードは[]の動作になります。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[]は[]の動作になります。
  - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]/[モノクロで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[セピア]/[モノクローム]/[ダイナミックモノクローム]/[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - [フォトスタイル]の[モノクローム]
  - インターバル撮影時
- 以下の場合は、動体追尾機能が働かないことがあります。
  - 被写体が小さすぎる - 撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
  - 被写体の動きが速い - 被写体と背景の色が同じか類似した色があるとき
  - 手ブレしている - ズーム操作時

 (23点)について

最大23点のAFエリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。(AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります)

- 23点のAFエリアを9つのエリアに分け、ピントを合わせるエリアを選択できます。(P124)

 (1点)について

中央のAFエリア内にピントを合わせます。

- AFエリアの位置と大きさを変えることができます。(P124)
- []で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。([AFS/AFF/AFC]を[AFS]に設定したときのみ)

 (ピンポイント)について

[]より小さな点で繊細なピント合わせができます。

- 拡大した画面で、ピントを合わせる位置を設定できます。(P125)
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている位置を確認するための画面が約3倍～10倍で拡大表示されます。
- 被写体によって、ピントが合ったときに表示されるAFエリアの大きさが変わることがあります。
- 動画撮影中、[]に設定している場合は、[]に切り換わります。

## 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) (続き)



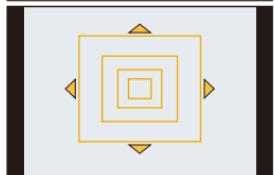
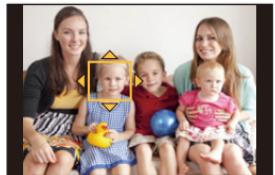
## AFエリアの位置を設定する / 大きさを変更する

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- タッチ操作で設定する場合は、カスタムメニューの[タッチ設定]で、[タッチAF]を[AF]に設定してください。

## []、[]選択時

AFエリアの位置と大きさを変更することができます。

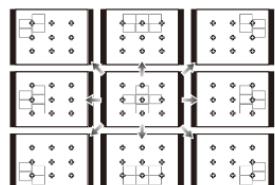
- []または[]を選び、▼ボタンを押す
  - AFエリア設定画面が表示されます。
- ▲/▼/◀/▶ボタンでAFエリアを移動する
  - 被写体をタッチしてAFエリアを移動することもできます。
  - [DISP.]ボタンを押すとAFエリアは中央に戻ります。
- 後ダイヤルを回してAFエリア枠の大きさを変更する
  - 4種類の大きさに変更できます。
  - 画面をピンチアウト/ピンチイン(P19)しても、大きさを変更できます。
- [MENU/SET]ボタンを押して決定する
  - []選択時は、タッチした場所に[]と同じ動きのAFエリアが表示されます。[]をタッチするとAFエリアの設定を解除できます。



## []選択時

23点のAFエリアを9つのエリアに分け、ピントを合わせるエリアを選択できます。

- []を選び、▼ボタンを押す
  - AFエリア設定画面が表示されます。
- ▲/▼/◀/▶ボタンで右図のようにAFエリア枠を選択する
  - 画面をタッチしてAFエリア枠を選択することもできます。
- [MENU/SET]ボタンを押して決定する
  - [+]表示(選択したAFエリア枠の中心点)のみが画面に残ります。
  - [MENU/SET]ボタンを押す、または[]をタッチするとAFエリア枠の設定が解除されます。



続く

## 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) (続き)

## [+] 選択時

画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。

- 画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。

1 [+] を選び、▼ ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を決め、[MENU/SET] ボタンを押す

- ピントを合わせる位置を決めるためのアシスト画面が拡大表示されます。

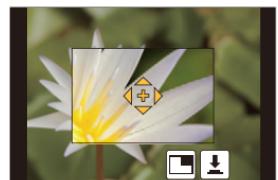
- 被写体をタッチしてもアシスト画面が表示できます。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [+] を、ピントを合わせる位置に移動する

- 画面をタッチしてピントを合わせる位置を移動することもできます。

- [DISP.] ボタンを押すと、ピントを合わせる位置はアシスト画面の中央に戻ります。

- アシスト画面では、[ ] をタッチすることでも、写真を撮影することができます。



## ■ アシスト画面の表示を変更する

後ダイヤルを押すごとに、拡大表示が画面一部と画面全体に切り換わります。



- [ ] をタッチしてアシスト画面の表示を切り換えることもできます。

●前後ダイヤルを回すと、拡大表示が画面一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大／縮小できます。後ダイヤルで1倍ずつ、前ダイヤルで0.1倍ずつ拡大／縮小します。

- ピンチアウト／ピンチインしても拡大／縮小できます。

## ⌚ 画面が拡大表示される時間を設定する

MENU ボタン→[カスタム]→[ピントAF時間]→

[LONG] (約1.5秒) / [MID] (約1.0秒) / [SHORT] (約0.5秒)

## ⌚ カーソルボタンでAFエリアを移動させる/させない

MENU ボタン→[カスタム]→[ダイレクトフォーカス移動]→[ON] / [OFF]

[]、[]、[]選択時ではAFエリアを、[]のときは拡大位置を移動することができます。

- ドライブモード、ホワイトバランス、ISO感度などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー(P38)を使って設定してください。

## 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) (続き)

- [測光モード] (P137) が [ ] のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。画面の端では、AFエリア周辺の明るさの影響を受ける場合があります。
- [タッチAF] を [AF+AE] に設定時は、明るさを合わせる位置もAFエリアに合わせて移動します。(AFエリアは [ ] になります) (P140)



## こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモード時は、[ダイレクトフォーカス移動]は [OFF] に固定されます。
- デジタルズーム使用時は、AFエリアの位置と大きさを変えることはできません。



## 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) (続き)



## ピントの合わせ方をお好みに設定する

カスタムメニューを使うことで、ピントの合わせ方を詳細に設定できます。

シャッターボタン半押し時にピントを合わせる/合わせない

**MENU** ボタン→[カスタム]→[シャッター半押しAF]→[ON]/[OFF]

シャッターボタン半押しでシャッターを切る/切らない

**MENU** ボタン→[カスタム]→[シャッター半押しレリーズ]→[ON]/[OFF]

**Tips** 撮影時のこつやテクニック 「AF/AE LOCK ボタンでピントを合わせる」

シャッターボタンの代わりにAF/AE LOCKボタンでピントを合わせることができます。

① カスタムメニューを設定する

**MENU** ボタン→[カスタム]→[シャッター半押しAF]→[OFF]

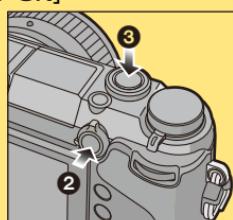
**MENU** ボタン→[カスタム]→[AF/AE ロック切換]→[AF-ON]

② AF/AE LOCK ボタンを押す

- ピントを合わせます。

③ シャッターボタンを押して撮影する

- 露出を合わせて、写真を撮影します。



事前にピントを合わせる/合わせない

**MENU** ボタン→[カスタム]→[クイックAF]→[ON]/[OFF]

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。

- バッテリーの消耗が早くなる場合があります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- プレビュー モード時は、[クイックAF]は働きません。
- 低照度時は、[クイックAF]は働きません。
- [クイックAF]は、オートフォーカスのできないレンズおよびコントラストAF非対応フォーサーズマウント規格レンズでは働きません。

➡ 続く

## 自動でピントを合わせて撮る(オートフォーカス) (続き)

 AF補助光ランプを光らせる/光らせない

**MENU** ボタン→[カスタム]→[AF補助光]→[ON]/[OFF]

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。(撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます)

- 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。  
- 交換レンズ(H-H020A)装着:約1.0 m～約5.0 m
- AF補助光は、画面中央部の被写体に対してのみ有効です。被写体を画面中央に配置してご使用ください。
- レンズフードは外してください。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、フォーカスが合いにくくなる場合があります。
- 以下の場合は、[OFF]に固定されます。  
- シーンガイドモードの[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]

 ピントが合わなくて撮影する/しない

**MENU** ボタン→[カスタム]→[フォーカス/レリーズ優先]

[フォーカス]:ピントが合うまで撮影できません。

[レリーズ]:シャッターチャンスを優先させるため、シャッターボタンを全押しすると撮影されます。

- [レリーズ]に設定すると、フォーカスマードレバーを[AF]に合わせていても、ピントが合っていない場合がありますのでお気をつけください。
- 動画撮影時は働きません。

 AF後に手動でピントを調整する/しない

**MENU** ボタン→[カスタム]→[AF+MF]→[ON]/[OFF]

AFロックしている間([AFS/AFF/AFC]が[AFS]時のシャッターボタン半押し、または[AF/AE LOCK]ボタンでのAFロック)に手動でピントを微調整することができます。

# 手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス)

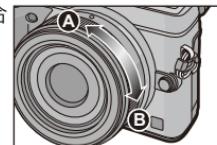
使えるモード: **IA** **AT** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **REC**

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

## 手動でピントを合わせる操作はレンズによって異なります。

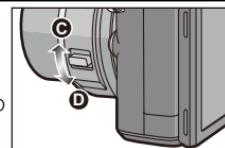
フォーカスリングのある交換レンズ(H-H020A)をお使いの場合

- A** 側に回す: 近くにピントを合わせる
- B** 側に回す: 遠くにピントを合わせる

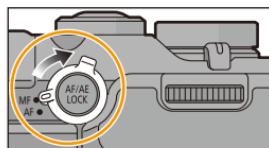


フォーカスレバーのある交換レンズをお使いの場合

- C** 側に動かす: 近くにピントを合わせる
- D** 側に動かす: 遠くにピントを合わせる
- フォーカスレバーを動かす幅によって、ピントを合わせる速度が変わります。



## 1 フォーカスマードレバーを [MF] に合わせる



## 2 レンズのフォーカスリングやフォーカスレバーを操作して、ピントを合わせる

- 手動でピント合わせをするとアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。
- カスタムメニューの[ピーキング]を[ON]に設定時は、ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。
- カスタムメニューの[MFガイド]を[ON]に設定時は、手動でピントを合わせると画面にMFガイドが表示されます。近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。



### Tips 撮影時のこつやテクニック 「マニュアルフォーカスの活用シーン」

マクロ撮影時など繊細なピント合わせをするときや、ピント合わせの位置を事前に決めておくときなどにマニュアルフォーカスを使うと便利です。

→ 続く

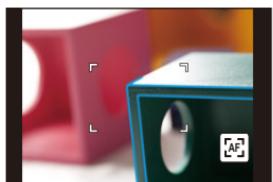
## 手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス) (続き)

**(F) オートフォーカスを使ってすばやくピントを合わせる**

**MENU ボタン→[カスタム]→[AF/AE ロック切換]→[AF-ON]**

マニュアルフォーカス時に[AF/AE LOCK]ボタンを押すとオートフォーカスが働きます。

- 枠の中心でオートフォーカスが働きます。
- MFアシスト画面でオートフォーカスを働かせると、MFアシスト画面の中央でピントを合わせます。
- 以下のタッチ操作でもオートフォーカスが働きます。
  - [AF] をタッチする
  - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す

**(F) MFアシストの表示方法を設定する**

**MENU ボタン→[カスタム]→[MFアシスト]**

項目	設定内容
[○] [⊕]	レンズのフォーカスリングを回すかフォーカスレバーを動かす、または◀([■])ボタンを押して拡大。
[○] [FOCUS]	レンズのフォーカスリングを回すかフォーカスレバーを動かして拡大。
[■]	◀([■])ボタンを押して拡大。
[OFF]	MFアシストを表示しません。

➡ 続く

## 手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス) (続き)



ピントが合っている部分に色を付けて表示する/しない

MENU ボタン→[カスタム]→[ピーキング]

設定	設定内容
[ON]	ピントが合っている部分に色を付けて表示します。
[OFF]	ピントが合っている部分を表示しません。
[設定]	[検出レベル] ピントが合っている部分の検出レベルを設定します。 [高]に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。 [高]/[低] ●ピントが合う範囲は検出レベルの設定では変わりません。
	[表示色] ピーキング表示の色を設定します。 ●[検出レベル]が[高]のとき:[□](水色)/[■](黄色)/[■](緑) ●[検出レベル]が[低]のとき:[■](青)/[■](オレンジ)/[□](白) ●[検出レベル]の設定を変更すると、[表示色]の設定も以下のように切り換わります。 - [□](水色)↔[■](青) - [■](黄色)↔[■](オレンジ) - [■](緑)↔[□](白)

- ピーキングを設定すると、画面に[PEAK H](検出レベル:高)または[PEAK L](検出レベル:低)が表示されます。
- []の[]をタッチするごとに[ON](検出レベル:低)→[ON](検出レベル:高)→[OFF]の順に切り換わります。
- カスタムメニューの[Fn ボタン設定](P41)に[ピーキング]を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに[ON](検出レベル:低)→[ON](検出レベル:高)→[OFF]の順に切り換わります。
- マニュアルフォーカス時や[AF+MF]で手動でピント合わせをしているときに働きます。
- 画面上で輪郭がはっきりした部分をピントが合っている部分として色を付けて表示するため、撮影条件により表示のされかたが異なります。
- 表示される色は撮影画像に影響はありません。
- クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]ではピーキングは働きません。



MFガイドを表示する/しない

MENU ボタン→[カスタム]→[MFガイド]→[ON]/[OFF]

## 手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス) (続き)



## MFアシストについて

## ■ MFアシストを表示する

- フォーカスリングを回す、フォーカスレバーを動かす、または画面をピンチアウト(P19)や2回タッチすると表示されます。(クリエイティブコントロールモードの[ジョラマ]では、画面のタッチによる表示ができません)
- ◀ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させたあと、カーソルボタンで拡大位置を決めて[MENU/SET]ボタンを押しても表示できます。
- カスタムメニューの[ダイレクトフォーカス移動]が[ON]のときは、カーソルボタンを押すと拡大位置の設定画面になります。

## ■ MFアシストの表示を変更する

後ダイヤルを押すごとに、拡大表示が画面一部と画面全体に切り換わります。



- [ ]をタッチしてアシスト画面の表示を切り換えることもできます。
- 前後ダイヤルを回すと、拡大表示が画面一部のときは約3倍~6倍、画面全体のときは約3倍~10倍に拡大/縮小できます。後ダイヤルで1倍ずつ、前ダイヤルで0.1倍ずつ拡大/縮小します。
- ピンチアウト/ピンチインしても拡大/縮小できます。

## ■ 拡大位置を移動する

- 画面をドラッグ(P19)する、またはカーソルボタンを押すと移動できます。
- 以下の操作を行うと、拡大位置は中央に戻ります。
  - 拡大位置の設定画面で[DISP.]ボタンを押したとき

## ■ MFアシストを終了する

- シャッターボタンを半押しすると終了します。
- [MENU/SET]ボタンを押す、または[終了]をタッチしても終了します。
- フォーカスリングを回して、またはフォーカスレバーを動かして表示した場合は、操作をやめると約10秒後に終了します。
- 使用するレンズによりMFアシストまたはMFガイドは表示されない場合がありますが、MFアシストはタッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作すると表示させることができます。

## ② こんなときは使えません

- デジタルズーム使用時または動画撮影中はMFアシストは表示されません。

続く

## 手動でピントを合わせて撮る(マニュアルフォーカス) (続き)



### マニュアルフォーカスのテクニック

- ① フォーカスリングを回して、またはフォーカスレバーを動かして、ピントを合わせる
  - ② さらに同じ方向に少し回す、または動かす
  - ③ フォーカスリングを反対方向に少し回しながら、またはフォーカスレバーを反対方向に少し動かしながら微調整する
- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、もう一度ピントを合わせ直してください。
  - スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
  - 近距離を撮影する場合は…
    - 三脚を使用し、セルフタイマー(P148)を使って撮影することをお勧めします。
    - ピントの合っている範囲(被写界深度)が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
    - 画像の周辺部の解像度が少し低下することがありますが、故障ではありません。



### 撮影距離基準について

撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。  
マニュアルフォーカスや接写の目安にしてください。



# 露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード:          

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

## 1 被写体に画面を合わせる

## 2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

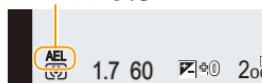
- [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。

## 3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮りたい構

図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK] 設定期間は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

AE ロック表示



## 4 [AF/AE LOCK] ボタンの機能を設定する

**MENU** ボタン→[カスタム]→[AF/AEロック切換]

項目	設定内容
[AE LOCK]	露出だけを固定します。 • 露出が合うと、[AEL] および絞り値とシャッタースピードの表示が点灯します。
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。 • ピントが合うと、[AFL] およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。 • ピントと露出が合うと、[AFL] と [AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF-ON]	オートフォーカスが作動します。

## 5 [AF/AE LOCK] ボタンを離してもロックを維持する/しない

**MENU** ボタン→[カスタム]→[AF/AEロック維持]→[ON]/[OFF]

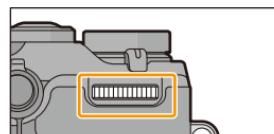
- AEロックを行うと、画面に映る撮影画面の明るさも固定されます。
- マニュアル露出モード時は、AFロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は、AEロックのみ有効です。
- 動画撮影中はAFロックのみ有効です。撮影中にAFロックを解除すると、新たにロック操作はできません。
- 被写体の明るさが変わっても、露出は固定されます。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

# 露出を補正して撮る

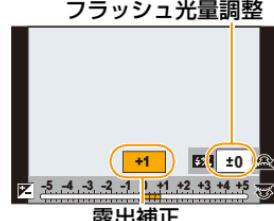
使えるモード:

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

## 1 後ダイヤルを押して露出補正操作に切り換える



## 2 後ダイヤルを回して露出を補正する



露出アンダー



露出をプラス方向に補正してください。

適正露出



露出オーバー



露出をマイナス方向に補正してください。

- [DISP.]ボタンを押すと、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ替えることができます。
- 露出補正值は-5 EV～+5 EVの範囲で設定可能です。  
動画撮影時は-3 EV～+3 EVの範囲で設定可能です。
- 露出を補正しない場合は、“±0”を選んでください。

## 3 前ダイヤルを回してフラッシュ発光量を調整する

- 撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動](P177)を[ON]に設定し、[フラッシュ設定]の[発光モード](P177)を[TTL]に設定時ののみ操作できます。
- フラッシュ発光量は、撮影メニューの[フラッシュ設定]の[フラッシュ光量調整]でも調整できます。(P176)

続く

## 露出を補正して撮る（続き）

- 撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正運動]を[ON]に設定時は、露出補正量に応じて内蔵フラッシュの発光量も自動的に調整されます。（P177）
  - 露出量が-3 EVから+3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。撮影画像の実際の明るさは、オートレビュー や再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。
  - 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
-  **こんなときは使えません**
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。



# 明るさの測り方を選ぶ(測光モード)

使えるモード: **[A]** **[Av]** **[P]** **[A]** **[S]** **[M]** **[]** **C1** **C2** **C3** **[]** **[]**

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

**MENU** ボタン→[撮影]→[測光モード]

設定	設定内容
[](マルチ測光)	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
[](中央重点測光)	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
[](スポット測光)	スポット測光ターゲット上の被写体に 対して測光する方式です。   スポット測光ターゲット

- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

# 1枚の写真に複数回の露出をする(多重露出)

使えるモード: **P A S M C1 C2 C3**

1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。

## 1 メニューを設定する

**MENUボタン→[撮影]→[多重露出]**

## 2 ▲/▼ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



## 3 構図を決めて1枚目を撮影する

- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと以下の操作が可能です。
  - [次の撮影]: 次の撮影に進む
  - [撮り直し]: 1枚目の撮影に戻る
  - [完了]: 1枚目の撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了する

## 4 2枚目、3枚目、4枚目を撮影する

- 撮影時に[Fn2]ボタンを押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。

## 5 ▼ボタンで[完了]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。



## ■ 自動ゲイン補正設定について

手順1の画面で[自動ゲイン補正]を選んで設定してください。

- [ON]: 撮影枚数に応じて明るさのレベルを調整して重ね合わせます。
- [OFF]: すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。

## ■ カード内のRAW画像に重ねさせる

手順1の画面で[再生画像と多重]を[ON]に設定してください。[開始]後に、カード内の画像が表示されます。RAW画像を選んで[MENU/SET]ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 本機で撮影されたRAW画像にのみ[再生画像と多重]を行えます。

- 完了するまで画像は記録されません。
- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 多重露出撮影中は、メニュー画面にグレーで表示される項目は設定できません。

## ④ こんなときは使えません

- 以下の場合、[多重露出]は使えません。
  - インターバル撮影時
  - [コマ撮りアニメ]時

# 狙った場所に簡単に明るさを合わせる(タッチ AE)

使えるモード: **[IA]** **[AT]** **[P]** **[A]** **[S]** **[M]** **[]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[SCN]** **[]**

タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

タッチした位置に明るさのみを合わせたり、タッチAF時に明るさも合わせることで、タッチした位置にピントと明るさを合わせることができます。

## タッチした位置に明るさのみを合わせる

**1** [] をタッチする

**2** [] をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード] はタッチAE専用の [] に変わります。



**3** 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- [リセット] をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。

**4** [決定] をタッチする



## ■ タッチAE機能を解除するには

[] をタッチする

- 測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

**こんなときは使えません**

- 以下の場合、タッチAEは使えません。
  - デジタルズーム使用時
  - カスタムメニューの[タッチ設定]で、[タッチAF]を[AF+AE]に設定時([P140](#))

## 狙った場所に簡単に明るさを合わせる(タッチ AE) (続き)



## タッチした位置に明るさとピントを合わせる

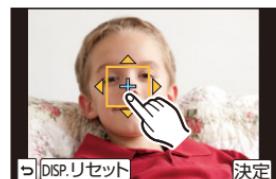
## 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[カスタム]→[タッチ設定]

## 2 [タッチAF]を選び、[AF+AE]をタッチする

## 3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- AFエリア設定画面が表示されます。(P124)
- 明るさを合わせる位置がAFエリアの中央に表示され、AFエリアに合わせて移動します。
- [測光モード]はタッチAE専用の[]に変わります。
- [リセット]をタッチすると、明るさを合わせる位置とAFエリアは中央に戻ります。



## 4 [決定]をタッチする

- タッチした場所に[]と同じ働きのAFエリアが表示されます。
- []をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。AFエリアの設定も解除されます。
- []をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。



背景が明るくなりすぎたりした場合は、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。



- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

**こんなときは使えません**

- 以下の場合、ピントと明るさを合わせるタッチAE機能は働きません。
  - マニュアルフォーカス時
  - デジタルズーム使用時
  - カーソルボタンを使ってAFエリアを設定したとき

# ISO感度を設定する

使えるモード: **P A S M C1 C2 C3**

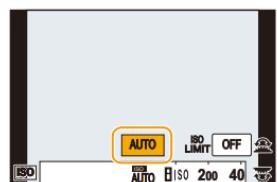
光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

## 1 ▲(ISO)ボタンを押す



## 2 後ダイヤルを回してISO感度を選ぶ

- [DISP.]ボタンを押すと、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ替えることができます。



## 3 前ダイヤルを回してISO感度の上限を設定する

- ISO感度が[AUTO]または[ISO]時に働きます。

## 4 後ダイヤルを押して決定する

ISO感度	設定内容
AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ●最大[ISO3200](フラッシュ使用時[ISO1600])※1
ISO(インテリジェント)	被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。 ●最大[ISO3200](フラッシュ使用時[ISO1600])※1 ●シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
125※2/200/400/800/ 1600/3200/6400/ 12800/25600	それぞれのISO感度に固定します。 ●撮影メニューの[ISO感度上限設定](P142)を[1/3 EV]に設定しているときは、設定できるISO感度の項目が増加します。

※1 撮影メニューの[ISO感度上限設定](P142)を[OFF]以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定]の設定値までの範囲で自動的に設定します。

※2 [拡張ISO感度]を設定時のみ

## ISO感度の性質

	200	25600
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

- [AUTO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、172ページをお読みください。
- [電子シャッター]を[ON]に設定時は、[ISO 3200]までの設定になります。
- [ダイレクトフォーカス移動](P125)が[ON]に設定されているときは、カーソルボタンでの操作がAFエリアの移動に変わりますので、クリックメニュー(P38)を使って設定してください。
- クリエイティブ動画モード時は下記の設定項目になります。

[AUTO]、[200]～[3200]

## ISO感度を設定する（続き）



## ISO感度の上限を設定する

使えるモード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[SCN]** **[]**

被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。

**MENU ボタン→[撮影]→[ISO 感度上限設定]**

設定: [400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[25600]、[OFF]

- ISO 感度が [AUTO] または [**ISO**] 時に働きます。

**[ ] こんなときは使えません**

- 以下の場合は、働きません。
  - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]
  - 動画撮影時

## ISO感度のステップ幅を設定する

使えるモード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[SCN]** **[]**

ISO感度の設定を、1/3 EVごとの設定値に変更します。

**MENU ボタン→[撮影]→[ISO 感度ステップ]**

設定	
[1/3 EV]	[L.125]※、[L.160]※、[200]、[250]、[320]、[400]、[500]、[640]、[800]、[1000]、[1250]、[1600]、[2000]、[2500]、[3200]、[4000]、[5000]、[6400]、[8000]、[10000]、[12800]、[16000]、[20000]、[25600]
[1 EV]	[L.125]※、[200]、[400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[25600]

※ [拡張ISO感度]を設定時のみ

- [1/3 EV]から[1 EV]に設定を変更すると、ISO 感度は[1/3 EV] 時に選んでいた設定値に最も近い値になります。（もう一度[1/3 EV]に変更した場合、設定値は戻りません。[1 EV] 時に選んでいた設定値のままになります）

## ISO 感度を拡張する

使えるモード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[SCN]** **[]**

ISO 感度が最小 [ISO125] まで設定できるようになります。

**MENU ボタン→[撮影]→[拡張 ISO 感度]**

設定: [ON]、[OFF]

# シャッター(ドライブ)の設定

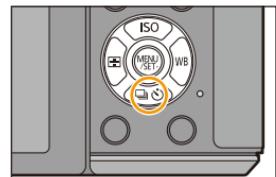
## ドライブモードを選ぶ



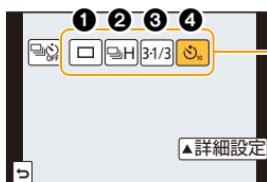
使えるモード: **IA** **AT** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪**

ドライブモードを選ぶことで、連写やセルフタイマーなど、シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

### 1 ▼(□心)ボタンを押す



### 2 ◀/▶ボタンでドライブモードを選び、[MENU/SET]ボタンを押す



ドライブモード

ドライブモード	内容
<b>① 単写(P55)</b>	シャッターを押すと1枚だけ撮影します。
<b>② 連写(P144)</b>	シャッターを押している間、連続して撮影します。
<b>③ オートブラケット(P146)</b>	シャッターを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
<b>④ セルフタイマー(P148)</b>	シャッターを押すと、設定した時間後に撮影します。

- ドライブモードを解除する場合は、[□<sub>解</sub>]を選んでください。単写に切り換わります。
- ▲ボタンを押すと、それぞれのドライブモードの設定を変更できます。

#### 🚫 こんなときは使えません

- シーンガイドモードの「パノラマで撮る」に設定時は使えません。

# 連写する

使えるモード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[SCN]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[REC]**

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 連写速度を [SH] で撮影した画像は、ひとつの連写グループ (P189) として記録されます。

**1 ▼ (REC) ボタンを押す**

**2 ◀/▶ ボタンで連写アイコン ([REC H] など) を選び、▲ ボタンを押す**

**3 ◀/▶ ボタンで連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**



		[SH](超高速) <sup>※1</sup>	[H](高速)	[M](中速)	[L](低速)
連写速度	電子シャッター[ON]	40 コマ/秒	10 コマ/秒	4 コマ/秒	2 コマ/秒
	電子シャッター[OFF]		5 コマ/秒	4 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり
連写コマ数	RAWファイルあり	—	9 コマ <sup>※2,3</sup>		
	RAW ファイルなし	最大 80 コマ	カードの空き容量に依存 <sup>※3</sup>		

※1 電子シャッターが働きます。

※2 撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。(例えば、撮影メニューの[超解像]を設定すると、連写コマ数が少なくなる場合があります)

※3 カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
  - [記録画素数] (P114)/[クオリティ] (P115)/ISO感度 (P141)/[AFS/AFF/AFC] (P121)/[フォーカス/レリーズ優先] (P128)
- 連写速度は、撮影メニューの[連写速度]でも設定できます。
- RAW ファイルについては、115ページをお読みください。

**4 ピントを合わせて撮影する**

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



→ 続く

## 連写する (続き)

## ■ 連写を解除するには

ドライブモードから [ ](単写)、または [ ] を選ぶ(P143)

 連写とピントについて

ピント合わせは、フォーカスモード([AFS/AFF/AFC](P121)とMF(P129))とカスタムメニューの[フォーカス/レリーズ優先](P128)の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス/レリーズ優先	ピント合わせ
AFS	フォーカス	1 コマ目
	レリーズ	
AFF/AFC ※1	フォーカス	常時ピント※2
	レリーズ	予測ピント※3
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス

※1 被写体が暗い場合や連写速度を[SH]に設定時は、ピントは1コマ目に固定されます。

※2 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

- シャッターボタンを押したまま連続撮影するときは、シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、269ページをお読みください。
- [SH]または[H](フォーカスモードが[AFS]または[MF]の場合)設定時、1コマ目の露出、ホワイトバランスに固定されます。被写体の明るさの変化によっては、2コマ目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
- [H](フォーカスモードが[AFF]または[AFC]の場合)、[M]または[L]設定時、1コマごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 暗いところでは、シャッタースピードが遅くなるため、連写速度(コマ/秒)が遅くなることがあります。
- 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。
- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。

 こんなときは使えません

- 以下の場合、連写は無効になります。

- シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
- クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
- ホワイトバランスプラケット設定時
- 動画撮影時
- フラッシュ撮影時
- [HDR]を[ON]に設定時
- [多重露出]設定時
- インターバル撮影時
- [コマ撮りアニメ]時 ([自動撮影]設定時のみ)
- 以下の場合、連写の[SH]は使えません。
- [クオリティ]を[RAW<sup>+</sup>]/[RAW<sup>++</sup>]または[RAW]に設定時
- [コマ撮りアニメ]時
- [シャッターディレイ]時

# 露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影)

使えるモード: **A** **AT** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3**  **SCN**

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

補正幅:[3・1 /3]、ブラケット順序:[0/-/+] 設定時の例

1枚目



±0 EV

2枚目



- 1/3 EV

3枚目



+ 1/3 EV

**1** ▼(■)ボタンを押す

**2** ◀/▶ボタンでオートブラケットアイコン([3:1/3]など)を選び、▲ボタンを押す

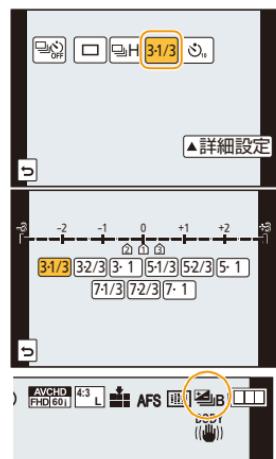
**3** ◀/▶ボタンで補正幅を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

**4** ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にした場合は、1枚目からの撮影になります。

## ■ オートブラケットを解除するには

ドライブモードから [ ](単写)、または [ ](オフ)を選ぶ(P143)



## 露出を自動的に変えながら撮る(オートブラケット撮影) (続き)

## ■ オートブラケットの単写/連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

## 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[撮影]→[オートブラケット]

- 2 ▲/▼ボタンで [ 単写 / 連写設定 ] 、 [ 補正幅 ] または [ ブラケット順序 ] を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲/▼ボタンで設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容	項目	設定内容	項目	設定内容
単写/連写設定	<input type="checkbox"/> (単写) <input checked="" type="checkbox"/> (連写)	補正幅	3・1/3 (3枚撮影) 3・2/3 (3枚撮影) 3・1 (3枚撮影) 5・1/3 (5枚撮影) 5・2/3 (5枚撮影) 5・1 (5枚撮影) 7・1/3 (7枚撮影) 7・2/3 (7枚撮影) 7・1 (7枚撮影)	ブラケット順序	0/-/+ -/0/+

- [□]設定時は、1枚ずつ撮影できます。
- [■]設定時は、設定枚数まで連続撮影できます。
- 設定後はメニューを終了してください。

- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

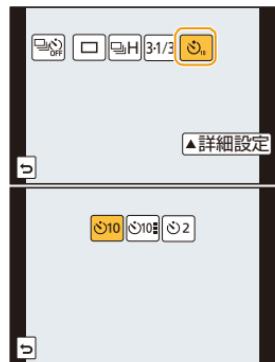
## ② こんなときは使えません

- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- 以下の場合、オートブラケットは無効になります。
  - シーンガイドモードの [水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をぶんわり撮る]/[パノラマで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの [ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - ホワイトバランスブラケット設定時
  - 動画撮影時
  - フラッシュ撮影時
  - [HDR]を[ON]に設定時
  - [多重露出]設定時
  - インターバル撮影時
  - [コマ撮りアニメ]時 ([自動撮影]設定時のみ)

# セルフタイマーを使って撮る

使えるモード: **T A T P A S M M C1 C2 C3 SCN**

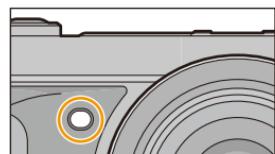
- 1 ▼(□)**ボタンを押す
- 2 ◀/▶**ボタンでセルフタイマーアイコン([**⌚10**]など)を選び、**▲**ボタンを押す



- 3 ◀/▶**ボタンでセルフタイマーの時間 выбираи、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容
<b>⌚10</b>	10秒後に撮影します。
<b>⌚10s</b>	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
<b>⌚2</b>	2秒後に撮影します。 •三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

- 4 シャッターボタンを半押しして  
ピントを合わせ、全押しして撮影する**
- ピントが合うまで、撮影されません。フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
  - ピントが合っていない場合でもシャッターボタンの全押しで撮影したいときは、カスタムメニューの[フォーカス/レリーズ優先]を[レリーズ]に設定してください。(P128)
  - セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
  - [⌚2]選択時は、1枚目および2枚目撮影後にセルフタイマーランプが再度点滅し、2秒後に撮影動作を開始します。



➡ 続く

## セルフタイマーを使って撮る (続き)

## ■ セルフタイマーを解除するには

ドライブモードから [ ](単写)、または [ ] を選ぶ(P143)

• 電源スイッチを[OFF]にしても解除されます。[セルフタイマー自動解除](P48)を[ON]に設定時



- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

- セルフタイマーの時間は、撮影メニューの[セルフタイマー]でも設定できます。
- [ ] 設定時、撮影状況によっては撮影間隔が2秒以上になることがあります。
- [ ] 設定時、フラッシュ発光量は一定にならないことがあります。

## ② こんなときは使えません

- 以下の場合、[ ] に設定できません。
  - ホワイトバランスブラケット設定時
  - [多重露出]設定時
- 以下の場合、セルフタイマーは無効になります。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時
  - 動画撮影時
  - インターバル撮影時
  - [コマ撮りアニメ]時 ([自動撮影]設定時のみ)



# 被写体・目的に合わせた機能

## 撮影間隔を空けて自動的に撮影する(インターバル撮影)

使えるモード: **T A T P A S M C1 C2 C3 SCN**

撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影することができます。ひとつのグループ画像([P189](#))として記録されます。

再生メニューの[インターバル動画作成]を使うと動画を作成することができます。[\(P200\)](#)

- あらかじめ時計設定をしておいてください。[\(P35\)](#)

### ■ 撮影開始時刻 / 間隔 / 枚数を設定する

#### 1 メニューを設定する

**MENU** ボタン→[撮影]→[インターバル撮影]

#### 2 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



項目	設定内容	
開始時刻	即時開始	シャッター ボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	撮影を開始する時刻を設定できます。最大23時間59分後まで設定可能です。 ◀/▶ ボタンで項目(時・分)を選び、▲/▼ ボタンで開始時刻を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
撮影間隔 撮影枚数		撮影間隔と撮影枚数を設定できます。 ◀/▶: 項目(分・秒・枚)選択 ▲/▼: 設定 [MENU/SET]: 決定 • 撮影間隔は 1 秒～99 分 59 秒を 1 秒間隔で設定できます。 • 撮影枚数は 1 枚～9999 枚で設定できます。

#### 3 ▲/▼ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

#### 4 シャッター ボタンを全押しする

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中、一定時間何も操作しないでおくと、電源が自動的に切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手動で電源を入れる場合はシャッター ボタンを半押ししてください。
- 電源が入った状態で [Fn3] ボタンを押すまたは[]をタッチすると、一時停止または終了の選択画面になります。画面に従って操作してください。また、一時停止中に [Fn3] ボタンを押すまたは[]をタッチすると、再開または終了の選択画面になります。一時停止状態からの再開は、シャッター ボタンの全押しでも行えます。

続く

## 撮影間隔を空けて自動的に撮影する(インターバル撮影) (続き)

- システム用途(監視カメラ)の機能ではありません。
- 本機を放置して[インターバル撮影]を行う際は、盗難にお気をつけください。
- スキー場や標高の高いところなどの寒冷地や低温下または高温・多湿な環境での長時間撮影は、故障の原因になることがありますのでお気をつけください。
- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できない場合があります。
- 長時間露光時など、撮影時間が撮影間隔より長い場合、撮影をスキップすることがあります。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)、DCカプラ(別売:DMW-DCC11)の使用をお勧めします。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 

設定時間中であれば、一時停止中にバッテリー、カードを交換し、電源スイッチを[ON]にして再開することができます。なお、バッテリー、カードを交換するときは、電源スイッチを[OFF]にして行ってください。

  - バッテリー残量がなくなったとき
  - 電源スイッチを[OFF]にしたとき
- インターバル撮影時はAVケーブル(別売)、HDMIミニケーブル(別売)、USB接続ケーブル(付属)を接続しないでください。
- 撮影された枚数が1枚の場合は、グループ画像として記録されません。

 こんなときは使えません

- 以下の場合、[インターバル撮影]は使えません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時
  - [多重露出]設定時
  - [コマ撮りアニメ]時

# ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ)

使えるモード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[SCN]** **[♪]**

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P35)
- コマ撮り撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P189)



## コマ撮りアニメを作成する前に

コマ撮りアニメでは、人形などを少しずつ動かすごとに撮影し、つなぎ合わせることでまるで動いているかのような動画が作れます。



- 本機では、動画1秒あたり1コマ～60コマの写真を撮影する必要があります。
- 滑らかな動きにするには、できるだけ動きを細かく撮り、動画化の際に1秒あたりのコマ数(フレームレート)を大きく設定してください。

### 1 メニューを設定する

**MENU** ボタン→[撮影]→[コマ撮りアニメ]

### 2 ▲/▼ボタンで撮影方法を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



項目	設定内容	
自動撮影	[ON]	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。シャッター <button>ボタン</button> を全押しすると、撮影が開始されます。
	[OFF]	1コマずつ手動で写真を撮影します。
撮影間隔	([自動撮影]を[ON]に設定時のみ) 自動撮影の間隔を設定します。1秒から60秒までを1秒間隔で設定できます。 ◀/▶ボタンで撮影間隔(秒)を選び、▲/▼ボタンで設定し、 [MENU/SET]ボタンを押す	

### 3 ▲/▼ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

→ 続く

## トップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ) (続き)

- 4 ▲/▼ボタンで[新しく撮る]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- 5 シャッターボタンを全押しする
  - 最大 9999 コマまで撮影できます。
- 6 被写体を動かし、構図を決める
  - 同様に撮影を繰り返してください。
  - 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。



## 素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- [□]ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は[▲/▼]ボタンを押して消去することができます。もう一度[□]ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

## 7 [□]をタッチして撮影を終了する

- 撮影メニューから[コマ撮りアニメ]を選び、[MENU/SET]ボタンを押しても終了できます。
- [自動撮影]を[ON]に設定時は、確認画面で[終了]を選んでください。([一時停止]を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください)
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと終了します。
- 続けて動画を作成する確認画面が表示されるので、[はい]を選んでください。



## 8 動画の作成方法を選ぶ

- 記録方式は[MP4]になります。

項目	設定内容
画質設定	動画の画質を設定します。 [FHD/60p]、[FHD/30p]、[HD/30p]、[VGA/30p]
フレームレート	1秒あたりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。 [60fps]※、[30fps]、[15fps]、[10fps]、[7.5fps]、[6fps]、[3fps]、[1fps] ※ [FHD/60p]設定時のみ
動画化順番	[撮影順]：撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]：撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

## 9 ▲/▼ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 再生メニューの[コマ撮りアニメ作成]からも動画化できます。(P201)



→ 続く

## ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ) (続き)

### ■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順4で[続きから撮る]を選ぶと、[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで[MENU/SET]ボタンを押し、確認画面で[はい]を選んでください。

- フラッシュ撮影したときなど、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- 元の画像より記録画素数が大きな画質を選択した場合、動画の画像が粗くなります。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8)、DCカプラ(別売:DMW-DCC11)の使用をお勧めします。
- ACアダプターを使用して動画を作成している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、作成中の動画は記録されません。
- 記録時間が29分59秒を超える動画、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
- 1秒より短い動画は、動画記録時間(P65)に“0s”と表示されます。
- 1枚だけ撮影された場合は、グループ画像として記録されません。1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。

#### こんなときは使えません

- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]は使えません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時
  - [多重露出]設定時
  - インターバル撮影時

# 操作音と発光の禁止を一括で設定する(サイレントモード)

使えるモード: **IA** **AT** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪**

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使うと便利です。

## メニューを設定する

**MENU ボタン→[カスタム]→[サイレントモード]**

設定: [ON]、[OFF]

- 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。以下の設定が固定されます。
  - [ 電子シャッター ]:[ON]
  - [ フラッシュモード ]:[] (発光禁止)
  - [AF 補助光 ]:[OFF]
  - [ 電子音音量 ]:[] (OFF)
  - [ 電子シャッター音音量 ]:[] (OFF)
  - [スピーカー音量 ]:0

- [ON] に設定していても、以下の機能は点灯 / 点滅します。

- 電源表示ランプ
- セルフタイマーランプ
- Wi-Fi 接続ランプ

- レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。

- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。



# シャッター音を鳴らさずに撮影する(電子シャッター)

使えるモード:            

静かな環境での撮影時に、シャッター音を鳴らさずに撮影できます。また、メカニカルシャッターを使わないと、ブレを抑えた写真を撮影しやすくなります。撮影条件により被写体が曲がったり、横しまが撮影されることがありますので、事前に試し撮りをお勧めします。

## メニューを設定する

**MENU ボタン → [撮影] → [電子シャッター]**

設定: [ON], [OFF]

- フラッシュは [④] (発光禁止) に固定されます。
- 蛍光灯や LED などの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 撮影時に手ブレが発生すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。三脚の使用をお勧めします。
- [電子音] の [電子シャッター音音量] で、撮影時のシャッター音を鳴らさないように設定できます。(P44)
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

## こんなときは使えません

- [連写速度] を [SH] に設定時は、[電子シャッター] は [ON] に固定されます。
- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定時は使えません。

# 顔を登録してきれいに撮影する(個人認証)

使えるモード: **IA** **AT** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪**

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

## メニューを設定する

**MENU ボタン** → [撮影] → [個人認証]

設定: [ON]、[OFF]、[登録]

お買い上げ時、[個人認証]は[OFF]に設定されています。

顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。

- 個人認証機能では、以下の機能も働きます。

### 撮影時

- カメラが登録した顔を認識時、名前を表示<sup>\*</sup>  
(名前を設定している場合)

### 再生時

- 名前や月齢／年齢の表示(情報を登録している場合)
- 登録人物から選んだ人物の画像のみを再生([カテゴリー再生](P192))

\*名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。



- [個人認証]は、オートフォーカスモードを[]に設定しているときのみ有効です。

- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。

- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。

- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。

- 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。

- 個人認証情報を変更した場合(P159)でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。  
例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー再生]の個人認証に分類されなくなります。

- 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え](P209)を行ってください。

## こんなときは使えません

- 以下の場合は、[個人認証]を設定できません。

- シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/  
[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/  
[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]/[パノラマで撮る]
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
- 動画撮影時

## 顔を登録してきれいに撮影する(個人認証) (続き)



## 顔画像を登録する

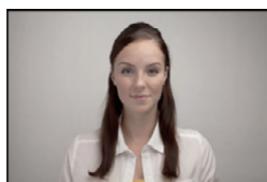
最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど(1登録につき最大3枚)、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

## ■ 顔画像登録時の撮影ポイント

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)

登録時の良い例



## ■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。(P159)
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

1 ▲/▼ボタンで[登録]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで未登録の顔画像枠を選び、

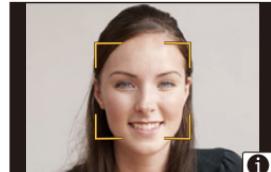
[MENU/SET]ボタンを押す

- すでに6人登録されているときは、[新規登録]が表示されません。

追加で登録する場合は、すでに登録されている人物を解除してください。

3 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- ▶ボタンを押す、または[?]をタッチすると、顔登録撮影の説明が表示されます。



→ 続く

## 顔を登録してきれいに撮影する(個人認証) (続き)

## 4 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 顔画像は3枚まで登録できます。

項目	設定内容
名前	名前を設定します。 ① ▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す ② 名前を入力する ●文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。
月齢/年齢	誕生日を設定します。 ① ▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す ② ◀/▶ボタンで項目(年・月・日)を選んで▲/▼ボタンで設定し、[MENU/SET]ボタンを押す
追加登録	追加登録 顔画像を追加登録します。 ① 未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET]ボタンを押す ② 「顔画像を登録する」の手順 3を行う
	解除 顔画像を1枚消去します。 ◀/▶ボタンで解除したい顔画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す ●画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。 ●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

- 設定後はメニューを終了してください。

## 登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

## 1 ▼ボタンで[登録]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

## 2 ▲/▼/◀/▶ボタンで編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

## 3 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容
情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 「顔画像を登録する」の手順4を行う
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 ▲/▼/◀/▶ボタンで登録順を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。 ●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

- 設定後はメニューを終了してください。

# 赤ちゃんやペットのプロフィールを設定して画像に記録する

使えるモード: **FA** **AT** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪**

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み] (P197) で撮影画像に焼き込むことができます。

## ■ 名前、月齢/年齢を設定する

### 1 メニューを設定する

**[MENU] ボタン→[撮影]→[ プロフィール設定 ]**

設定: [ **1(赤ちゃん1)** ]、[ **2(赤ちゃん2)** ]、[ **3(ペット)** ]、[OFF]、[設定]

2 ▲/▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]または[ペット]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

4 ▲/▼ボタンで[月齢/年齢]または[名前]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

5 ▲/▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

[月齢/年齢](誕生日)を入力する

◀/▶:項目(年・月・日)選択

▲/▼:設定

[MENU/SET]:決定

[名前]を入力する

文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。

6 ▼ボタンで[終了]を選び、[MENU/SET]ボタンを押して終了する

## ■ 月齢/年齢や名前の表示を解除するには

手順 1で[OFF]を設定してください。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。

 こんなときは使えません

- 動画撮影中に記録した写真([]) (動画優先)) (P185)には、月齢/年齢や名前は記録されません。



# 手ブレ・ズーム・フラッシュ

## 手ブレを補正する



撮影時の手ブレを感じて、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。手ブレ補正は、レンズでの手ブレ補正と本体での手ブレ補正の2つあります。レンズと本体のどちらか一方で手ブレ補正が働きます。

### ■ 対応する手ブレ補正について

お使いのレンズによって、レンズでの手ブレ補正または本体での手ブレ補正が働きます。

お使いのレンズ	手ブレ補正機能	
マイクロフォーサーズマウント規格のレンズ	手ブレ補正機能に対応	レンズでの手ブレ補正機能のみ働きます。 <a href="#">P162</a>
	手ブレ補正機能に非対応 ●交換レンズ(H-H020A)は、手ブレ補正機能に対応していません。	本体での手ブレ補正機能のみ働きます。 <a href="#">P163</a>
フォーサーズマウント規格のレンズ ●マウントアダプター(別売: DMW-MA1)をお使いください。	手ブレ補正機能に対応	レンズでの手ブレ補正機能のみ働きます。 <a href="#">P162</a>
	手ブレ補正機能に非対応	本体での手ブレ補正機能のみ働きます。 <a href="#">P163</a>
ライカマウント規格のレンズ ●ライカレンズ用マウントアダプター(別売: DMW-MA2M、DMW-MA3R)をお使いください。		本体での手ブレ補正機能のみ働きます。 <a href="#">P163</a>
上記以外で本機に装着可能なレンズ	本体での手ブレ補正機能のみ働きます。	<a href="#">P163</a>



### 手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[]が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマー([P148](#))、シャッターリモコン(別売: DMW-RSL1) ([P269](#))などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
  - スローシンクロ
  - 赤目軽減スローシンクロ
  - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]
  - シャッタースピードを遅くしたとき

## 手ブレを補正する（続き）

## レンズの手ブレ補正機能を使う

使えるモード：            

マイクロフォーサーズ規格 / フォーサーズ規格に準拠し、手ブレ補正機能に対応したレンズが必要です。（P161）

## 1 メニューを設定する

**MENU** ボタン→[撮影]→[手ブレ補正]→[動作設定]

## 2 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容
LENS ([  ]) (通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
LENS ([  ]) (流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法）するときに適しています。
OFF	手ブレ補正是働きません。（O.I.S.スイッチのないレンズをご使用の場合のみ選択できます）

- 設定後はメニューを終了してください。

- 手ブレ補正が働いているときに、動作音や振動がする場合がありますが故障ではありません。
- O.I.S.スイッチのある別売の交換レンズをご使用の場合は、レンズのO.I.S.スイッチを[ON]にすることで手ブレ補正機能が働くように設定することができます。（お買い上げ時は[]に設定されています）
- 三脚を使用するときは、動作設定を[OFF]にすることをお勧めします。
- []での流し撮りは、ファインダー撮影をお勧めします。

## ② こんなときは使えません

- シーンガイドモードの「[パノラマで撮る]」に設定時は、[]での手ブレ補正是使えません。
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
  - 手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  - デジタルズーム使用時
  - 動きのある被写体を追いかながら撮影するとき
  - 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- 以下の場合、[]での流し撮りの効果が出にくくなります。
  - 夏の日中など、明るいところ
  - シャッタースピードが1/100より速い場合
  - 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
  - 本機が被写体の動きにうまく追いついていない場合

## 手ブレを補正する（続き）

## 本体の手ブレ補正機能を使う

使えるモード：

手ブレ補正機能に非対応のレンズやマイクロフォーサーズ規格／フォーサーズ規格に準拠していないレンズをお使いの場合などに、本体での手ブレ補正が使えます。（P161）

- 本体での手ブレ補正是写真撮影時のみ働きます。

マイクロフォーサーズ規格／フォーサーズ規格に準拠していないレンズをお使いの場合は、以下の設定をしてください。

- [レンズ無しレリーズ]を[ON]に設定する（P25）
- [焦点距離設定]でお使いのレンズの焦点距離を設定する（P164）
  - マイクロフォーサーズ規格／フォーサーズ規格に準拠していないレンズを装着時に電源スイッチを[ON]にすると、本体の手ブレ補正が使える場合は焦点距離設定の確認メッセージが表示されます。「はい」を選ぶと、[手ブレ補正]の[焦点距離設定]が設定できます。

## 1 メニューを設定する

**MENU** ボタン→[撮影]→[手ブレ補正]

## 2 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容	
動作設定	BODY ((手)) (通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
	BODY ((手)) (流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。
	OFF	手ブレ補正是働きません。
焦点距離設定*	お使いのレンズの焦点距離の設定や登録をします。（P164）	

\*マイクロフォーサーズ規格／フォーサーズ規格に準拠していないレンズをお使いの場合のみ設定できます。

- 設定後はメニューを終了してください。

## 手ブレを補正する（続き）



### レンズの焦点距離を設定する

- マイクロフォーサーズ規格／フォーサーズ規格のレンズをお使いの場合、焦点距離設定は自動で設定されます。
- 本体と通信機能のない、一部のマイクロフォーサーズ規格／フォーサーズ規格のレンズをお使いの場合は、レンズの焦点距離を設定してください。

準備：[レンズ無しリリーズ]を[ON]に設定する（P25）

#### 1 メニューを設定する

**MENU** ボタン→[撮影]→[手ブレ補正]

#### 2 ▲/▼ボタンで[焦点距離設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

#### 3 ◀/▶ボタンでお使いのレンズの焦点距離を選ぶ

- 焦点距離は8 mm～1000 mmまで設定できます。
- 設定する焦点距離は、お使いのレンズ本体などに記載されている焦点距離で設定してください。
- お使いのレンズの焦点距離の設定値がない場合は、お使いのレンズの焦点距離に近い設定値を選んでください。
- お使いのレンズがズームレンズの場合は、撮影時の焦点距離に合わせて設定値を選んでください。



#### 4 [MENU/SET]ボタンを押す

### ■ 焦点距離を登録する

#### 1 「レンズの焦点距離を設定する」の手順3を行う

#### 2 ▼ボタンを押す

#### 3 ◀/▶ボタンで上書き登録する焦点距離を選び、[DISP.]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
- 焦点距離の設定は3つまで登録できます。
- 設定後はメニューを終了してください。



### ■ 登録済みの焦点距離から設定する

#### 1 「レンズの焦点距離を設定する」の手順3の画面で▼ボタンを押す

#### 2 ◀/▶ボタンで登録済みの焦点距離を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

➡ 続く

## 手ブレを補正する（続き）

- 手ブレ補正が働いているときに、動作音や振動がする場合がありますが故障ではありません。
- 三脚を使用するときは、動作設定を[OFF]にすることをお勧めします。
- [BODY]での流し撮りは、ファインダー撮影をお勧めします。
- 手ブレ補正是写真の記録中のみ働きます。
- 焦点距離が長くなるほど、手ブレ補正の効果は弱くなります。

### こんなときは使えません

- シーンガイドモードの「パノラマで撮る」に設定時は、[BODY]での手ブレ補正是使えません。
- 以下の場合、手ブレ補正是使えません。
  - シャッタースピードをB(バルブ)に設定時
  - シャッタースピードが2秒を超えるとき
  - [連写速度]を[SH]に設定時
  - 動画撮影時
  - 動画撮影中の写真記録([ 動画優先])設定時のみ)
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
  - 手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  - デジタルズーム使用時
  - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- 以下の場合、[BODY]での流し撮りの効果が出にくくなります。
  - 夏の日中など、明るいところ
  - シャッタースピードが1/100より速い場合
  - 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
  - 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

## シャッターによるブレを抑える

使えるモード：           

手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと設定した時間が経過してからシャッターが切れます。

### メニューを設定する

MENU ボタン→[撮影]→[シャッターディレイ]

設定：[8秒]、[4秒]、[2秒]、[1秒]、[OFF]

### こんなときは使えません

- 以下の場合、[シャッターディレイ]は使えません。
  - シーンガイドモードの「パノラマで撮る」
  - [HDR]を[ON]に設定時

# ズームを使って撮る

使えるモード: **T A P A S M M C1 C2 C3 SCN**

風景などを広く(広角:W側)撮ったり人や物を大きく(望遠:T側)撮ることができます。

パワーズーム(電動式ズーム)に対応した交換レンズをお使いの場合	交換レンズのズームレバー※1 	本機のカーソルボタン※2,3 
パワーズームに対応していない交換レンズをお使いの場合	交換レンズのズームリング 	本機のカーソルボタン※2,4 
ズームに対応していない交換レンズ(H-H020A)をお使いの場合	本機のカーソルボタン※2,4 	<b>T</b> 側: 望遠、大きく撮る <b>W</b> 側: 広角、広く撮る <b>▲/▶</b> ボタン: 望遠、大きく撮る <b>▼/◀</b> ボタン: 広角、広く撮る

※1 動かす幅によって、ズームスピードが変わります。

※2 カーソルボタンでズーム操作する場合は、カスタムメニューの[Fnボタン設定](P41)で [ズーム操作]を設定したファンクションボタンを押してください。もう一度ファンクションボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。

※3 ▲/▼ボタンで早くズームし、◀/▶ボタンでゆっくりズームします。

※4 カーソルボタンで操作できるのは、撮影メニューの[EXテレコン(写真)]を[ZOOM]に設定時のみです。

## ズームを使って撮る（続き）



## 望遠効果を上げる

## EX テレコン(写真)/EX テレコン(動画)

使えるモード: **IA** **AWB** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪**

EX テレコンを使うと、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

写真撮影時 [EX テレコン(写真)] 最大 2倍※

※ 記録画素数 [S] (4 M)、画像横縦比 [4:3] 選択時。記録画素数や画像横縦比により変わります。

- 記録画素数を [M] または [S] ([EX 付きの記録画素数]) に、クオリティを [■■■] または [■■] に設定してください。

動画撮影時	[EX テレコン(動画)]	2.4倍 ([FHD/60p], [FHD/60i], [FHD/30p], [FHD/24p]) 3.6倍 ([HD/60p], [HD/30p]) 4.8倍 ([VGA/30p])
-------	---------------	--

## EX テレコンを段階的に拡大する

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [ZOOM]



EX テレコンの倍率

ズームレバーや ▲/▼/◀/▶ ボタンを使って操作ができます。

- 写真撮影時のみ使えます。
- カーソルボタンでズーム操作する場合は、カスタムメニューの [Fn ボタン設定] (P41) で [ズーム操作] を設定したファンクションボタンを押してください。
- パワーズームに対応した交換レンズをお使いの場合は、光学ズーム領域の T 端までズーム後に、EX テレコン領域に入ります。



光学ズーム領域(焦点距離)※

写真時のEXテレコン領域(ズーム倍率)

※パワーズームに対応した交換レンズをお使いの場合のみ表示されます。

- ズームスピードは一定になります。
- ズーム倍率は目安です。

続く

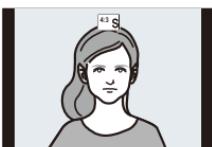
## ズームを使って撮る（続き）



EXテレコンを単純に拡大する

MENU ボタン→[撮影]→[EX テレコン(写真)]→[TELE CONV.]

MENU ボタン→[動画]→[EX テレコン(動画)]→[ON]



- EXテレコン使用時は、写真と動画のズーム倍率が異なるため、写真撮影画面と動画撮影画面の画角が変わります。[記録枠表示](P183)の設定を撮影したいモードに合わせておくと、あらかじめ撮影時の画角を確認できます。



こんなときは使えません

- 以下の場合、EXテレコンは使えません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]、[トイポップ]
  - [クオリティ]を[RAW<sup>Hi</sup>]、[RAW<sup>L</sup>]、[RAW]に設定時
  - [連写速度]を[SH]に設定時
  - [HDR]を[ON]に設定時
  - [多重露出]設定時

続く

## ズームを使って撮る（続き）

**⑩ パワーズームレンズの設定を変更する**

MENUボタン→[カスタム]→[パワーズームレンズ]

パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズをお使いの場合のみ選択できます。

- 交換レンズ（H-H020A）はパワーズームに対応していません。  
(対応レンズについては、ホームページをご覧ください)

項目	設定内容
[焦点距離表示]	<p>ズーム操作をすると、焦点距離が表示され、ズーム 焦点距離表示 位置を確認することができます。 [ON]、[OFF]</p> <p style="text-align: right;">現在の焦点距離</p>
[ステップズーム]	<p>[ON]に設定してズーム操作をすると、決められた 各焦点距離の位置でズームが停止します。 ●動画撮影時は働きません。 [ON]、[OFF]</p>
[ズーム位置メモリー]	<p>電源スイッチを[ON]にすると、電源スイッチを[OFF]にしたときのズーム位置へ自動的に戻します。 [ON]、[OFF]</p>
[ズーム速度]	<p>ズーム操作時のズームスピードを設定することができます。 ●[ステップズーム]を[ON]に設定すると、ズームスピードは変わりません。 [写真]: [H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速） [動画]: [H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速）</p>
[ズームリング操作]	<p>ズームレバーとズームリングのあるパワーズーム対応交換レンズを装着しているときのみ選択できます。[OFF]に設定すると、誤操作を防止するためにズームリングでの操作を無効にできます。 [ON]、[OFF]</p>

## ズームを使って撮る（続き）

## デジタルズーム

使えるモード：

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大4倍まで拡大できます。

**MENU** ボタン→[撮影]→[ デジタルズーム ]→[4×]/[2×]

**MENU** ボタン→[動画]→[ デジタルズーム ]→[4×]/[2×]

- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー（P148）を使って撮影することをお勧めします。
- 撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

### こんなときは使えません

- 以下の場合、デジタルズームは使えません。

- クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]、[トイボップ]、[ジオラマ]

- [多重露出]設定時

## ズームを使って撮る（続き）



## タッチ操作でズームを使う

タッチ操作でズーム操作を行うことができます。（タッチズーム）  
（光学ズーム、写真時のEXテレコンのみ操作できます）

**1** [<]をタッチする

**2** [W/T]をタッチする

- スライドバーが表示されます。

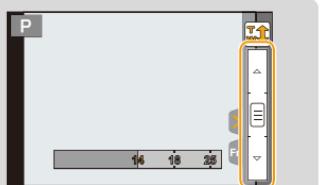
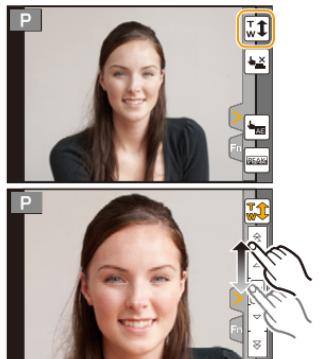
**3** スライドバーをドラッグして、ズーム操作を行う

- タッチする位置により、ズームスピードは変わります。

[▲]/[▼]	ゆっくりズームする
[▲]/[▼]	速くズームする

- もう一度[W/T]をタッチすると、タッチズーム操作を終了します。

- [ステップズーム]（P169）を[ON]に設定時は、ステップズーム用のスライドバーが表示されます。



# フラッシュを使って撮る

使えるモード: **FA FA P A S M** **C1 C2 C3 SCN**

## ■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる

内蔵フラッシュを開くと、フラッシュ撮影が可能になります。

Ⓐ 開くとき

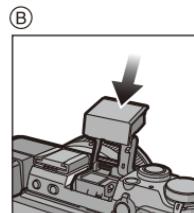
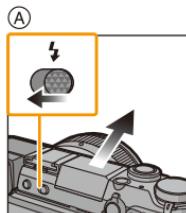
フラッシュオーブンレバーをスライドさせる

Ⓑ 閉じるとき

フラッシュをカチッと音がするまで押す

- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。

- フラッシュを開じているときは、[④]に固定されます。



- フラッシュを開くときに、フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。

- フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。



### 発光禁止 ([④])について

フラッシュを開じているときや動画撮影時などフラッシュ撮影できない場合は、撮影画面に [④] (発光禁止) が表示され、フラッシュが発光しません。

- フラッシュ禁止の場所などで発光させないようにするには、フラッシュを開じてください。

## ■ フラッシュ撮影可能範囲

フラッシュ撮影時に被写体との距離が近い場合、レンズでフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光の照明範囲外となるため、撮影画像の一部が暗くなります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。

フラッシュ光が遮られる被写体との距離やフラッシュ光が届く距離は、使用するレンズによって異なります。

	交換レンズ(H-H020A)装着時
	フラッシュ撮影可能範囲
ISO感度 [AUTO]設定時	約 50 cm～約 11.7 m

- [ISO感度上限設定] (P142) を [OFF] に設定時の範囲です。

➡ 続く

## フラッシュを使って撮る（続き）



### フラッシュを上手に使うには

- フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。カスタムメニューの[ハイライト表示]を[ON]に設定すると、オートレビュー時または再生時に白飛びの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。[フラッシュ光量調整](P176)をマイナス方向に設定するなどして、再度撮影することをお勧めします。
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗くなり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては、[268ページ](#)をお読みください。



### こんなときは使えません

- 被写体に近すぎたりフラッシュ光が十分に届かない被写体を撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体を撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- 使用するレンズによってはフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光がレンズの画角をカバーできないため、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

## フラッシュを使って撮る（続き）

## ■ フラッシュモードを切り換える

使えるモード: **[A]** **[Av]** **[P]** **[A-S]** **[M]** **[M-]** **[C1]** **[C2]** **[C3]** **[SCN]** **[S]**

撮影内容に合わせて、内蔵フラッシュの発光のしかたを設定します。

- フラッシュを開いてください。

## 1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→[撮影]→[フラッシュ設定]

## 2 ▲/▼ボタンで[フラッシュモード]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

## 3 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容
⚡ :強制発光 ⚡◎ :赤目軽減強制発光※1	フラッシュを強制的に発光させます。 ●逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
⚡S :スローシンクロ ⚡S◎ :赤目軽減スローサインクロ※1	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 ●夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ●シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。 三脚の使用をお勧めします。

※1 [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に設定し、[発光モード]を[TTL]に設定時のみ設定できます。

フラッシュは2回発光します。特に[⚡], [⚡S]に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

## ■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	フラッシュモード	シャッタースピード
⚡	1/60 ※2～1/320 秒	⚡S	1～1/8000秒
⚡◎		⚡S◎	
		⌚	60 ※3～1/8000秒

※2 シャッター優先AEモード時は60秒、マニュアル露出モード時はB(バルブ)となります。

※3 マニュアル露出モード時はB(バルブ)となります。

- フラッシュ発光時は、シャッタースピードが1/320秒(外部フラッシュ使用時は1/250)より速い設定には設定できません。
- インテリジェントオート([IA] または [Av])モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

→ 続く

## フラッシュを使って撮る（続き）

### ■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。  
(○: 設定可、×: 設定不可、◎: シーンガイドモード初期設定)

撮影モード	闪光	闪光(オート)	闪光S	闪光S(オート)	闪光S(オート)
IA インテリジェントオートモード	×	※	×	※	○
IA+ インテリジェントオートプラスモード	×	※	×	※	○
P プログラム AE モード	○	○	○	○	○
A 絞り優先 AE モード	○	○	○	○	○
S シャッター優先 AE モード	○	○	×	×	○
M マニュアル露出モード	○	○	×	×	○
■M クリエイティブ動画モード	×	×	×	×	○
♪ クリエイティブコントロールモード	×	×	×	×	○
SCN シーンガイド モード	人物をきれいに撮る	○	○	×	○
	人物の肌をきれいに撮る	○	○	×	○
	逆光でふんわり撮る	×	×	×	○
	逆光でしっかり撮る	○	×	×	○
	ほのぼのした雰囲気で撮る	×	×	×	○
	子どもをかわいく撮る	○	○	×	○
	風景をきれいに撮る	×	×	×	○
	青空をさわやかに撮る	×	×	×	○
	夕焼けを幻想的に撮る	×	×	×	○
	夕焼けを印象的に撮る	×	×	×	○
	水面をキラキラ撮る	×	×	×	○
	夜景をきれいに撮る	×	×	×	○
	夜空をクールに撮る	×	×	×	○
	夜景を暖かく撮る	×	×	×	○
	夜景をアーティスティックに撮る	×	×	×	○
	イルミネーションをキラキラ撮る	×	×	×	○
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	×	×	○	○
	花をふんわり撮る	○	×	×	○
	料理をおいしそうに撮る	○	×	×	○
	スイーツをかわいく撮る	○	×	×	○
	動くペットをきちんと撮る	○	×	×	○
	スポーツをきれいに撮る	○	×	×	○
	モノクロで撮る	○	○	○	○
	パノラマで撮る	×	×	×	○

※ 撮影メニューによる設定はできません。フラッシュを開くと [IA] が設定されます。(P69)

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を[OFF]にしても記憶しています。シーンガイドモードでシーンを変更すると、シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

## フラッシュを使って撮る（続き）

## 後幕シンクロに設定する

使えるモード: **P A S M C1 C2 C3 SCN**

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

## 1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→[撮影]→[フラッシュ設定]

2 ▲/▼ボタンで[フラッシュシンクロ]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで設定項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容
さきまく 先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。
あとまく 後幕	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。

- 通常は「先幕」に設定してください。
- 「後幕」に設定すると、画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に設定時のみ設定できます。(P178)
- フラッシュシンクロの設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(ワイヤレスフラッシュを除く)(P268)
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- [後幕]設定時は、[]、[]に設定できません。

## フラッシュの発光量を調整する

使えるモード: **P A S M C1 C2 C3 SCN**

フラッシュで撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

## 1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→[撮影]→[フラッシュ設定]

2 ▲/▼ボタンで[フラッシュ光量調整]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ◀/▶ボタンでフラッシュの発光量を設定し、[MENU/SET]ボタンを押す

- 3 EV から +3 EV の範囲で、1/3 EV ごとに調整できます。

- フラッシュ発光量を調整しない場合は、「± 0」を選んでください。

- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面のフラッシュアイコンに[+]または[-]が表示されます。
- [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に、[発光モード]を[TTL]に設定時のみ設定できます。(P178)
- [フラッシュ光量調整]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(ワイヤレスフラッシュを除く)(P268)

## フラッシュを使って撮る（続き）

## 露出補正時に内蔵フラッシュ発光量を連動させる

使えるモード: **IA** **PA** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3**

撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動]を[ON]に設定時は、露出補正量に応じて内蔵フラッシュの発光量も自動的に調整されます。

- 露出補正については、[135](#)ページをお読みください。
- [露出補正連動]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。[\(P268\)](#)

## 発光モードを変更する（マニュアルフラッシュ）

使えるモード: **IA** **PA** **S** **M** **SCN** **C1** **C2** **C3**

[フラッシュ設定]の[発光モード]で、フラッシュの種類を設定できます。

項目	設定内容
TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの光量比を手動で設定します。[TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図どおりの撮影ができます。

- [マニュアル]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに光量比([1/1]など)が表示されます。

## 光量比を設定する（[マニュアル]選択時）

- 1 撮影メニューから[フラッシュ設定]を選ぶ[\(P36\)](#)
- 2 ▲/▼ボタンで[マニュアル発光量設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- 3 ◀/▶ボタンで発光量を設定し、[MENU/SET]ボタンを押す  
• [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

## フラッシュを使って撮る（続き）

## | ワイヤレスフラッシュの設定をする

使えるモード:        

ワイヤレス撮影機能のあるフラッシュライト（別売：DMW-FL360L）を使うと、3つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュ（または本機のホットシューに装着したフラッシュライト）を別々に発光制御できます。

準備：本機のフラッシュオーブンレバーをスライドさせて、フラッシュを開いてください。  
または、本機にフラッシュライト（別売：DMW-FL360L）を取り付けてください。

**1 コントロールする外部フラッシュの設定をRCモードにして、配置する**

- コントロールする外部フラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

**2 メニューを設定する**

**[MENU]ボタン→[撮影]→[フラッシュ設定]**

**3 ▲/▼ボタンで[ワイヤレスモード]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

**4 ▲/▼ボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

- [ワイヤレスモード]を[ON]に設定すると、撮影画面のフラッシュアイコンに[WL]が表示されます。
- ワイヤレスフラッシュの詳細な設定を行う場合は、[フラッシュ設定]から以下の設定を行ってください。

**[ワイヤレスチャンネル]**

コントロールする外部フラッシュと同じチャンネルに合わせてください。

設定：[1CH]、[2CH]、[3CH]、[4CH]

**[ワイヤレスFP]**

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光（フラッシュが高速で発光を繰り返すこと）します。速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。

設定：[ON]、[OFF]

**[ワイヤレス通信光量]**

ワイヤレス撮影時の通信発光の強さを設定します。

設定：[強]、[中]、[弱]

➡ 続く

## フラッシュを使って撮る（続き）

### [ワイヤレス設定]

- [DISP.] ボタンを押すと、テスト発光を行います。



項目	設定内容	
内蔵 フラッシュ <sup>※1,2</sup>	発光モード	TTL: カメラが自動的に内蔵フラッシュの発光量を設定します。 OFF: 内蔵フラッシュは通信発光のみ行います。
	フラッシュ 光量調整	内蔵フラッシュの発光量を手動で調整します。
外部 フラッシュ <sup>※1,2</sup>	発光モード	TTL: カメラが自動的に外部フラッシュの発光量を設定します。 AUTO: 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル: 外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF: 外部フラッシュは通信発光のみ行います。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定時の外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定時の外部フラッシュ光量比を設定します。 • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。
Aグループ/ Bグループ/ Cグループ	発光モード	TTL: カメラが自動的に外部フラッシュの発光量を設定します。 AUTO <sup>※1</sup> : 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル: 外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF: 設定したグループの外部フラッシュは発光しません。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定時の外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]を[マニュアル]に設定時の外部フラッシュ光量比を設定します。 • [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

※1 [ワイヤレスFP]を[ON]に設定時は設定できません。

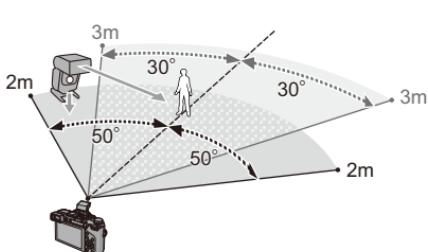
※2 本機にフラッシュライト(別売:DMW-FL360L)を装着時は、[内蔵フラッシュ]の代わりに[外部フラッシュ]が表示されます。

➡ 続く

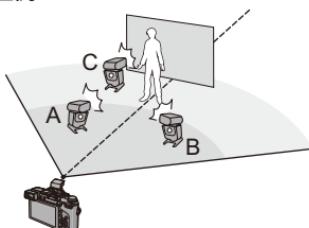


### ■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。



## 設置例



- 設置例は、発光グループフラッシュA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合です。

- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台をお勧めします。
  - 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。(ディヒューザーなどで減光すると症状が緩和されます)

## 赤目を補正する

使えるモード: **P** **A** **S** **M** **SCN** **ルーム**

赤目軽減([]、[])選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

**MENU** ボタン→[撮影]→[デジタル赤目補正]

**設定：[ON], [OFF]**

- [ON]に設定すると、アイコンに[]が表示されます。



 こんなときは使えません。

- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

# 動画

## 動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

使用するレンズにより、動画撮影中に働く機能に差があります。また、レンズの動作音などが記録される場合があります。詳しくは、[23ページ](#)をお読みください。

### フォーマット、サイズ、フレームレートを設定する

使えるモード：

#### 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[動画]→[記録方式]

#### 2 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	フォーマット
[AVCHD]	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
[MP4]	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

#### 3 ▲/▼ボタンで[画質設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

#### 4 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 設定後はメニューを終了してください。

[AVCHD]を選んだ場合

項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
[FHD/60p] <sup>※1</sup>	1920×1080	60p	28 Mbps
[FHD/60i]	1920×1080	60i	17 Mbps
[FHD/30p]	1920×1080	60i <sup>※2</sup>	24 Mbps
[FHD/24p]	1920×1080	24p	24 Mbps
[HD/60p]	1280×720	60p	17 Mbps

※1 AVCHD Progressive

※2 センサー出力は30コマ/秒です

[MP4]を選んだ場合

項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
[FHD/60p]	1920×1080	60p	28 Mbps
[FHD/30p]	1920×1080	30p	20 Mbps
[HD/30p]	1280×720	30p	10 Mbps
[VGA/30p]	640×480	30p	4 Mbps

→ 続く

## 動画を撮る（続き）

### ■ 撮影した動画の互換性について

撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- [AVCHD]の[FHD/60p], [FHD/30p], [FHD/24p]で記録した動画の本機以外での再生、取り込みには、対応しているブルーレイディスクレコーダーまたはPHOTOfunSTUDIOをインストールしたパソコンが必要です。

### ■ アイコンの見方

フォーマット

AVCHD  
サイズ FHD 60i フレームレート(センサー出力)

- 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影する被写体により、ビットレート(一定時間当たりのデータの量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

### 動画撮影時のピントの合わせ方(AF連続動作)

使えるモード:       C1 C2 C3 SCN 

ピント合わせは、フォーカスモード([AFS/AFF/AFC](P121)とMF(P129))と動画撮影メニューの[AF連続動作]の設定によって異なります。

フォーカスモード	AF連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	撮影中も自動でピントを合わせ続けます。(P121) ●シャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
	OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。
MF	ON/OFF	手動でピントを合わせることができます。(P129)

- 交換レンズ(H-H020A)は、コンパクトで明るいF1.7を実現するためのレンズ駆動方式を採用しています。そのため、フォーカス動作時に、動作音や振動が発生しますが、異常ではありません。
- 撮影環境や使用レンズによっては、動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、動画撮影メニューの[AF連続動作]を[OFF]に設定するなどして撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 交換レンズ(H-H020A)は、[AFF]、[AFC]に設定できません。(P121)

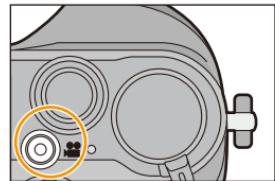
## 動画を撮る（続き）



## 動画を撮る

使えるモード: **IA** **AT** **P** **A** **S** **M** **■M** **C1** **C2** **C3** **SCN** **♪****1 動画ボタンを押して撮影を開始する**

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- 約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。
- 動画撮影時は、マイクの穴を指などで塞がないでください。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

**2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する**

- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。（P185）



記録可能時間

**⌚ 動画ボタンの有効/無効を設定する**

MENU ボタン→[カスタム]→[動画ボタン]→[ON]/[OFF]

- ボタンの誤操作を防ぐための機能です。

**⌚ 写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換える**

MENU ボタン→[カスタム]→[記録枠表示]→[CAMERA] (写真)/[MOVIE] (動画)

- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。  
[記録枠表示]を[MOVIE]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 記録枠表示は目安です。

続く

## 動画を撮る（続き）

- 動画撮影中にズームやボタン操作などをするとき、その動作音が記録される場合があります。
- 画面に表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- EXテレコン使用時は、写真と動画のズーム倍率が異なるため、写真撮影画面と動画撮影画面が切り換わる際に、画角が変わります。（P167）
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで構えたままお待ちください。
- 動画撮影中、ISO感度は[AUTO]（動画用）の動作になります。また、[ISO感度上限設定]は機能しません。
- 動画撮影時は、[手ブレ補正]の[動作設定]を[]（流し撮り）に設定していても、[]（通常）に固定されます。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）の使用をお勧めします。（P270）
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、撮影途中の動画は記録されません。
- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれの撮影モードに合った動画を撮影できます。

選択されている撮影モード	動画撮影時の撮影モード
<ul style="list-style-type: none"> <li>- プログラム AE モード</li> <li>- 紋り優先 AE モード</li> <li>- シャッター優先 AE モード</li> <li>- マニュアル露出モード</li> </ul>	通常動画
<ul style="list-style-type: none"> <li>- シーンガイドモードの[逆光でしっかり撮る]</li> </ul>	人物モード
<ul style="list-style-type: none"> <li>- シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/ [夜景をアーティスティックに撮る]/ [夜景をバックに人物をきれいに撮る]</li> </ul>	ローライトモード

### こんなときは使えません

- 以下の場合、動画撮影できません。
  - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/  
[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/  
[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - インターバル撮影時
  - [コマ撮りアニメ]時

# 動画撮影中に写真を記録する

使えるモード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[SCN]** **C1** **C2** **C3** **[REC]**

動画撮影中でも写真を記録することができます。(同時記録)

## 動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能([P56](#))を使って撮影することもできます。



## ■ 動画優先、写真優先を設定する

使えるモード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[SCN]** **C1** **C2** **C3** **[REC]**

動画撮影メニューの[写真撮影]で、動画撮影中の写真の記録方法を設定することができます。

項目	設定内容
(動画優先)	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録画素数[S](2 M)で写真を記録します。通常の写真の[S](2 M)とは画質が異なる場合があります。</li> <li>クオリティを[RAW<sup>■■</sup>]、[RAW<sup>■■■</sup>]または[RAW]に設定時はJPEG画像のみ記録されます。([RAW]設定時はクオリティは[■■■]で記録されます)</li> <li>動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大40枚までです。</li> <li>クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、シャッターボタンを全押し時と多少ずれて記録される場合があります。</li> </ul>
(写真優先)	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。</li> <li>写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声が途切れます。</li> <li>動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大10枚までです。</li> </ul>

- 写真の画像横縦比は[16:9]に固定されます。

### こんなときは使えません

- 以下の場合、同時記録はできません。
  - [記録方式]の[MP4]を[VGA/30p]に設定時
  - [FHD/24p]に設定時([ (写真優先)]設定時のみ)
  - [EX テレコン(動画)]を[ON]に設定時([ (写真優先)]設定時のみ)

# 動画撮影メニューを使う



## 動画撮影メニューの設定方法は

P36

- [フォトスタイル]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
- 以下の場合、動画撮影メニューは表示されません。
  - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をぶんわり撮る]/[パノラマで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]

## 記録方式

- 詳しくは、[181](#)ページをお読みください。

## 画質設定

- 詳しくは、[181](#)ページをお読みください。

## 動画露出設定

- 詳しくは、[102](#)ページをお読みください。

## 写真撮影

- 詳しくは、[185](#)ページをお読みください。

## AF連続動作

- 詳しくは、[182](#)ページをお読みください。

## 動画ハイライト表示

使えるモード：

白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。

設定：[ON]、[OFF]

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム（P61）を参考に、露出をマイナス方向に補正して（P135）撮影することをお勧めします。

## EX テレコン(動画)

- 詳しくは、[167](#)ページをお読みください。

## 動画撮影メニューを使う（続き）



動画撮影メニューの設定方法は

P36

## フリッカー軽減

使えるモード:

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。  
設定: [1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]、[OFF]

## タッチ静音操作

- 詳しくは、[103](#)ページをお読みください。

## マイクレベル表示

使えるモード:

マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。  
設定: [ON]、[OFF]

こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。

## マイクレベル設定

使えるモード:

音声入力のレベルを4段階に調整します。

こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。

## 風音低減

使えるモード:

音声記録時に風雑音がある場合に、風雑音を効果的に低減します。

設定: [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

- 風音低減を設定すると、通常と音質が変わることがあります。

こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では使えません。

# 再生・編集

## 再生方法を切り換える



### 複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

#### 後ダイヤルを左側に回す

1画面 ⇔ 12画面 ⇔ 30画面 ⇔ カレンダー画面表示

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。

- [ ]: 1画面    [ ]: 12画面
- [ ]: 30画面    [ ]: カレンダー再生



- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。

- [!]と表示される画像は再生できません。

#### ■ 1画面表示に戻すには

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

### 画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

1 後ダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選ぶ

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

4 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- カレンダー画面表示に戻すには、後ダイヤルを左側に回してください。



- 最初に選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。

- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。

- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。

- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2013年1月1日に表示されます。

- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

## 再生方法を切り換える（続き）

## グループ画像を見る

複数枚の画像を1つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1枚ずつ再生します。

[▲□]:連写速度を[SH]に設定して連続撮影したグループ画像(P144)

[▲◎]:インターバル撮影で撮影したグループ画像(P150)

[▲■]:コマ撮り撮影したグループ画像(P152)

- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

- 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。



## グループ画像を連続再生する

グループ画像アイコン([▲□]、[▲◎]、[▲■])が付いた画像を選び、▲ボタンを押す

- グループ画像アイコン([▲□]、[▲◎]、[▲■])をタッチしても同じ操作ができます。

- グループ画像を1枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。

[最初の画像から見る]: グループの先頭画像から連続再生されます。

[この画像から見る]: 再生中の画像から連続再生されます。

## ■ グループ画像再生中の操作

▲	▶/■	連続再生/一時停止	▼	■	停止
◀	◀◀	早戻し再生	▶	▶▶	早送り再生
	◀◀	前の画像に戻す(一時停止中)		▶▶	

## グループ画像を1枚ずつ再生する

- 1 グループ表示アイコン([▼□]、[▼◎]、[▼■])が付いた画像を選び、▼ボタンを押す

- グループ表示アイコン([▼□]、[▼◎]、[▼■])をタッチしても同じ操作ができます。

- 2 ◀/▶ボタンを押して画像を送る

- もう一度▼ボタンを押す、または、[▶▶]をタッチすると、通常の再生画面に戻ります。

- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)



## 再生方法を切り換える（続き）

## 2D/3D切換

3D 画像の再生方法を切り換えることができます。

- 3D 再生が可能な場合にのみ表示されるメニューです。詳しくは、[252 ページ](#)をお読みください。

## スライドショー

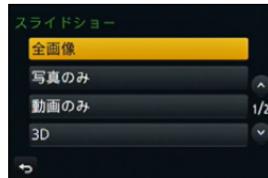
撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、3D 写真のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るとときにお勧めの再生方法です。

## 1 メニューを設定する

**[MENU] ボタン→[再生]→[スライドショー]**

2 ▲/▼ボタンで再生するグループを選び、  
[MENU/SET] ボタンを押す

- [3D] の画像を 3D で再生する方法については、[252 ページ](#)をお読みください。
- [カテゴリー選択] 時は、▲/▼/◀/▶ ボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。



## 3 ▲ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

→ 続く

## 再生方法を切り換える（続き）

### ■ スライドショー中の操作

▲	[▶/II]	再生 / 一時停止	▼	[■]	スライドショーを終了する
◀	[◀]	前の画像へ	▶	[▶]	次の画像へ
後ダイヤル (左回し)	[－]	音量下げる	後ダイヤル (右回し)	[＋]	音量上げる

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

### ■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

#### [効果]

画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。

- [おまかせ]、[ナチュラル]、[スロー]、[スwing]、[アーバン]、[OFF]
- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにお勧めの効果で再生します。
- [動画のみ]または[カテゴリー選択]の[動画]、[写真]、[音楽]のスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
- グループ画像のスライドショー時は、[効果]を設定していても無効になります。
- 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の[効果]は動作しません。

#### [設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1秒、2秒、3秒、5秒
[リピート]	ON、OFF
[音設定]	[AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 音声(動画のみ)を再生します。 [OFF]: 音を出しません。

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。
- 以下をスライドショー時、[再生間隔]の設定は無効になります。
  - 動画
  - パノラマ写真
  - グループ画像

## 再生方法を切り換える（続き）



## 再生モード

[通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ]、[3D]、[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]を選び、再生することができます。

## 1 メニューを設定する

**MENU** ボタン→[再生]→[再生モード]

2 ▲/▼ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す  
• [3D]の画像を3Dで再生する方法については、[252ページ](#)をお読みください。

上記手順2で[カテゴリー再生]選択時

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET] ボタンを押す  
• 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

自動シーン判別やシーンガイドモードなどの撮影情報	
	- 個人認証*
	- 自動シーン判別の i人物 /i夜景&人物 /i赤ちゃん - シーンガイドモードの[人物をきれいに撮る]/[人物の肌をきれいに撮る]/ [逆光でふんわり撮る]/[逆光でしっかり撮る]/[ほのぼのした雰囲気で撮る]/ [子どもをかわいく撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]
	- 自動シーン判別の i風景 /i夕焼け - シーンガイドモードの[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/ [夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]
	- 自動シーン判別の i夜景&人物 /i夜景 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/ [夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/ [イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]
	- シーンガイドモードの[スポーツをきれいに撮る]
	- 自動シーン判別の i料理 - シーンガイドモードの[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]
	- トラベル日付
	- 連写速度を[SH]で連続撮影した写真
	- インターバル撮影、インターバル動画作成
	- コマ撮りアニメ、コマ撮りアニメ作成

\*▲/▼/◀/▶ ボタンで再生したい人物を選び[MENU/SET]ボタンを押して再生してください。

グループ画像は、グループ全体が個人認証画像として扱われます。

•撮影モードによっては動画の分類が写真と異なるため、再生されないことがあります。

# 再生機能を使う

撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロジェクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- [クリアレタッチ]、[文字焼き込み]、[インターバル動画作成]、[コマ撮りアニメ作成]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]は、編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをお勧めします。

## 動画から写真を作成する

撮影した動画から、1枚の写真を作成できます。

- 1 動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止にする
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [ ]をタッチしても同じ操作ができます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



- [記録画素数]は[S](2 M)、[画像横縦比]は[16:9]、[クオリティ]は[.]で保存されます。
- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、再生時に[.]が表示されます。

### こんなときは使えません

- [MP4]の[VGA/30p]で撮影された動画からは、写真を作成できません。

## 再生機能を使う（続き）



## 位置情報記録

スマートフォン/タブレットで取得した位置情報(緯度・経度)を本機に送信して、画像に位置情報を書き込むことができます。

準備：スマートフォン/タブレットから本機に位置情報を送信する

- お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」をインストールする必要があります。(P214)
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

## 1 メニューを設定する

**MENU ボタン→[再生]→[位置情報記録]→[位置情報データ付与]**

## 2 ▲/▼ ボタンで位置情報を書き込む期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 位置情報が画像に書き込まれます。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

## ■ 位置情報の書き込みを中断する

位置情報の書き込み中に [MENU/SET] ボタンを押す

- 中断した期間には [○] が表示されます。
- [○] が表示された期間を再度選択すると、位置情報の書き込みを続きから開始します。

## ■ 受信した位置情報を消去する

## 1 メニューを設定する

**MENU ボタン→[再生]→[位置情報記録]→[位置情報データ消去]**

## 2 ▲/▼ ボタンで位置情報を消去する期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

- 本機で撮影された画像にのみ、位置情報を書き込むことができます。

**こんなときは使えません**

- 位置情報の送信(P219)後に撮影した画像には、位置情報は書き込まれません。
- [記録方式]を[AVCHD]で撮影した動画には、位置情報は書き込まれません。
- カードの空き容量が不足している場合は、位置情報を書き込めない場合があります。
- カードがロックされていると、画像に位置情報を書き込んだり、受信した位置情報を消去することはできません。

## 再生機能を使う（続き）



## 不要な部分を消去する（クリアレタッチ）

撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。

- 消去操作はタッチでのみ行えます。[クリアレタッチ]では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。

## 1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → [再生] → [クリアレタッチ]

## 2 ◀/▶ ボタンで写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

## 3 消去したい部分をなぞる

- 消去される部分に色が付きます。
- [1つ戻す]をタッチすると、色が付いた部分が1つ前の状態に戻ります。



## ① 細かい部分を消去するには（拡大表示）

## ① [移動]をタッチする

- 画面が拡大表示されます。
- 画面をピンチアウト／ピンチイン（P19）すると、拡大／縮小表示できます。
- 後ダイヤルを回しても拡大／縮小できます。
- 画面をドラッグする、またはカーソルボタンを押すと、拡大部分を移動することができます。



## ② [消去]をタッチする

- 消去したい部分を選ぶ操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分を選ぶことができます。

## 4 [決定]をタッチする

- プレビュー画面が表示されます。

## 5 [保存]をタッチする、または [MENU/SET] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選択すると実行されます。実行後はメニューを終了してください。

- 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。

- グループ画像は1枚ずつクリアレタッチしてください。（グループ単位の編集はできません）

- グループ画像にクリアレタッチを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。

## ② こんなときは使えません

- ファインダー表示時は使えません。

- 以下の画像はクリアレタッチはできません。

- 動画

- シーンガイドモードの[パノラマで撮る]で撮影された写真

- クオリティを[RAW<sup>+</sup>]、[RAW<sup>-</sup>]または[RAW]にして撮影された画像

## 再生機能を使う（続き）



## タイトル入力

撮影画像に文字（コメント）を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み]（P197）で撮影画像に焼き込むことができます。

## 1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→[再生]→[タイトル入力]→[1枚設定]または[複数設定]

## 2 文字を入力したい画像を選ぶ

- すでにタイトルが入力されている画像には[☒]が表示されます。

## [1枚設定]選択時

- ◀/▶ボタンで画像を選ぶ
- [MENU/SET] ボタンを押す

## [複数設定]選択時

- ▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（繰り返す）
  - もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- ◀ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する

## 3 文字を入力する（P51）

- 設定後はメニューを終了してください。

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字（コメント）をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。

## こんなときは使えません

- 以下の場合、タイトル入力できません。
  - 動画
  - クオリティを[RAW<sup>+</sup>]、[RAW<sup>+</sup>]または[RAW]にして撮影された画像



## 再生機能を使う（続き）



## 文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

## 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[再生]→[文字焼き込み]→[1枚設定]または[複数設定]

## 2 文字を焼き込みたい画像を選ぶ

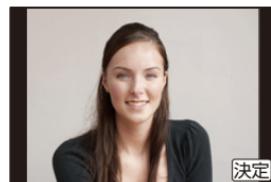
- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に[]が表示されます。

## [1枚設定]選択時

- ①◀/▶ボタンで画像を選ぶ
- ②[MENU/SET] ボタンを押す

## [複数設定]選択時

- ①▲/▼/◀/▶ボタンで画像選び、[MENU/SET] ボタンを押す（繰り返す）
  - もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- ②◀ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する



## 3 ▲/▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

## 4 ▲/▼ボタンで焼き込む項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

## 5 ▲/▼ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容
[撮影日時]	[日付]: 年月日を焼き込みます。 [日時]: 年月日時分を焼き込みます。 [OFF]
[名前]	[] (個人認証): [個人認証]で登録された名前を焼き込みます。 [/] (赤ちゃん/ペット): [プロフィール設定]で登録された名前を焼き込みます。 [OFF]
[旅行先]	[ON]: [旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。 [OFF]
[トラベル日付]	[ON]: [トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。 [OFF]
[タイトル]	[ON]: [タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。 [OFF]

➡ 続く

## 再生機能を使う（続き）

## 6 [▲/▼]ボタンを押す

## 7 ▲ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

実行後はメニューを終了してください。

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- グループ画像に文字焼き込みを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。

## ④ こんなときは使えません

- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - 動画
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]で撮影された写真
  - 時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - 文字焼き込みされた画像
  - クオリティを[RAW~~■~~]、[RAW~~+~~]または[RAW]にして撮影された画像

## 再生機能を使う（続き）

**動画分割**

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。分割すると、元に戻すことができません。

**1 メニューを設定する**

**MENU ボタン→[再生]→[動画分割]**

**2 ◀/▶ ボタンで分割編集したい動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す****3 分割したい位置で▲ボタンを押す**

- もう一度▲ボタンを押すと、続きから動画が再生されます。
- 一時停止中に◀/▶ボタンを押すと、分割位置の細かい調整することができます。

**4 ▼ボタンを押す**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。  
実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。

- [MP4]動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。カレンダー再生(P188)や[再生モード]の[動画のみ]で検索することをお勧めします。

**🚫 こんなときは使えません**

- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。



## 再生機能を使う（続き）

## インターバル動画作成

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画はMP4の記録方式で保存されます。

## 1 メニューを設定する

MENUボタン→[再生]→[インターバル動画作成]

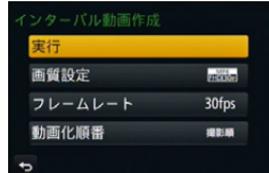
## 2 ◀/▶ボタンでインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

## 3 項目と設定を選ぶ

項目	設定内容
画質設定	動画の画質を設定します。 [FHD/60p]、[FHD/30p]、[HD/30p]、[VGA/30p]
フレームレート	1秒あたりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。 [60fps]※、[30fps]、[15fps]、[10fps]、[7.5fps]、[6fps]、[3fps]、[1fps] ※ [FHD/60p]設定時のみ
動画化順番	[撮影順]：撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]：撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

## 4 ▲/▼ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。  
実行後はメニューを終了してください。



- グループ画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- グループ画像より記録画素数が大きな画質を選択した場合、画像が粗くなります。
- 動画を作成する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC8）の使用をお勧めします。
- ACアダプターを使用して動画を作成している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、作成中の動画は記録されません。
- 記録時間が29分59秒を超える動画、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
- 1秒より短い動画は、動画記録時間（P65）に“0s”と表示されます。
- [インターバル撮影]で1枚だけ撮影された画像を選ぶことはできません。

## 再生機能を使う（続き）



## コマ撮りアニメ作成

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画は MP4 の記録方式で保存されます。

### 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[再生]→[コマ撮りアニメ作成]

### 2 ◀/▶ ボタンでコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

### 3 動画の作成方法を選び、動画化する

- [コマ撮りアニメ]の撮影後に続けて動画化するのと同じ手順になります。詳しくは [153 ページ](#) の手順 **8** 以降をお読みください。  
作成した動画については、[154 ページ](#)のお知らせもお読みください。
- [コマ撮りアニメ]で 1 枚だけ撮影された画像を選ぶことはできません。

## 再生機能を使う（続き）



## リサイズ(縮小) 画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいうように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

## 1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→[再生]→[リサイズ(縮小)]→[1枚設定]または[複数設定]

## 2 画像、サイズを選ぶ

## [1枚設定]選択時

- ①◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ②▲/▼ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
  - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。  
実行後はメニューを終了してください。



## [複数設定]選択時

- ①▲/▼ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ②▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)
  - もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- ③◀ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する
  - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。  
実行後はメニューを終了してください。



- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。

## ④ こんなときは使えません

- 以下の画像はリサイズ(縮小)できません。
  - 動画
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]で撮影された写真
  - グループ画像
  - 文字焼き込みされた画像
  - クオリティを[RAW<sup>+</sup>]、[RAW<sup>-</sup>]または[RAW]にして撮影された画像

## 再生機能を使う（続き）

**トリミング(切抜き) 画像を切り抜く**

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

**1 メニューを設定する**

**MENU ボタン→[再生]→[ トリミング(切抜き) ]**

**2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す****3 後ダイヤルと▲/▼/◀/▶ ボタンで切り抜く部分を選ぶ**

後ダイヤル(右回し): 拡大

後ダイヤル(左回し): 縮小

▲/▼/◀/▶: 移動

- [+]/- をタッチしても拡大 / 縮小できます。

- 画面をドラッグしても移動できます。

**4 [MENU/SET] ボタンを押す**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

実行後はメニューを終了してください。

- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。

- グループ画像は 1 枚ずつトリミング(切抜き)してください。(グループ単位の編集はできません)

- グループ画像にトリミング(切抜き)を行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。

- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

**🚫 こんなときは使えません**

- 以下の画像はトリミング(切抜き)できません。

- 動画

- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] で撮影された写真

- 文字焼き込みされた画像

- クオリティを [RAW<sup>Hi</sup>]、[RAW<sup>Lo</sup>] または [RAW] にして撮影された画像

## 再生機能を使う（続き）



## 画像回転 / 縦位置自動回転

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90°ごとに回転させることができます。

## 画像回転（画像を手動で回転する）

- [縦位置自動回転]を[OFF]に設定すると、[画像回転]は選択できません。

## 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[再生]→[画像回転]

## 2 ◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- グループ画像は回転できません。

## 3 ▲/▼ボタンで回転方向を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

[]: 時計回りに90°回転します。

[]: 反時計回りに90°回転します。

- 設定後はメニューを終了してください。



## 縦位置自動回転（画像を自動で回転して表示する）

## メニューを設定する

MENU ボタン→[再生]→[縦位置自動回転]→[ON]

- [OFF]に設定すると、画像は回転されずに表示されます。

- 設定後はメニューを終了してください。

こんなときは使えません

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです]
- 複数消去など設定時のマルチ再生画面では、縦位置自動回転されない場合があります。

## 再生機能を使う（続き）



## お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。

- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([お気に入り以外全消去])

## 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[再生]→[お気に入り]→[1枚設定]または[複数設定]

## 2 画像を選ぶ

## [1枚設定]選択時

- ◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す  
 ●もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。  
 ●設定後はメニューを終了してください。



## [複数設定]選択時

- ▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)  
 ●もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。  
 ●設定後はメニューを終了してください。



## ■ [お気に入り]設定を全解除する

メニューを設定する

MENU ボタン→[再生]→[お気に入り]→[全解除]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選択すると実行されます。  
 実行後はメニューを終了してください。
- [再生モード]を設定中は、[全解除]を選択できません。

- 999枚まで設定できます。
- グループ内の画像に[お気に入り]設定すると、先頭画像のお気に入りアイコンに設定枚数が表示されます。

## ⑩ こんなときは使えません

- [クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。

## 再生機能を使う（続き）

## プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

グループ画像に[プリント設定]を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。

## 1 メニューを設定する

[MENU]ボタン→[再生]→[プリント設定]→[1枚設定]または[複数設定]

## 2 画像を選ぶ

## [1枚設定]選択時

◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



## [複数設定]選択時

▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



## 3 ▲/▼ボタンでプリント枚数を設定し、

[MENU/SET]ボタンで決定する

- [複数設定]選択時は、手順2、3を繰り返してください。（一括設定することはできません）

- グループ画像に対して[プリント設定]を行ったとき、合計枚数が1000枚以上の場合は、[999+]と表示されます。

- 設定後はメニューを終了してください。

続く

## 再生機能を使う（続き）

## ■ [プリント設定]を全解除する

メニューを設定する

MENU ボタン→[再生]→[プリント設定]→[全解除]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選択すると実行されます。  
実行後はメニューを終了してください。

## ■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、▶ボタンを押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。  
詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけてください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- グループ内の画像に[プリント設定]すると、先頭画像のプリント設定アイコンに設定枚数と合計枚数が表示されます。

## ② こんなときは使えません

- 以下の画像はプリント設定できません。
  - 動画
  - クオリティを[RAW]にして撮影された画像
  - DCF規格に準拠していないファイル

## 再生機能を使う（続き）



## ■ プロテクト

画像を誤って消去することができないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

## 1 メニューを設定する

**MENU** ボタン→[再生]→[プロテクト]→[1枚設定]または[複数設定]

## 2 画像を選ぶ

## [1枚設定]選択時

◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。



## [複数設定]選択時

▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（繰り返す）

- もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

## ■ [プロテクト]設定を全解除する

## メニューを設定する

**MENU** ボタン→[再生]→[プロテクト]→[全解除]

- 確認画面が表示されます。[はい]を選択すると実行されます。

実行後はメニューを終了してください。



- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- グループ内の画像に[プロテクト]設定すると、先頭画像のプロテクトアイコンに設定枚数が表示されます。

## 再生機能を使う（続き）



## 認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

## 1 メニューを設定する

**MENU ボタン→[再生]→[認証情報編集]→[入換え]または[解除]**

- 2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ◀/▶ ボタンで人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ([入換え]選択時) ▲/▼/◀/▶ ボタンで入れ換える人物の画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
  - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。  
実行後はメニューを終了してください。

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。

## 消去確認画面

画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。



## 1 メニューを設定する

**MENU ボタン→[再生]→[消去確認画面]**

## 2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容
[「はい」がはじめ]	最初に[はい]が選ばれるため、素早く消去操作を行えます。
[「いいえ」がはじめ]	最初に[いいえ]が選ばれます。誤って画像を消去するのを防ぎます。

- 設定後はメニューを終了してください。

## Wi-Fi®機能 / NFC機能について



### ■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

### ■ Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

### ■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

### ■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

### ■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク(SSID<sup>※</sup>)が表示されることがあります、不正アクセスと見なされるおそれがあるので、接続しないでください。

※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

### ■ ご使用の前に

- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。

### ■ 本機はNFCに対応しています

NFC(Near Field Communication:近距離無線通信)機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間でWi-Fi接続に必要な情報を簡単に受け渡しすることができます。



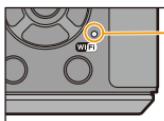
#### 対応機種について

本機能は、Android(OSバージョン2.3.3以上)で、おサイフケータイ®Felica、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。(一部機種を除く)

- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。
- NFC対応スマートフォン/タブレットには、[ ]マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォン/タブレットの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- おサイフケータイ®Felicaをご利用時、インターネットへ接続できない環境において、一時にNFC機能が利用できない場合があります。

## Wi-Fi®機能 / NFC機能について (続き)

## ■ Wi-Fi接続ランプの表示について



Wi-Fi接続ランプ

青色点灯: Wi-Fi接続の待機中  
青色点滅: Wi-Fi接続の送受信中

## ■ [Wi-Fi]ボタンについて

[Wi-Fi]/[Fn3]ボタンは、[Wi-Fi]と[Fn3](ファンクション3)の2つおりの使い方ができます。

お買い上げ時は、[Wi-Fi]が設定されています。

- ファンクションボタンについて詳しくは [41](#) ページをお読みください。



## ■ Wi-Fi接続中に [Wi-Fi]ボタンを押すと

Wi-Fi接続中に [Wi-Fi]ボタンを押すと、以下の操作ができます。

項目	設定内容
[接続を終わる]	Wi-Fi接続を終了します。
[接続先を変える]	Wi-Fi接続を終了し、新たにWi-Fi接続を選択します。
[画像の送信設定を変える] <small>※</small>	詳しくは <a href="#">247</a> ページをお読みください。
[今の接続先をお気に入りに入れる]	現在の接続先や接続方法を登録して、次回簡単に同じ接続設定で接続することができます。
[ネットワークアドレス表示]	本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。

※ [スマートフォンとつないで使う]、[TVで見る]または[カメラ内の画像を選んで送る]の送信先が[プリンター]の場合は、表示されません。

## ■ 操作の記載方法について

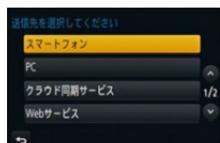
本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

**Wi-Fiボタン→[新規に接続する]→[スマートフォンとつないで使う]**

手順で「[スマートフォン]を選ぶ」などと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。

ボタン操作: カーソルボタンで[スマートフォン]を選び、  
[MENU/SET]ボタンを押す

タッチ操作: [スマートフォン]をタッチする



→ 続く

## Wi-Fi®機能 / NFC機能について (続き)

- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11gまたはIEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- 情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかつたり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。
- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 通信中にモニターの表示が一瞬乱れることがありますが、送信される画像に影響はありません。



# Wi-Fi 機能でできること



できること

## スマートフォンとつないで使う



スマートフォンで撮影する

カメラの画像を保存する

画像をSNSへ送信する



### かんたん接続、かんたん転送

[Wi-Fi]ボタンを長めに押したり、NFC機能を使ったりすることで、簡単に使えます。



P214



テレビに写真を映す

P223



プリンターに画像を送る

P224



AV 機器に画像を送る

P225



パソコンに画像を送る

P227



Web サービスを利用する

P230

LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信することができます。

# スマートフォン/タブレットとつないで使う



スマートフォン/タブレットを使って、離れた場所からカメラを操作できます。

お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。



## スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

	Android™ 向けアプリ	iOS 向けアプリ
対応 OS	Android 2.2 ~ Android 4.2*	iOS 5.0 ~ iOS 6.1
インストール手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Android 端末をネットワークに接続する</li> <li>2 「Google Play™ ストア」を選ぶ</li> <li>3 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する</li> <li>4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする</li> </ol> <p>●メニューにアイコンが追加されます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 iOS端末をネットワークに接続する</li> <li>2 「App Store™」を選ぶ</li> <li>3 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する</li> <li>4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする</li> </ol> <p>●メニューにアイコンが追加されます。</p>

- 最新のバージョンをお使いください。
  - お使いのスマートフォン/タブレットによっては、正しく動作しない場合があります。  
Image App の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。  
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
  - 3G等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- \* [Wi-Fi Direct] で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™に対応している必要があります。

## スマートフォン/タブレットとつないで使う（続き）



### スマートフォン/タブレットと接続する

[Wi-Fi]ボタンを長めに押したり、NFC機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。

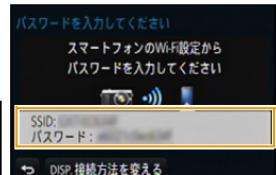
#### 準備：

- 「Image App」をインストールしておく（P214）

#### 1 [Wi-Fi] ボタンを長めに押す

- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報（SSID、パスワード）が表示されます。
- 初めての接続以外では、前に接続したときの画面が表示されます。
- 接続方法を切り換える場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。
- 以下のメニューを選ぶことで、同じ画面を表示できます。

Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→  
[スマートフォンとつないで使う]

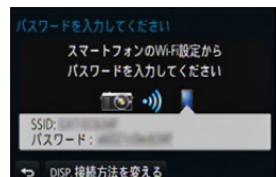


#### 2 スマートフォン/タブレットを操作する

- Wi-Fi機能をONにする
- 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
- 「Image App」を起動する（P214）
  - 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の画像が表示されます。

### ■ 接続方法を変える

接続方法を切り換たい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。



#### カメラ側

[ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する（P240）

#### スマートフォン/タブレット側

[ネットワーク経由] で接続する場合

- Wi-Fi機能をONにする
- 接続したい無線アクセスポイントを選び、設定する
- 「Image App」を起動する（P214）

[直接接続] の [Wi-Fi Direct] または [WPS 接続] で接続する場合

「Image App」を起動する（P214）

## スマートフォン/タブレットとつないで使う（続き）

**NFC機能を使って、スマートフォン/タブレットと接続する**

NFC(Near Field Communication:近距離無線通信)機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間でWi-Fi接続に必要な情報を簡単に受け渡しすることができます。

**■ 対応機種について**

本機能は、Android(OSバージョン2.3.3以上)で、おサイフケータイ® FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。（一部機種を除く）

- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。

## 準備：

(カメラ側)

- [NFC動作]を[ON]にする（P249）

(スマートフォン/タブレット側)

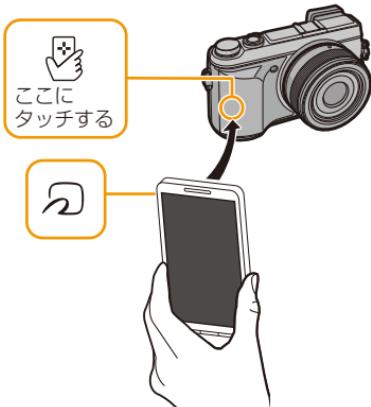
- スマートフォン/タブレットが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi機能をONにする
- 「Image App」をインストールしておく（P214）

## 1 お使いのスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する

## 2 「Image App」の接続画面に[]が表示さ

れている状態で、本機の[]にスマートフォン/タブレットの[]をタッチする

- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の映像が表示されます。
- タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順1の画面を表示してください。
- 1枚再生時に接続すると、スマートフォン/タブレットに画像が転送されます。（P218）


 初めて接続する場合、接続確認画面が表示されます

## 1 本機に接続確認画面が表示されたら [はい] を選ぶ

## 2 再度、本機の[]にスマートフォン/タブレットの[]をタッチする

- 接続されたスマートフォン/タブレットは本機に登録されます。

 続く

## スマートフォン/タブレットとつないで使う (続き)

- 最大20件までスマートフォン/タブレットを登録できます。20件を超えた場合は、最も古くタッチされた順に登録を消去します。
- [Wi-Fi設定リセット]を行うとスマートフォン/タブレットの登録は消去されます。
- おサイフケータイ®Felicaでご利用時、インターネットへ接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。
- すぐに反応しないときは、位置を少しずらしてください。
- スマートフォン/タブレットを本機に強く当てないでください。
- NFC対応スマートフォン/タブレットには、[ ]マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォン/タブレットの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- 本機とスマートフォン/タブレットとの間に金属物があると、読み取れない場合があります。  
また、[ ]マーク付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性があります。
- 以下の場合 NFC機能は使えません。
  - パソコンまたはプリンター接続時
  - 動画撮影時
  - インターバル撮影時
  - 本革ボディーケース(別売:DMW-CGBX7)装着時

## スマートフォン/タブレットで撮影する (リモート撮影)

- 1 スマートフォン/タブレットと接続する(P215)
- 2 スマートフォン/タブレットの[ ]を選ぶ

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 動画も撮影できます。
- 設定など一部利用できないものがあります。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。

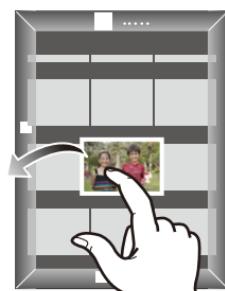


## カメラの画像を保存する

- 1 スマートフォン/タブレットと接続する(P215)
- 2 スマートフォン/タブレットの[ ]を選ぶ

### 3 画像をドラッグし、保存する

- 画像をタッチした場合は、画像が大きく再生されます。
- 好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。



## スマートフォン/タブレットとつないで使う（続き）



## カメラの画像を簡単に転送する

スマートフォン/タブレットを本機にタッチすることで、NFC機能を使ってWi-Fi接続ができ、表示中の画像を簡単に転送することができます。撮ったその場で画像を転送できるので、ご家族やご友人のスマートフォン/タブレット※にも簡単に転送できます。

※ご利用には、「Image App」をインストールする必要があります。

## 準備：

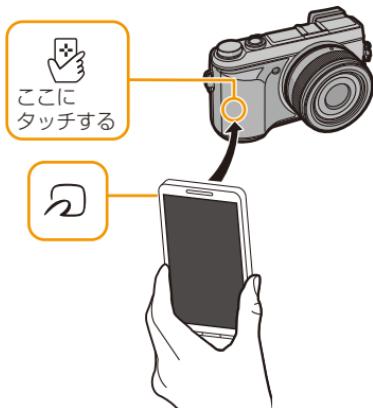
（カメラ側）

- [NFC動作]を[ON]にする（P249）
- [タッチシェアリング]を[ON]にする（P249）

（スマートフォン/タブレット側）

- スマートフォン/タブレットが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi機能をONにする
- 「Image App」をインストールしておく（P214）

- 1 スマートフォン/タブレットに転送したい画像を本機で再生する
- 2 転送先のスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する
- 3 「Image App」の接続画面に[]が表示されている状態で、本機の[]をタッチする
  - 接続完了までに時間がかかる場合があります。
  - タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 2 の画面を表示してください。
  - 一括で転送することはできません。



- 使用環境によっては、画像の転送完了までに数分かかる場合があります。

## スマートフォン/タブレットとつないで使う（続き）

## カメラの画像をSNSへ送信する

- 1 スマートフォン/タブレットと接続する(P215)
- 2 スマートフォン/タブレットの[□]を選ぶ
- 3 画像をドラッグし、SNSなどに送信する
  - SNSなどのWebサービスに画像が送信されます。
  - 好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。



## スマートフォン/タブレットからカメラに位置情報を送信する

スマートフォン/タブレットから位置情報を取得してあとから画像に書き込むことができます。本機で記録した画像に位置情報を書き込むには、194ページをお読みください。

- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。(P211)
- 使用上のお願い：
 

本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

● 「時刻同期」後に本機またはスマートフォン/タブレットの時刻を変更した場合は、再度「時刻同期」をしてください。

● スマートフォン/タブレットで位置情報の取得間隔の設定と位置情報の送信状況の確認ができます。詳しくは「Image App」のメニューの中のヘルプをお読みください。

● (iOS向けの「Image App」を使いの場合)

「位置情報の記録」をオンに設定時、スマートフォン/タブレットのホームボタンまたはオン/オフボタンを押すと、位置情報の記録が中止されます。

### こんなときは使えません

- 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近で、スマートフォン/タブレットの位置情報取得機能が働かない場合があります。(2013年8月現在)

## スマートフォン/タブレットとつないで使う（続き）

## カメラを操作してスマートフォン / タブレットに画像を送る



## ■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	3D
撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）	○	×	×	×	×
選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）	○	×	○	×	×

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[246 ページ](#)をお読みください。

## 準備：

- 「Image App」をインストールしておく [\(P214\)](#)

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

[撮るたびに画像を送る（\[撮影中に画像を送る\]） P221](#)

[選んで画像を送る（\[カメラ内の画像を送る\]） P222](#)

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

## スマートフォン/タブレットとつないで使う（続き）



## 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

## 1 メニューを設定する

[Wi-Fi] ボタン → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] → [スマートフォン]

## 2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する（P240）

## スマートフォン/タブレット側

[ネットワーク経由] で接続する場合

- ① Wi-Fi機能をONにする
- ② 無線アクセスポイントを選び、設定する
- ③ 「Image App」を起動する（P214）

[直接接続] の [Wi-Fi Direct] または [WPS 接続] で接続する場合

- ① 「Image App」を起動する（P214）

[直接接続] の [手動接続] で接続する場合

- ① Wi-Fi機能をONにする
- ② 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
- ③ 「Image App」を起動する（P214）

## 3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合 [DISP.] ボタンを押してください。（P247）

## 4 写真を撮る

- 撮影後、自動的に写真が送信されます。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。（P211）

写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## スマートフォン/タブレットとつないで使う（続き）



## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

## 1 メニューを設定する

[Wi-Fi]ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[スマートフォン]

## 2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する（P240）

## スマートフォン/タブレット側

[ネットワーク経由]で接続する場合

- ① Wi-Fi機能をONにする
- ② 無線アクセスポイントを選び、設定する
- ③ 「Image App」を起動する（P214）

[直接接続]の[Wi-Fi Direct]または[WPS接続]で接続する場合

- ① 「Image App」を起動する（P214）

[直接接続]の[手動接続]で接続する場合

- ① Wi-Fi機能をONにする
- ② 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
- ③ 「Image App」を起動する（P214）

## 3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。（P247）

## 4 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。（P211）

## [1枚選択]選択時

- ①画像を選ぶ
- ②[決定]を選ぶ

## [複数選択]選択時

- ①画像を選ぶ（繰り返す）
    - もう一度選ぶと設定が解除されます。
  - ②[実行]を選ぶ
    - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



# テレビに写真を映す



DLNA規格のデジタルメディアレンダラー(DMR)機能に対応したテレビに写真を表示することができます。



## 準備:

テレビを DLNA 待ち受けモードにする

- お使いのテレビの説明書をお読みください。
- 対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

## 1 メニューを設定する

[Wi-Fi] ボタン → [新規に接続する] → [TVで見る]

## 2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する(P240)

### 3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。

### 4 本機で撮影または写真を再生する

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。(P211)

- 本機との接続中に、一時的に接続前の状態に戻ることがあります。撮影もしくは再生を行うと再びテレビに写真が表示されます。
- スライドショー再生時、[効果]と[音設定]を設定していても無効になります。

### 🚫 こんなときは使えません

- 動画は再生できません。
- マルチ再生、カレンダー再生中に本機に表示されている画像はテレビに表示されません。

# プリンターに画像を送る

対応したプリンターに写真を送り、ワイヤレスでプリントすることができます。



## ■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	3D
選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る])	<input type="radio"/>	×	×	×	×

- お使いの機器によっては、送信できない場合があります。
- 画像の送信方法について詳しくは、[246 ページ](#)をお読みください。

### 準備:

- 撮影した写真をワイヤレスでPictBridge(ワイヤレスLAN)※対応のプリンターから印刷することができます。  
※ DPS over IP 規格準拠  
PictBridge(ワイヤレスLAN)対応のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

### 1 メニューを設定する

[Wi-Fi] ボタン → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [プリンター]

### 2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する([P240](#))

### 3 接続したいプリンターを選ぶ

### 4 画像を選んでプリントする

- 画像の選び方は USB ケーブルで接続時と同じになります。詳しくは [263 ページ](#)をお読みください。
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。[\(P211\)](#)

- 3G 等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

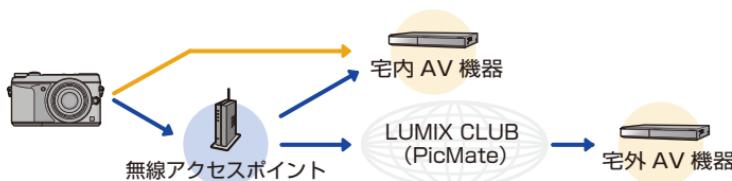
### ② こんなときは使えません

- 動画はプリントできません。

# AV機器に画像を送る



写真や動画を家の中にあるDLNAに対応したレコーダーなどのAV機器(室内AV機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人のAV機器(室外AV機器)にも、LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで送れます。



## ■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	3D
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	○	×	×	×	○
選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る])	○	×	×	×	○

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[246 ページ](#)をお読みください。

### 準備:

[室内AV機器]に画像を送る場合、お使いの機器をDLNA待ち受けモードにする

- お使いの機器の説明書をお読みください。

[室外AV機器]に画像を送る場合、以下が必要になります。

- LUMIX CLUB (PicMate)への登録([P235](#))
- 送信先の室外AV機器で取得した、アドレス番号とアクセス番号([P239](#))

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

[撮るたびに画像を送る\(\[撮影中に画像を送る\]\) P226](#)

[選んで画像を送る\(\[カメラ内の画像を送る\]\) P226](#)

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

## AV機器に画像を送る（続き）



## 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

## 1 メニューを設定する

[Wi-Fi] ボタン → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] → [AV 機器]

## 2 [宅内AV機器]または[宅外AV機器]を選ぶ

## 3 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する（P240）

- [宅外AV機器]を選択時は、[直接接続]は選べません。

## 4 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。（P247）

## 5 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。（P211）

写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

## 1 メニューを設定する

[Wi-Fi] ボタン → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [AV 機器]

## 2 [宅内AV機器]または[宅外AV機器]を選ぶ

## 3 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する（P240）

- [宅外AV機器]を選択時は、[直接接続]は選べません。

## 4 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。（P247）

## 5 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。（P211）

## [1枚選択]選択時

- ①画像を選ぶ
- ②[決定]を選ぶ

## [複数選択]選択時

- ①画像を選ぶ（繰り返す）
  - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ②[実行]を選ぶ
  - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
  - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



# パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。



## ■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD <sup>*</sup>	3D
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	×	×	<input type="radio"/>
選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る])	<input type="radio"/>				

\* [AVCHD]で撮影された動画を送信することができるのは、ファイルサイズが4 GBまでです。4 GBを超える場合、送信できません。

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[246 ページ](#)をお読みください。

### 準備:

- パソコンの電源を入れておく。
- パソコンに写真を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。[\(P228\)](#)
- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する必要があります。[\(P248\)](#)

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

[撮るたびに画像を送る\(\[撮影中に画像を送る\]\) P228](#)

[選んで画像を送る\(\[カメラ内の画像を送る\]\) P229](#)

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

## パソコンに画像を送る（続き）



### 画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのユーザーアカウント（アカウント名（254文字以内）とパスワード（32文字以内））は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

#### ■ PHOTOfunSTUDIO を使用する場合

##### 1 PHOTOfunSTUDIO をインストールする

- 動作環境やインストールについて、詳しくは [257 ページ](#)の「付属のソフトウェアを使う」をお読みください。

##### 2 PHOTOfunSTUDIO で受信するフォルダーを作成する

- 受信するフォルダーを自動で作成する「おまかせ作成」、または受信するフォルダーの指定・新規作成とパスワード設定が可能な「個別作成」から選んでください。
- 詳しくは、PHOTOfunSTUDIO の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

#### ■ PHOTOfunSTUDIO を使用しない場合

（Windows をお使いの場合）

対応 OS: Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8

例) Windows 7

##### 1 受信するフォルダーを選択し、右クリックする

##### 2 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

（Mac をお使いの場合）

対応 OS: OS X v10.4 ~ v10.8

例) OS X v10.8

##### 1 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする

「ファイル」→「情報を見る」

##### 2 フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

### 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

#### 1 メニューを設定する

**[Wi-Fi] ボタン** → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] → [PC]

#### 2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する（[P240](#)）

#### 3 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力] を選び、パソコンのコンピューター名（Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名）を入力してください。

#### 4 送信するフォルダーを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。（[P247](#)）

#### 5 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。（[P211](#)）写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## パソコンに画像を送る（続き）



## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

## 1 メニューを設定する

[Wi-Fi] ボタン → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [PC]

## 2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する（P240）

## 3 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力] を選び、パソコンのコンピューター名（Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名）を入力してください。

## 4 送信するフォルダーを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。（P247）

## 5 [1枚選択] または [複数選択] を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。（P211）

## [1枚選択] 選択時

## ① 画像を選ぶ

## ② [決定] を選ぶ

## [複数選択] 選択時

## ① 画像を選ぶ（繰り返す）

- もう一度選ぶと設定が解除されます。

## ② [実行] を選ぶ

- [複数選択] で一度に設定できる枚数には制限があります。

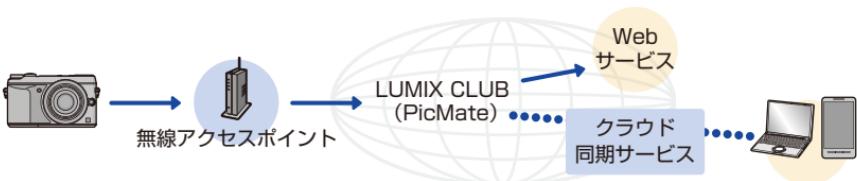
- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。



- 設定されたフォルダ下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名（Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名）にスペース（空白文字）などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15 文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名（Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名）に変更することをお勧めします。

# Webサービスを利用する

LUMIX CLUB (PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信することができます。



以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

[Webサービスに画像を送る P230](#)

[クラウド同期サービスに画像を送る P233](#)

- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

## Webサービスに画像を送る

### ■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	3D
撮るたびに画像を送る([撮影中に画像を送る])	<input type="radio"/>	×	×	×	<input type="radio"/>
選んで画像を送る([カメラ内の画像を送る])	<input type="radio"/>	×	<input type="radio"/>	×	<input type="radio"/>

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先の Web サービスをご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[246 ページ](#)をお読みください。

準備:

Webサービスに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate)への登録([P235](#))が必要です。

LUMIX CLUB (PicMate)以外のWebサービスに画像を送信するには、そのWebサービスを登録しておく必要があります。[\(P231\)](#)

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

[撮るたびに画像を送る\(\[撮影中に画像を送る\]\) P231](#)

[選んで画像を送る\(\[カメラ内の画像を送る\]\) P232](#)

→ 続く

## Webサービスを利用する（続き）

- Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去したりすることはできません。スマートフォンやパソコンで Web サービスにアクセスして、画像を確認してください。
  - 画像の送信に失敗すると、LUMIX CLUB (PicMate) に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。
  - 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。
- Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
  - Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

### 「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWebサービスを利用する

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWebサービスへ画像を送信する場合は、利用するWebサービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」で登録しておくことが必要です。

- 対応するWebサービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。  
[http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix\\_faqs/](http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/)

準備：利用するWebサービスにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

- 1 スマートフォン／タブレットまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトへアクセスする
- 2 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDとパスワードを入力し、ログインする  
**(P235)**
- 3 メールアドレスを登録する
- 4 利用するWebサービスを選び、登録する
  - 画面の指示に従って、登録の操作をしてください。

### 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

- 1 メニューを設定する

[Wi-Fi] ボタン → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] → [Web サービス]

- 2 [ネットワーク経由] を選び、接続する  
**(P240)**
- 3 接続したいサービスを選ぶ
  - 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。  
**(P247)**
- 4 写真を撮る
  - 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。  
**(P211)**  
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## Webサービスを利用する（続き）



## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

## 1 メニューを設定する

[Wi-Fi] ボタン → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [Web サービス]

## 2 [ネットワーク経由] を選び、接続する（P240）

## 3 接続したいサービスを選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。（P247）

## 4 [1枚選択] または [複数選択] を選ぶ

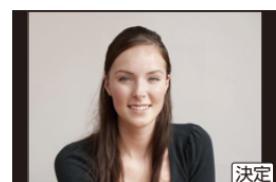
- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi] ボタンを押してください。（P211）

## [1枚選択] 選択時

- ①画像を選ぶ
- ②[決定] を選ぶ

## [複数選択] 選択時

- ①画像を選ぶ（繰り返す）
  - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ②[実行] を選ぶ
  - [複数選択] で一度に設定できる枚数には制限があります。
  - 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。



## Webサービスを利用する（続き）

## クラウド同期サービスに画像を送る

## ■ 送信方法と送信できる画像

	JPEG	RAW	MP4	AVCHD	3D
撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）	○	×	×	×	○
選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）	○	×	○	×	○

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書をご確認ください。
- 画像の送信方法について詳しくは、[246](#) ページをお読みください。

## 準備：

クラウドフォルダに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate)への登録([P235](#))とクラウド同期設定が必要です。

以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

[撮るたびに画像を送る（\[撮影中に画像を送る\]） P234](#)

[選んで画像を送る（\[カメラ内の画像を送る\]） P234](#)

## ■ [クラウド同期サービス]を利用する（2013年8月現在）

クラウドフォルダに画像を送信するにはクラウド同期設定が必要です。

パソコンの場合はPHOTOfunSTUDIOで、スマートフォン/タブレットの場合は[Image App]で設定してください。

- 画像の送信先をクラウド同期サービスに設定した場合、送信された画像はクラウドフォルダに一時保存され、パソコンやスマートフォン/タブレットなど、お使いの機器と同期させることができます。
- クラウドフォルダに送信された画像は30日間(最大1000枚まで)保存されます。送信後30日を超えた画像は、自動的に消去されます。また、送信後30日以内でも1000枚を超えた場合は、[クラウド上限枚数動作]([P247](#))の設定により画像が消去される場合があります。
- クラウドフォルダに送信された画像が指定した機器すべてにダウンロードされると、送信後30日以内の画像でもクラウドフォルダから消去される場合があります。

## Webサービスを利用する（続き）



## 撮るたびに画像を送る（[撮影中に画像を送る]）

## 1 メニューを設定する

[Wi-Fi]ボタン→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]→[クラウド同期サービス]

## 2 [ネットワーク経由]を選び、接続する（P240）

## 3 送信設定を確認する

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。（P247）

## 4 写真を撮る

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。（P211）

写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。

## 選んで画像を送る（[カメラ内の画像を送る]）

## 1 メニューを設定する

[Wi-Fi]ボタン→[新規に接続する]→[カメラ内の画像を送る]→[クラウド同期サービス]

## 2 [ネットワーク経由]を選び、接続する（P240）

## 3 送信設定を確認する

- 接続が完了すると画面が表示されます。画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。（P247）

## 4 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

- 設定を変更したり、接続を終わるには、[Wi-Fi]ボタンを押してください。（P211）

## [1枚選択]選択時

- ①画像を選ぶ
- ②[決定]を選ぶ

## [複数選択]選択時

- ①画像を選ぶ（繰り返す）
  - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ②[実行]を選ぶ
  - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。



# LUMIX CLUB (PicMate)への登録



## LUMIX CLUB (PicMate)を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録(無料)をして、ログインIDを取得します。 「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録すると、画像をお使いの機器間で同期したり、Webサービスに画像を転送するなど、画像の整理・共有・公開ができます。

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWebサービスや宅外のAV機器に画像を転送する際にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して利用します。

- すでにパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDを取得済みの場合は、取得済みのログインIDを本機に入力して同じログインIDを使用することができます。
- 本機とスマートフォン/タブレットのLUMIX CLUB (PicMate)のログインIDを合わせることができます。(P237)

### ■ 「LUMIX CLUB (PicMate)」について

デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。 詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

また、本機との連携サービスを利用する場合は、下記のページにアクセスしてください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/>

本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 新規でログインIDを取得する([新規登録])

### 1 メニューを設定する

MENUボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi設定]→[PicMate設定]

### 2 [ログイン・新規登録]を選ぶ



### 3 [新規登録]を選ぶ

- ネットワークに接続します。「次へ」を選ぶと、次のページへ進みます。
- すでに本機でログインIDが取得されている場合は確認画面が表示されます。取得し直すときは[はい]を、取得し直さないときは[いいえ]を選んでください。

### 4 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する

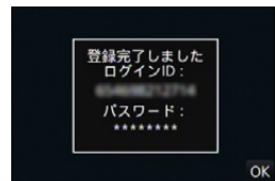
- 詳しくは、[241](#)ページをお読みください。
- 初回接続時のみ設定画面が表示されます。一度設定した接続方法は、本機に保存され、次回接続時に利用されます。接続する無線アクセスポイントを変更したい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続先を変更してください。
- 「次へ」を選ぶと、次のページへ進みます。

→ 続く

## LUMIX CLUB (PicMate)への登録 (続き)



- 5 LUMIX CLUB (PicMate)の利用規約を読み、[同意する]を選択
  - ▲/▼ボタンでページを切り換えることができます。
  - 後ダイヤルを右側に回すと、拡大表示(2倍)することができます。
  - 拡大したあと後ダイヤルを左側に回すと、元の大きさ(1倍)に戻ります。
  - ▲/▼/◀/▶ボタンで拡大部分の位置を移動させることができます。
  - [▲/▼]ボタンを押すと、サービスユーザー登録せずに中止することができます。
- 6 パスワードを入力する
  - 英数字交じり 8~16桁で任意のパスワードを入力してください。
  - 文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 7 ログインIDを確認し、[OK]を選択
  - ログインID(数字12桁)は自動的に表示されます。  
パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインする場合は、数字のみを入力してください。
  - 接続が完了するとメッセージが表示されます。
  - [OK]を選んでください。
  - ログインIDとパスワードは必ず控えを取っておいてください。
  - 設定後はメニューを終了してください。



## 取得済みのログインIDを使う / ログインIDやパスワードを確認したり変更する([ログインID 設定])

準備: 取得済みのログインIDを使う場合、IDとパスワードを確認しておく。  
パスワードを変更する場合、スマートフォン/タブレットまたはパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更しておく。

- 本機では、LUMIX CLUB (PicMate)に登録されているログインIDやパスワードの変更はできません。

### 1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

- 2 [ログイン・新規登録]を選択
- 3 [ログイン ID 設定]を選択
  - ログインIDとパスワードが表示されます。
  - パスワードは「\*」で表示されます。
  - ログインIDの確認のみをする場合は、メニューを終了してください。
- 4 変更したい項目を選ぶ
- 5 ログインIDまたはパスワードを入力する
  - 文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。
  - パスワードはスマートフォン/タブレットまたはパソコンで変更したものに入力してください。異なるパスワードを入力すると、画像をアップロードすることができなくなります。
  - 設定後はメニューを終了してください。



## LUMIX CLUB (PicMate)への登録 (続き)

**本機とスマートフォン/タブレットのログインIDを合わせる**

- 本機とスマートフォン/タブレットのログインIDを合わせておくと、本機の画像を他の機器やWebサービスに送信するときに便利です。

**本機またはスマートフォン/タブレットのどちらか一方がログインIDを取得している場合**

**1 本機とスマートフォン/タブレットを接続する (P215)****2 「Image App」のメニューからログインIDを合わせる**

- 本機とスマートフォン/タブレットのログインIDが同じログインIDになります。
- 本機とスマートフォン/タブレットの接続後、再生画面に切り換えたときにログインIDを合わせる画面が表示される場合があります。画面に従って操作してログインIDを合わせることもできます。
- [Wi-Fi Direct] で接続時は使用できません。

**本機とスマートフォン / タブレットがそれぞれ別のログインIDを取得している場合**

(スマートフォン/タブレットのログインIDに合わせる場合)

本機のログインIDとパスワードを、スマートフォン/タブレットで取得したログインIDとパスワードに変更する

(本機のログインIDに合わせる場合)

スマートフォン/タブレットのログインIDとパスワードを、本機で取得したログインIDとパスワードに変更する

**「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する**

利用規約が更新された場合などに内容を確認することができます。

**1 メニューを設定する**

**MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→[PicMate 設定]**

**2 [利用規約確認]を選ぶ**

- ネットワークに接続し、利用規約が表示されます。確認後はメニューを終了してください。

## LUMIX CLUB (PicMate)への登録 (続き)



## ログインIDの消去と「LUMIX CLUB (PicMate)」を退会する

本機を譲渡/廃棄などする場合に、本機のログインIDを消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会も行います。

### 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→[PicMate 設定]

### 2 [消去・退会]を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。

### 3 ログインID消去の確認画面で[はい]を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。

### 4 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で[はい]を選ぶ

- 退会をしない場合は、[いいえ]を選ぶとログインIDの消去のみが実行されます。  
実行後はメニューを終了してください。

### 5 [次へ]を選ぶ

- ログインIDの消去が実行され、退会完了のメッセージが表示されます。

[OK]を選んでください。

- 実行後はメニューを終了してください。

- ログインIDの変更などは、本機で取得したログインIDに対してのみ行えます。

## LUMIX CLUB (PicMate)への登録 (続き)



## 宅外 AV 機器を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、親戚や知人が所有しているAV機器に画像を送ることができます。

## 準備:

送信先のAV機器から「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録をして、発行されたアドレス番号(数字16桁)とアクセス番号(数字4桁)を確認しておく。(詳しくは、AV機器の説明書をお読みください)

## 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→[宅外AV機器設定]

## 2 [追加登録]を選ぶ

- 3 アドレス番号を入力する
- 4 アクセス番号を入力する
- 5 任意の名前を入力する

- 入力できる文字数は最大28文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。
- 設定後はメニューを終了してください。

- 文字の入力方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。

## 登録したAV機器の情報を変更または消去する

すでに登録しているAV機器の情報を変更または消去することができます。

## 1 メニューを設定する

MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→[宅外AV機器設定]

## 2 編集または消去したいAV機器を選ぶ

## 3 [編集]または[消去]を選ぶ

項目	設定内容
[編集]	すでに登録しているAV機器の情報を変更します。 「宅外 AV 機器を設定する」の手順 3 ~ 5を行う
[消去]	すでに登録しているAV機器の情報を消去します。 • 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

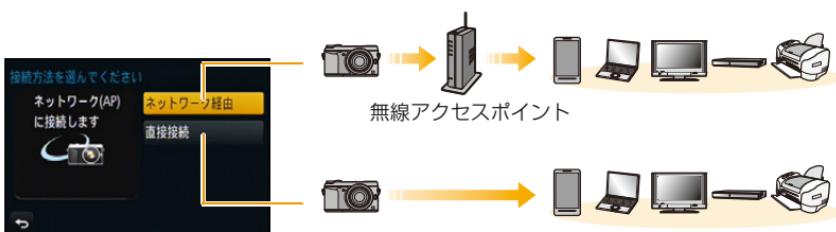
- 設定後はメニューを終了してください。

# 接続について

Wi-Fi 機能や送信先を選択後、接続する方法を選びます。

無線アクセスポイントが使えない外出先や、普段使わない機器と一時的に接続する場合などでは、直接接続を行うと便利です。

以前と同じ設定で接続する場合、[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]で接続すると、素早く Wi-Fi 機能が使えます。



接続方法	設定内容	
[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由して接続します。	P241
[直接接続]	お使いの機器が本機に直接接続します。	P243

## 接続について（続き）

## 自宅で接続する（ネットワーク経由）

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。



接続方法	設定内容
[WPS (プッシュボタン)]	<p>WPSマークがあり、プッシュボタン方式Wi-Fi Protected Setup™対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <p><b>無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。</li> </ul>
[WPS (PINコード)]	<p>WPSマークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>接続する無線アクセスポイントを選ぶ</b></li> <li><b>本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する</b></li> <li><b>[MENU/SET]ボタンを押す</b></li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。</li> </ul>
[手動接続]	<p>WPSに対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは <a href="#">242</a> ページをお読みください。</li> </ul>

## 接続について（続き）

**WPSに対応しているかわからない場合（[手動接続]で接続する）**

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力]で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

**1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ**

- [DISP.]ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力]で接続する場合」をお読みください。

**2 （ネットワーク認証が暗号化されている場合）暗号化キーを入力する**

- 文字の入力方法については、51ページの「文字を入力する」をお読みください。

**■ [マニュアル入力]で接続する場合**

- 「WPSに対応しているかわからない場合（[手動接続]で接続する）」の手順1の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ
- 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ
  - 文字の入力方法については、51ページの「文字を入力する」をお読みください。
- ネットワークの認証方式を選ぶ
  - ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。
- 暗号化方式を選ぶ
  - ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
[WPA2-PSK]/[WPA-PSK]	[TKIP]/[AES]
[共通キー]	[WEP]
[オープン]	[暗号化なし]/[WEP]

**5 ([暗号化なし]以外選択時) 暗号化キーを入力する**

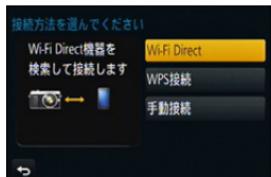
- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(P278)、「Q&A 故障かな？と思ったら」(P289)をご確認ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

## 接続について（続き）

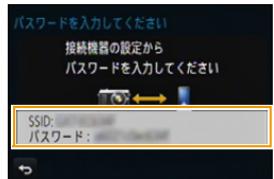
## 外出先で接続する（直接接続）

お使いの機器との接続方法を選択できます。

お使いの機器が対応している接続方法を選んでください。



接続方法	設定内容
[Wi-Fi Direct]	<p>1 機器を Wi-Fi Direct™ モードにする      2 [Wi-Fi Direct] を選ぶ      3 接続する機器を選ぶ      • 詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。</p>
[WPS 接続]	[WPS ( プッシュボタン )] <p>1 [WPS ( プッシュボタン )] を選ぶ      2 機器を WPS モードにする      • 本機の[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。</p>
	[WPS (PIN コード)] <p>1 [WPS (PIN コード)] を選ぶ      2 機器の PIN コードを本機に入力する</p>
[手動接続]	機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードを機器に入力する



## 接続について（続き）

## 以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する]/[お気に入りから接続する])

Wi-Fi機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。履歴やお気入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

- [Wi-Fi]ボタンを押す



- [履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]を選ぶ

項目	設定内容
[履歴から接続する]	以前と同じ設定で接続します。
[お気に入りから接続する]	お気に入りに登録された設定で接続します。

- 接続したい項目を選ぶ



## 履歴をお気に入り登録する

- [Wi-Fi]ボタンを押す
- [履歴から接続する]を選ぶ
- 登録したい項目を選び、▶ボタンを押す
- 登録名を入力する

- 文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

## 接続について（続き）



## お気に入り登録した項目を編集する

- 1 [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 [お気に入りから接続する] を選ぶ
- 3 編集したいお気に入り項目を選び、▶ ボタンを押す
- 4 項目を選ぶ

項目	設定内容
[お気に入りを消す]	—
[お気に入りの順番を変える]	移動先を選ぶ
[登録名を変える]	<p>● 文字入力の方法については、51 ページの「文字を入力する」をお読みください。</p> <p>● 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。</p>



## よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておく

履歴に保存される数には制限があります。よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておくことをお勧めします。（P244）



## 履歴やお気に入りの接続の詳細を確認する

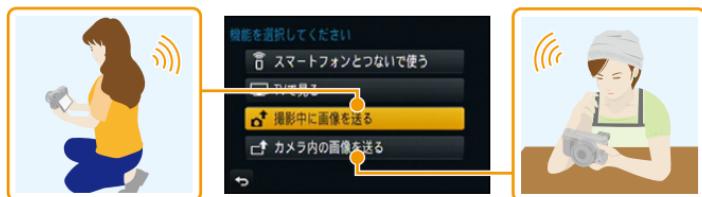
履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細を表示させることができます。

- [Wi-Fi 設定リセット] を行うと履歴とお気に入り登録にした内容は消去されます。
- 多くのパソコンが接続されているネットワークに、[履歴から接続する] や [お気に入りから接続する] で接続する場合、多くの機器の中から前回接続した機器を探すため接続されにくくなることがあります。接続できない場合は、[新規に接続する] で接続し直してください。

## 接続について（続き）

## 画像の送信設定について

画像を送信する場合、[新規に接続する]を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。接続が完了したあと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することもできます。



- 3G等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

## 撮影中に画像を送る

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で送れます。

- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。

- [撮影中に画像を送る]で接続中は、撮影画面に[]が表示され、ファイルを送信中は[]が表示されます。
- 送信完了前に電源スイッチを[OFF]にしたり、Wi-Fi接続を終了するなどした場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や再生メニューの使用はできない場合があります。



## ② こんなときは使えません

- 動画は送信できません。

## カメラ内の画像を送る

撮影後に画像を選んで送信できます。

- 再生メニューの[お気に入り]または[プリント設定]の設定内容は送信されません。

## ② こんなときは使えません

- 本機以外で撮影した画像は送信できない場合があります。
- パソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

## 接続について（続き）



## 画像の送信設定を変更する

接続が完了した後に[DISP.]ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。

項目	設定内容
[送信サイズ]	<p>送信する画像のサイズを変更します。  <b>[元画像]、[自動]※1、[変更]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● [自動] の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。</li> <li>● [変更]の画像サイズは[M]、[S]または[VGA]を選択できます。            画像の横縦比は変わりません。</li> </ul>
[送信ファイル形式]※2	[JPG]、[RAW+JPG]、[RAW]
[位置情報データ消去]※3	<p>送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。  <b>[ON]: 位置情報を消去して送信します。</b>  <b>[OFF]: 位置情報を消去せずに送信します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 位置情報が消去されるのは送信した画像のみです。(本機の画像から位置情報は消去されません)</li> </ul>
[クラウド上限枚数動作]※4	<p>クラウドフォルダの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。  <b>[ON]: 画像を送信しません。</b>  <b>[OFF]: 古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。</b></p>

※ 1 送信先が[Web サービス]の場合のみ設定できます。

※ 2 送信先が[PC]の場合のみ設定できます。

※ 3 [カメラ内の画像を送る]の送信先が[クラウド同期サービス]、[Web サービス]または[AV 機器]の[宅外 AV 機器]の場合のみ設定できます。

※ 4 送信先が[クラウド同期サービス]の場合のみ設定できます。

# Wi-Fi 設定メニュー



Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定を行います。

Wi-Fi接続中は設定の変更はできません。

## メニューを設定する

**MENU ボタン→[セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi 設定]→設定したい項目**

項目	設定内容
<b>PicMate 設定</b> 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインID の取得や変更を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、<a href="#">235</a>ページをお読みください。</li> </ul>
<b>PC接続設定</b> ワークグループを設定す ることができます。	<p>パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワー クグループに接続する必要があります。 (お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています)</p> <p><b>[変更する]:</b> 接続するパソコンのワークグループを入力してください。 設定後はメニューを終了してください。</p> <p><b>[標準に戻す]:</b> お買い上げ時の状態に戻します。 確認画面が表示されます。[はい]を選択すると実行さ れます。実行後はメニューを終了してください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字入力の方法については、<a href="#">51</a> ページの「文字を入力する」をお読みください。</li> <li>パソコンを標準の設定でお使いの場合は、ワークグループを変更す る必要はありません。</li> </ul>
<b>機器名称</b> 本機の名前を変更す ることができます。	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>[DISP.] ボタンを押す</b></li> <li><b>任意の機器名称を入力する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字入力の方法については、<a href="#">51</a> ページの「文字を入力する」をお読みください。</li> <li>入力できる文字数は最大32文字です。</li> </ul> </li> </ol>
<b>宅外AV 機器設定</b> 「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、 親戚や知人が所有してい るAV機器に画像を送る ことができます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、<a href="#">239</a>ページをお読みください。</li> </ul>

## Wi-Fi 設定メニュー (続き)



項目	設定内容
<b>NFC動作</b> NFC機能の設定をします。	[ON]: NFC 機能が働きます。 [OFF]
<b>タッチシェアリング</b> NFC機能で接続したときの動作を設定します。	[ON]: 1枚再生時に NFC機能を使って Wi-Fi 接続すると、画像(1枚)を転送できます。 [OFF]
<b>Wi-Fi パスワード</b> 誤操作や第三者による Wi-Fi機能の使用を防いだり、設定した個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護することをお勧めします。	<p>パスワードを設定しておくと、Wi-Fi機能使用時、自動的にパスワード入力画面が表示されるようになります。</p> <p>[設定]: 数字4桁で任意のパスワードを入力してください。 設定後はメニューを終了してください。</p> <p>[解除]: 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。 実行後はメニューを終了してください。</p> <p>.....</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字入力の方法については、<a href="#">51 ページの「文字を入力する」</a>をお読みください。</li> <li>パスワードは必ず控えを取っておいてください。忘れてしまった場合、セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット]を行うとパスワードをリセットできますが、その他の設定もすべてリセットされます。（[PicMate 設定]は除く）</li> </ul>
<b>ネットワークアドレス表示</b> 本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「MACアドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。</li> <li>「IPアドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。（例：192.168.0.87）</li> </ul>
<b>認証情報</b> 電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。	—

# 他の機器との接続

## 3D写真を楽しむ



### 3D写真を撮る

本機に3D交換レンズ(別売:H-FT012)を取り付けると、迫力ある3D写真を撮影することができます。3D写真を見るには3D対応テレビが必要です。

#### 1 本機に3D交換レンズを取り付ける

#### 2 被写体に画面を合わせ、シャッターボタンを全押しして撮影する

- 3D撮影時は、ピントを合わせる操作は不要です。
- 3D交換レンズを装着して撮影した写真是MPO形式(3D)で保存されます。

**3Dの写真を安全に見るために、撮影時には以下の点にお気をつけください。**

- できるだけ本機を水平にして撮影してください。
- 被写体に近づきすぎないでください。[3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時は、被写体から0.6 m以上離れて撮影してください]
- 乗車中や歩行中などは手ブレにお気をつけください。



- 安定した写真を撮影するために、三脚やフラッシュの使用をお勧めします。

- 3D写真的記録可能枚数は、2 GBのカードを使用の場合、約490枚です。(画像横縦比[4:3]、クオリティ[]に設定時)
- 3D交換レンズの取扱説明書もお読みください。

#### こんなときは使えません

- 3D写真的縦撮影には対応していません。
- 被写体までの距離が0.6 m～約1 mでは、左右の視差が大きくなり、画面の両端では立体効果が得られない場合があります。

続く

## 3D写真を楽しむ（続き）

### ■ 3D撮影時の制限事項

3D交換レンズ（別売：H-FT012）を使っての撮影時には、以下の機能が使えません。

#### （撮影機能）

- オートフォーカス／マニュアルフォーカス操作
- 絞り値設定
- ズーム操作
- 動画撮影<sup>※1</sup>
- シーンガイドモードの「水面をキラキラ撮る」/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[パノラマで撮る]
- クリエイティブコントロールモードの「ラフモノクローム」/[インプレッシブアート]/[ハイダイナミック]/[トイフォト]/[トイポップ]/[クロスフィルター]/[ワンポイントカラー]/[サンシャイン]
- ボケ味コントロール機能

※1 動画ボタン、クリエイティブ動画モード、動画撮影メニューは無効または使用できなくなります。

#### （撮影メニュー）

- [記録画素数]<sup>※2</sup>/[クオリティ]<sup>※3</sup>/[HDR]/[iDレンジコントロール]/[パノラマ設定]/[デジタル赤目補正]/[超解像]/[シェーディング補正]/[EXテレコン(写真)]/[デジタルズーム]/[連写速度]の[SH]/[手ブレ補正]<sup>※4</sup>/[多重露出]

※2 以下のように固定されます。

画像横縦比	記録画素数
[4:3]	1824×1368画素
[3:2]	1824×1216画素
[16:9]	1824×1024画素
[1:1]	1712×1712 画素

※3 3D交換レンズ装着時は、以下のアイコンが表示されます。

[+] (3D+ ファイン)： MPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。

[+] (3D+ スタンダード)： MPO画像とスタンダード相当のJPEG画像を同時に記録します。

※4 本体での手ブレ補正が働きます。

#### （カスタムメニュー）

- [AF/AEロック切換]/[クリックAF]/[アイセンサーAF]/[ダイレクトフォーカス移動]/[フォーカス/レリーズ優先]/[シャッター半押しAF]/[ピンポイントAF時間]/[AF補助光]/[AF+MF]/[MFアシスト]/[MFガイド]/[パワーズームレンズ]/[動画ボタン]/[記録枠表示]/[残枚数/残時間切換]/[タッチ設定]の[タッチAF]、[タッチパッドAF]

## 3D写真を楽しむ（続き）



## 3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。

3D対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した3D写真を再生することもできます。

準備：[HDMI出力解像度]（P47）を[AUTO]、[1080p]または[1080i]に設定する。  
[3Dテレビ出力]（P48）を[3D]に設定する。

HDMIミニケーブルで本機と3D対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する（P253）

- [ビエラリンク]（P47）を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り替わり、再生画面が表示されます。詳しくは、254ページをお読みください。
- 3D記録された写真には、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。

## ■ 3D記録した写真のみを選んで3D再生する

再生メニューの[再生モード]で[3D]を選んでください。（P192）

## ■ 3D記録した写真のみをスライドショーで3D再生する

再生メニューの[スライドショー]で[3D]を選んでください。（P190）

## ■ 3D記録した写真の再生方法を切り換える

1 3D記録した写真を選ぶ

2 再生メニューから[2D/3D切換]を選ぶ（P36）

- 2D（従来の画像）で再生されている場合は3Dに、3Dで再生されている場合は2Dに再生方法が切り替わります。
- 3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。

## ■ 3D写真では動かない/使用できない機能

- カスタムメニューの[ハイライト表示]※
- 再生ズーム※
- 再生メニューの編集機能([位置情報記録]※/[クリアレタッチ]/[タイトル入力]/[文字焼き込み]/[動画分割]/[インター/パル動画作成]※/[コマ撮りアニメ作成]※/[リサイズ(縮小)]/[トリミング(切抜き)]/[画像回転]/[お気に入り]※/[プリント設定]※/[プロテクト]※/[認証情報編集]）

※ 2Dとして表示する場合は使用できます。

- 3Dで撮影した写真を本機で再生した場合、2D（従来の画像）で再生されます。
- 3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
- 3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- 3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
- テレビが3D写真に切り替わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。  
(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)
- 3D写真是、パソコンや当社製機器に保存することができます。（P256, 261）

# テレビで見る

本機で撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

準備: 本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

- お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。



## 1 本機とテレビをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差してください。(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)

### HDMIミニケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製HDMIミニケーブル(別売)をお使いください。  
- 品番: RP-CHEM15A(1.5 m)、RP-CHEM20A(2.0 m)、RP-CHEM30A(3.0 m)
- [HDMI出力解像度] (P47) を確認してください。
- 24p動画を再生時は[HDMI出力解像度]を[AUTO]に設定してください。[AUTO]以外に設定していると、24コマ/秒では出力できません。
- 音声はステレオで再生されます。
- 本機の画面に画像は表示されません。

### AVケーブル(別売)で接続する場合



- 当社製 AVケーブル(別売)をお使いください。  
- 品番: DMW-AVC1
- [TV画面タイプ] (P47) を確認してください。
- 音声はモノラルで再生されます。
- AVケーブル接続時はファインダー表示はできません。

続く

## テレビで見る（続き）



## 2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

## 3 本機の電源を入れ、[□]ボタンを押す

- [ビエラリンク](P47)を[ON]に設定して、HDMIミニケーブルでビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り替わり、再生画面が表示されます。(P254)

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- AVケーブル(別売)とHDMIミニケーブル(別売)を同時に接続しているときは、HDMIミニケーブル(別売)からの出力が優先されます。
- USB接続ケーブル(付属)とHDMIミニケーブル(別売)を同時に接続しているときは、USB接続ケーブル(付属)での接続が優先されます。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけすることがあります。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- 本機のスピーカーからは音声は出ません。
- テレビの説明書もお読みください。



## SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

## ビエラリンク(HDMI)を使う

## ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

- 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したもので、他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.5に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

続く

## テレビで見る（続き）

準備：[ビエラリンク]（P47）を[ON]に設定する。

- 1 HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）をつなぐ（P253）**
- 2 本機の電源を入れ、[□]ボタンを押す**
- 3 テレビのリモコンで操作する**

●画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをお勧めします。
- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。

### ■ その他の連動操作について

#### 電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

#### 自動入力切換

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[□]ボタンを押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り替えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、300ページをご確認ください。
- お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、テレビの取扱説明書をお読みください。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  - 品番：RP-CHEM15A（1.5 m）、RP-CHEM20A（2.0 m）、RP-CHEM30A（3.0 m）
- ビエラリンク動作時、本機の[HDMI出力解像度]は自動的に判別されます。

# 写真や動画をパソコンに残す



本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。  
[http://panasonic.jp/support/sd\\_w/](http://panasonic.jp/support/sd_w/)

## ■ 使用できるパソコン

マスストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windowsの場合: Windows XP/Vista/7/8
- Macの場合: OS X v10.1~v10.8



AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windowsの場合、AVCHD動画は必ずCD-ROM(付属)の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
- Macの場合、AVCHD動画は「iMovie' 11」を使って取り込むことができます。  
ただし、画質設定が[AVCHD]の[FHD/60p]の動画(AVCHD Progressive)は、取り込みできません。  
(iMovie' 11の詳細は、Appleにお問い合わせください)

## 写真や動画をパソコンに残す（続き）

**付属のソフトウェアを使う**

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。  
パソコンにインストールしてお使いください。

**PHOTOfunSTUDIO 9.2 PE (Windows XP/Vista/7/8)**

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVDへの画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

**SILKYPIX Developer Studio**

(Windows XP/Vista/7/8、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7/v10.8)

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFFなど）で保存できます。

**SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト**

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/>  
をご覧ください。

**LoiLoScope -30日間フル体験版(Windows XP/Vista/7/8)**

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

**LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。**

**使い方 Web サイト:** <http://loilo.tv/product/20>

→ 続く

## 写真や動画をパソコンに残す（続き）

## ■ ソフトウェアをインストールする

- CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

## 1 お使いのパソコンの環境を確認する

- 「PHOTOfunSTUDIO 9.2 PE」の動作環境

対応OS	Windows® XP(32 bit) SP3 Windows Vista®(32 bit) SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit) および SP1 Windows® 8(32 bit/64 bit)	
CPU	Windows® XP	Pentium® III 500 MHz以上
	Windows Vista®	Pentium® III 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® III 1 GHz以上
	Windows® 8	
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows® XP	512 MB以上
	Windows Vista®	
	Windows® 7	1 GB以上(32 bit)
	Windows® 8	2 GB以上(64 bit)
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

- 「SILKYPIX Developer Studio 3.1 SE」の動作環境は、[257](#) ページのサポートサイトをお読みください。

## 2 CD-ROMを入れる

- インストールメニューが起動します。

## 3 [アプリケーション]をクリックする

## 4 [おまかせインストール]をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

- お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
- Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。

- ① CD-ROMを入れる
- ② CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
- ③ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
- ④ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

## ⑧ こんなときは使えません

- 「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」はMacでは使えません。

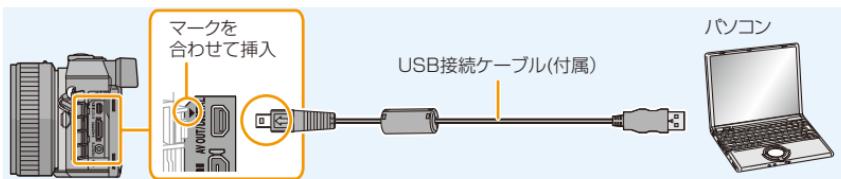
## 写真や動画をパソコンに残す（続き）

## ■ パソコンに画像を取り込む

準備：お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。

## 1 USB接続ケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ

- ・本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- ・端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。  
(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)
- ・付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売：DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



## 2 ▲/▼ボタンで[PC]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- ・セットアップメニューで[USBモード](P46)を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。
- ・[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。メッセージを閉じ、安全にUSB接続ケーブルを取り外し、[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

## 3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- ・コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

- ・十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売：DMW-AC8)(P270)を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。  
USB接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・ACアダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- ・カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

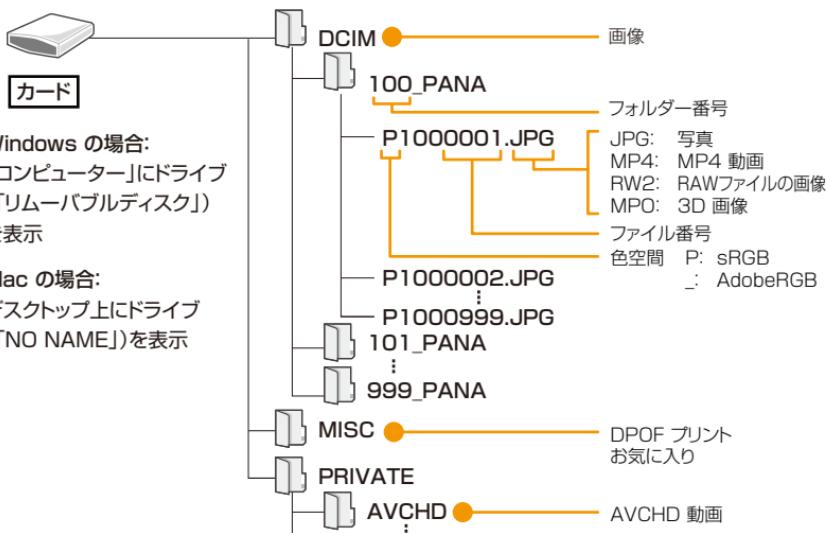
続く

## 写真や動画をパソコンに残す（続き）

## ■ 「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。

- ・本機のカードの中（フォルダー構造）は以下のようになります。



- ・AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります。CD-ROM(付属)の「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込むことをお勧めします。  
詳しくは、[256](#)ページをお読みください。
- ・以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
  - セットアップメニューの[番号リセット] ([P49](#)) 実行後
  - 同じフォルダーパン号のあるカードを挿入した場合(他社のカメラで撮影した場合など)
  - フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

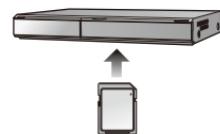
## ■ PTPモードで接続する

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。

- ・カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- ・PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- ・PTPモードで、動画は再生できません。

# 写真や動画をレコーダーに残す

当社製レコーダーに本機で記録したカードを入れるとブルーレイディスクやDVDなどにダビングすることができます。本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、RAW、MPO、AVCHD、MP4)によって他の機器への取り込み方法が異なります。

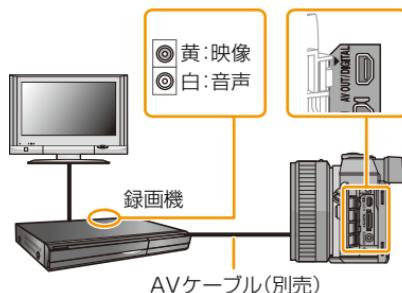


- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

## ■ 対応機器以外にダビングする

本機をAVケーブル(別売)で対応機器以外のレコーダーやビデオなどの録画機につなぎ、本機で再生した映像をダビングします。対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

- 1 本機と録画機をAVケーブル(別売)で接続する
  - 2 本機で再生を始める
  - 3 録画機で録画を始める
- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。



- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P47)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

# プリントする



PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機のモニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

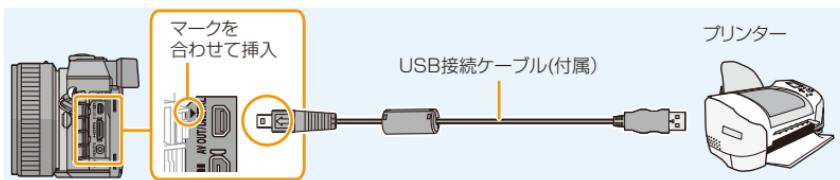
- グループ画像は一覧で表示されます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。  
詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。

あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

## 1 USB接続ケーブル(付属)で本機とプリンターをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。  
(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります)
- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使用しないでください。



## 2 ▲/▼ボタンで[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC8) (P270)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
- [ ] (ケーブル切断禁止アイコン) 表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。  
(プリンターによって表示されない場合があります)
- ACアダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。

### こんなときは使えません

- 動画はプリントできません。

## プリントする（続き）



## 画像を選んで1枚ずつプリントする

- 1 ◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- 2 ▲ボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
  - プリント開始前に設定できる項目については264ページをお読みください。
  - プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。



## 複数の画像を選んでプリントする

- 1 ▲ボタンを押す
- 2 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す。 (もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます)</li> <li>• 選択が終了したら◀ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押してください。</li> </ul>
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定 (DPOF)	[プリント設定]で設定(P206)された画像のみをプリントします。
お気に入り	[お気に入り]設定(P205)された画像のみをプリントします。

- 3 ▲ボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
  - プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。
  - プリント開始前に設定できる項目については264ページをお読みください。
  - プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

## プリントする（続き）



## プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定(DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

## ■ 日付プリント

項目	設定内容
ON	日付プリントされます。
OFF	日付プリントされません。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。
- 使用するプリンターによっては、画像横縦比を[1:1]に設定して撮影した画像の日付が、縦方向にプリントされる場合があります。

## ■ プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

- 後ダイヤルでも設定できます。

## ■ 用紙サイズ

項目	設定内容
	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5"×5"	89 mm×127 mm
2L/5"×7"	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4"×6"	101.6 mm×152.4 mm
8"×10"	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

## ■ レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
	プリンターの設定が優先されます。
	1面縁なし印刷
	1面縁あり印刷

項目	設定内容
	2面印刷
	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

続く

## プリントする（続き）

### ■ レイアウト印刷について

#### 1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4×4]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

#### 1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4×4]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAWファイルをプリントする場合、本機で同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像がない場合はプリントできません。

### 画像に日付を入れるには

#### 画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされてしまうので日付プリントを指定しないでください。

#### 日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に▶ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。(P206)

#### お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証]または[プロフィール設定]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

#### 自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※ 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

# その他・Q&A

## 別売品のご紹介



品名	品番
バッテリーパック	DMW-BLG10
バッテリーチャージャー※1	DMW-BTC9
ACアダプター※2	DMW-AC8
DCカプラーアダプター	DMW-DCC11
フラッシュライト	DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL360L、DMW-FL500
シャッターリモコン	DMW-RSL1
アイカップ	DMW-EC1
MCプロテクター	DMW-LMC46 ※3
NDフィルター	DMW-LND46 ※3
PLフィルター(サーキュラータイプ)	DMW-LPL46 ※3
レンズキャップ	DMW-LFC46 ※3
レンズリアキャップ	DMW-LRC1
ボディキャップ	DMW-BDC1
三脚アダプター※4	DMW-TA1
ソフトバッグ	DMW-BAG1、DMW-BAG2、DMW-BALA1、DMW-CZ18
本革バッグ	DMW-BAL1
ソフトケース	DMW-CG1、DMW-CG2、DMW-CG4、DMW-CG5
本革ボディケース	DMW-CGBX7
ショルダーストラップ	DMW-SSTL1、DMW-SSTG1、DMW-SSTG2、DMW-SSTG3、DMW-SSTG5
ロングショルダーストラップ※5	DMW-SSTG6、DMW-SSTG7、DMW-SSTG8、DMW-STLA1

※1 海外用変換プラグ(Cタイプ)付き(P271)

※2 DCカプラーアダプターとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

※3 交換レンズ(H-H020A)装着時

※4 取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。

※5 斜め掛けに適したロングタイプのショルダーストラップです。

続く

## 別売品のご紹介（続き）

品名	品番
USB接続ケーブル	DMW-USBC1
AV ケーブル	DMW-AVC1
HDMIミニケーブル	RP-CHEM15A, RP-CHEM20A, RP-CHEM30A
交換レンズ	·H-PS45175 ·H-PS14042 ·H-VS014140 ·H-FS14140 ·H-HS35100 ·H-HS12035 ·H-FS45150 ·H-FS100300 ·H-FS045200 ·H-FS1442A ·H-FS014045 ·H-F007014 ·H-F008 ·H-ES045 ·H-X025 ·H-H020A ·H-H020 ·H-H014
3D交換レンズ	H-FT012
マウントアダプター	DMW-MA1(フォーサーズマウント用)
ライカレンズ用マウントアダプター	DMW-MA2M(ライカMマウント用) DMW-MA3R(ライカRマウント用)

●別売品の最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。

記載の品番は2013年8月現在のものです。変更されることがあります。



別売品は販売店でお買い求めいただけます。  
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買  
い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

携帯電話からもお買い求めいただけます。

<http://p-mp.jp/cpm/>

## 別売品のご紹介（続き）



## 外部フラッシュ(別売)

フラッシュライト(別売: DMW-FL360L、DMW-FL220、DMW-FL360、DMW-FL500)を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

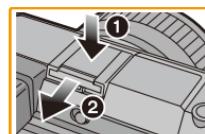
準備: 本機の電源スイッチを[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じてください。

## ホットシューかバーを取り外す

お買い上げ時、ホットシューにはホットシューかバーが取り付けられています。

## ホットシューかバーを矢印①の方向に押しながら、矢印②の方向に引いて取り外す

- ご使用にならないときは、必ずホットシューかバーを取り付けてください。
- ホットシューかバーの紛失にお気をつけください。



## ■ 専用フラッシュライト(別売: DMW-FL360L)を使う場合

- 1 ホットシューに専用フラッシュライトを取り付け、本機と専用フラッシュライトの電源を入れる
- 2 メニューを設定する

**MENU** ボタン→[撮影]→[フラッシュ設定]

- 3 ▲/▼ボタンで[フラッシュモード]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- 4 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
  - 外部フラッシュ接続中は以下のアイコンが表示されます。
    - ◆: 外部フラッシュ強制発光
    - ◆S: 外部フラッシュスローシンクロ
    - ◆: 外部フラッシュ発光禁止
      - ワイヤレスフラッシュとの通信発光もできません。



## 本体(DMC-GX7)との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることのできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。(シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。)

続く

## 別売品のご紹介（続き）

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 専用フラッシュライト以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源スイッチが[OFF]でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をお勧めします。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを[]に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。（P112）
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- ワイヤレスフラッシュの設定については 178 ページをお読みください。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

## シャッターリモコン（別売）

シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）を使用すると、三脚使用時に手ブレを防いだり、B（バルブ）撮影時や連写時にシャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。



- 動画撮影に使用する場合は、クリエイティブ動画モード（P102）に設定してください。シャッターリモコンで動画撮影開始／終了をすることができます。
- 詳しくは、シャッターリモコンの説明書をお読みください。

**こんなときは使えません**

- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
  - スリープモードを解除するとき

## 別売品のご紹介（続き）



## ACアダプター(別売)/DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売:DMW-AC8)を接続し、電源コンセントにつなぐと、本機をパソコンやプリンターに接続するときに、バッテリーの消耗を気にせず使うことができます。ACアダプターを使用するには、DC カプラー(別売:DMW-DCC11)が必要です。

- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

## フィルター(別売)

MC プロテクターは、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。

ND フィルターは、色調に変化を与えずに、光量だけを 1/8(3 級り分)に減少させることができます。

PL フィルターは、金属や球面以外(平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など)からの反射光を抑え、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを付けたまま、レンズキャップやレンズフードを取り付けることができます。
- DMC-GX7C に同梱の交換レンズ(H-H020A)に、PL フィルター(別売:DMW-LPL46)の取り付け、取り外しが困難な場合は、デジタルカメラの電源を入れ、フォーカスマードを [MF] に設定した状態で行うことをお勧めします。
- 詳しくは、各種フィルターの説明書をお読みください。

# 海外旅行先で使う



チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V~240 V)、電源周波数(50 Hz, 60 Hz)でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。  
変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、チャージャーと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

## ■ 変換プラグの付け方



## ■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ 合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A		
ヨーロッパ							
イギリス	BF.B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2).SE	オランダ	C(C2).SE
スウェーデン	B,C(C2). SE	スペイン	A,C(C2). SE	デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2). SE
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2). SE	ベルギー	B,C(C2). SE	ロシア	A,C(C2). SE
アジア							
インド	B,BF.B3. C(C2)	インドネシア	B.B3. C(C2).SE	シンガポール	B,BF.B3	タイ	A,BF. C(C2)
中華人民 共和国	すべて	フィリピン	A.O	ベトナム	A,BF. C(C2).SE	香港特別 行政区	B,BF.B3. C(C2)
オセアニア							
オースト ラリア	O	Guam島	A	サイパン島	A	トンガ	O
中南米							
アルゼンチン	B,F,C(C2). SE	ペルトリコ	A,BF. C(C2)	ブラジル	A,C(C2). SE	メキシコ	A,C(C2). SE
中東・アフリカ							
アラブ首長国 連邦	B,BF.B3	エジプト	BF.B3. C(C2).SE	ケュエート	B.B3. C(C2)	トルコ	A,B. C(C2).SE
南アフリカ 共和国							
モロッコ							
A O							
タイプ	A アメリカンタイプ	B U.K. タイプ	BF B3	C(C2) ヨーロピアンタイプ	SE オーストラリアン タイプ		
コンセント 形状	(○)	(○)	(□)	(○)	(○)	(○)	(○)
プラグ 形状	不要です						



### 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

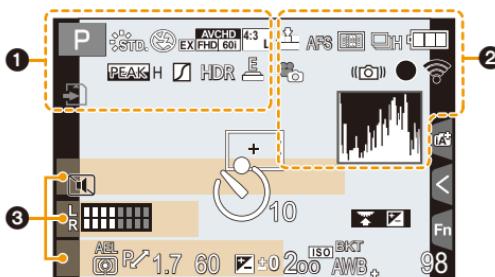
セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

# モニター/ファインダーの表示



モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。  
●画面はモニターで表示画面を [LCD] (モニタースタイル)に設定時の例です。

## ■ 撮影時



①

	撮影モード (P58)
	C 1 カスタムセット (P104)
	フォトスタイル (P107)
	クリエイティブコントロール 調整表示 (P92)
	フラッシュモード (P174)
	フラッシュ設定 (P176, 178)
	EXテレコン(動画時) (P167)
	記録方式/画質設定 (P181)
	記録画素数/画像横縦比 (P114)
	EXテレコン(写真時) (P167)
	カード(記録時の表示) (P32)
	記録経過時間※1 (P183)
	同時記録表示 (P185)
	ピーキング (P131)
	ハイライトシャドウ (P109)
	HDR (P117)
	多重露出 (P138)
	デジタルズーム (P170)
	電子シャッター (P156)
	温度上昇表示 (P279, 289)

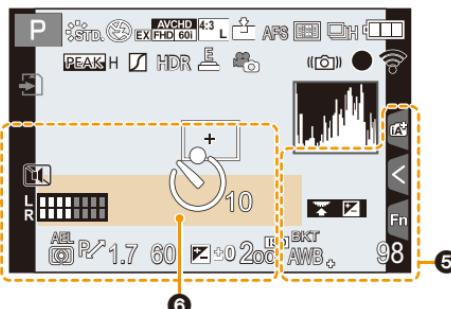
②

	RAW クオリティ (P115)
	AFS AFF AFC フォーカスモード (P121)
	オートフォーカスマード (P120)
	個人認証 (P157)
	AFロック (P134)
	連写 (P144)
	オートブラケット (P146)
	セルフタイマー (P148)
	バッテリー残量 (P28)
	写真撮影 (写真優先) (P185)
	手ブレ補正 (P161)
	手ブレ警告 (P161)
	記録動作 (赤点滅) / フォーカス (緑点灯) (P55)
	フォーカス (低照度時) (P55)
	Wi-Fi 接続状態
	インターバル撮影 (P150)
	ヒストグラム表示 (P61)

③

	名前※2 (P160)
	トラベル経過日数※3 (P44)
	月齢/年齢※2 (P160)
	旅行先※3 (P44)
	現在日時 / 旅行先設定※3:  (P43)

## モニター/ファインダーの表示（続き）



④

	AFエリア(P55、124)
+	スポット測光ターゲット(P137)
	セルフタイマー※4(P148)
	マイクレベル表示(P187)
	シャッタースピード(P155)
AEL	AEロック(P134)
	測光モード(P137)
P/	プログラムシフト(P74)
1.7	絞り値(P55)
60	シャッタースピード(P55)
	露出補正值(P135)
	明るさ(P72)
	マニュアル露出アシスト(P77)
	ISO感度(P141)

⑤

	ダイヤル操作ガイド(P21)
BKT	ホワイトバランスブラケット(P113)
AWB+	ホワイトバランス微調整(P112)
	ホワイトバランス(P110)
	色合い(P72)
98	記録可能枚数※5(P33)
残XXmXXs	記録可能時間※1.5(P33)
	タッチタブ※6(P20)
	タッチタブ※6(P20, 42)
	タッチタブ※6(P20, 72)
	タッチタブ※6(P20, 93)
	タッチタブ※6(P20, 90)
	タッチタブ※6(P20, 103)

⑥

露出メーター(P73)
焦点距離表示(P169)
ステップズーム(P169)

※1 hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

※2 [プロフィール設定]を設定時、電源を入れた場合に約5秒間表示されます。

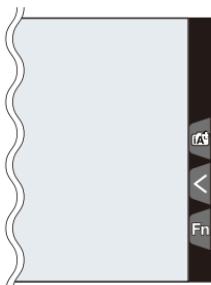
※3 電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

※4 カウントダウン中に表示されます。

※5 カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

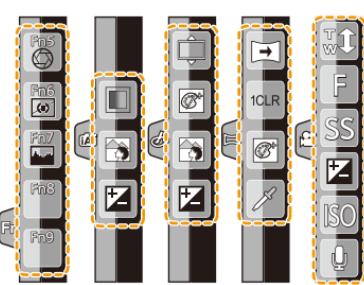
※6 モニターにのみ表示されます。

## モニター/ファインダーの表示 (続き)



● モニターにのみ表示されます。

	タッチズーム(P171)
	タッチシャッター(P56)
	タッチ AE(P139)
	ピーキング(P131)
	Fn5(ファンクションボタン)(P42)
	Fn6(ファンクションボタン)(P42)
	Fn7(ファンクションボタン)(P42)
	Fn8(ファンクションボタン)(P42)
	Fn9(ファンクションボタン)(P42)
	色合い(P72)
	ボケ味コントロール(P71、93)
	明るさ(P72、93)
	ぼかし方(ジオラマ)(P98)



	ワンポイントカラー(P100)
	光源の位置(P101)
	クリエイティブコントロール調整(P93)
	パノラマ撮影方向(P89)
	画像効果(フィルター)選択(P90)
	絞り値(P55)
	シャッタースピード(P55)
	ISO感度(P141)
	マイクレベル設定(P187)

## モニター/ファインダーの表示 (続き)

## モニター撮影情報画面

**①** 撮影モード (P58) P F1.7 1/60

**②** ISO 200 ±0 ±0 Wi-Fi Fn

**③** AFS 4:3 STD AWB iOFF [ 98 ]

**④** バッテリー残量 (P28)

**⑤** 単写 (P55) BKT 3:1:3 オートブラケット (P146)

**⑥** 連写 (P144) セルフタイマー (P148)

**⑦** フォーカスモード (P121, 129) オートフォーカスマード (P120)

**⑧** クオリティ (P115) 記録画素数/画像横縦比 (P114)

**⑨** Wi-Fi ファンクションボタン設定 (P41)

**⑩** フォトスタイル (P107) ホワイトバランス (P110)

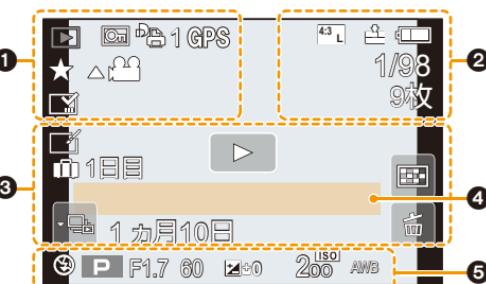
**⑪** iDレンジコントロール (P116) 測光モード (P137)

**⑫** 記録可能枚数※ (P33) 98

※ カスタムメニューの[残枚数/残時間切換]の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。

## モニター/ファインダーの表示 (続き)

## ■ 再生時



①

	再生モード(P192)
	プロテクト(P208)
	プリント枚数(P206)
	位置情報(P194)
	お気に入り表示(P205)
	ケーブル切断禁止アイコン(P262)
	動画再生(P65)
	パノラマ再生(P91)
	連写グループ連続再生(P189)
	インターバル撮影グループ連続再生(P189)
	コマ撮りグループ連続再生(P189)
	文字焼き込み済み表示(P197)
XXhXXmXXs	再生経過時間 <sup>※1</sup> (P65)

③

	クリアレタッチ済み表示(P195)
	情報取得中アイコン(P279)
	再生(動画)(P65)
	トラベル経過日数(P44)
	連写グループ表示(P189)
	インターバル撮影グループ表示(P189)
	コマ撮りグループ表示(P189)
	サイレントモード(P155)
1カ月10日	月齢/年齢(P160)
	マルチ再生(P188)
	消去(P67)

④

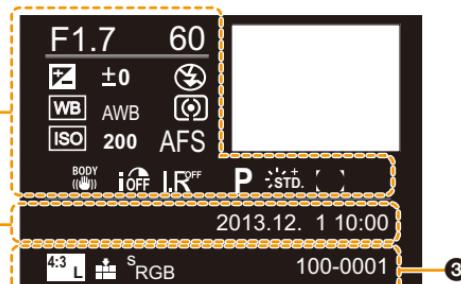
名前 <sup>※2</sup> (P159、160)
旅行先 <sup>※2</sup> (P44)
タイトル <sup>※2</sup> (P196)

⑤

撮影情報 <sup>※3</sup>
--------------------

## モニター/ファインダーの表示 (続き)

## 詳細情報表示



①

## 撮影情報

- iOFF iDレンジコントロール※3 (P116)
- HDR ON HDR ※4 (P117)
- L.R OFF 超解像 (P116)
- [ ] シェーディング補正※4 (P118)

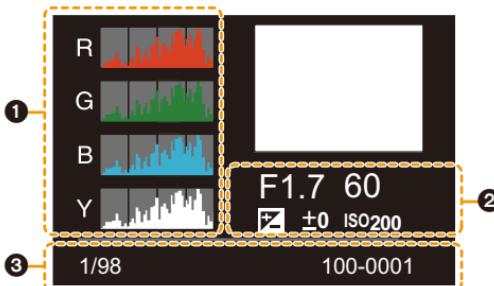
②

## 撮影日時/ワールドタイム (P43)

③

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| 4:3     | 記録画素数/画像横縦比 (P114)    |
| RAW     | クオリティ (P115)          |
| sRGB    | 色空間※4 (P119)          |
| 100-001 | フォルダー・ファイル番号※3 (P260) |

## ヒストグラム表示



①

## ヒストグラム (P66)

②

## 撮影情報※3

③

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| 1/98    | 画像番号/トータル枚数           |
| 100-001 | フォルダー・ファイル番号※3 (P260) |

※1 h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。

※2 [タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。

※3 [AVCHD]で撮影した動画には表示されません。

※4 撮影した動画には表示されません。

# メッセージ表示



確認/エラー内容を画面に文章で表示します。

ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	原因・対策
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから( <a href="#">P208</a> )消去をしてください。
消去できない画像があります/ この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット( <a href="#">P50</a> )してください。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]などができません。
メモリーカードエラー/ フォーマットしますか？	本機では使用できないフォーマットです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>別のカードを入れてお試しください。</li> <li>パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(<a href="#">P50</a>)し直してください。 データは消去されます。</li> </ul>
レンズが確認できません。 またはカスタムメニューの レンズ無しレリーズが オフになっています。	•ライカレンズ用マウントアダプター(別売:DMW-MA2M、 DMW-MA3R)使用時は、カスタムメニューの[レンズ無し レリーズ] ( <a href="#">P25</a> )を[ON]に設定してください。
レンズが正しく装着されていません。 レンズ装着時はレンズ取り外し ボタンを押さないでください。	•レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに再度 付け直してください。( <a href="#">P24</a> ) 再度電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販 売店にご連絡ください。
レンズと通信できませんでした。 レンズとの接点が汚れていない かご確認ください。	•レンズを本体から取り外し、レンズ側と本体側の接点を乾 いた綿棒で軽くふいてください。再度レンズを取り付け、電 源を入れ直し、それでも表示される場合はお買い上げの販 売店にご連絡ください。
レンズが正しく動作しませんでした。 電源を入れ直してください。	•レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に 表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表 示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー/ カードのパラメータが異常です/ このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。( <a href="#">P32</a> ) <ul style="list-style-type: none"> <li>SDメモリーカード(8 MB～2 GB)</li> <li>SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)</li> <li>SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)</li> </ul>
カードを入れ直してください/ 別のカードでお試しください	•カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入 れ直してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、 必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。</li> <li>別のカードを入れてお試しください。</li> </ul>

## メッセージ表示（続き）



メッセージ	原因・対策
リードエラー／ライトエラー／カードを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。</li> <li>カードが破壊されている可能性があります。</li> <li>別のカードを入れてお試しください。</li> </ul>
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(<a href="#">P50</a>)してください。</li> <li>別のカードを入れてお試しください。</li> </ul>
カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。</li> <li>「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(<a href="#">P50</a>)することをお勧めします。</li> <li>カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。</li> </ul>
フォルダーを作成できません	<p>使用できるフォルダーパン号がなくなったため、フォルダーを作成できません。</p> <p>パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(<a href="#">P50</a>)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダーパン号が100にリセットされます。<a href="#">(P49)</a></p>
温度上昇のため撮影を停止しました。 カメラの温度が下がるまでお待ちください。/ カメラの温度が下がるまでお待ちください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の温度が高いときや連続して撮影をしたときなど、撮影中に本機の温度が上昇すると、[▲]が点滅します。</li> <li>[▲]が点滅したあと、メッセージが表示されると、本機を保護するために電源が自動的に切れます。電源が切れた場合、本機の温度が下がるまで撮影はできません。</li> </ul>
16:9TV用で出力します/ 4:3TV用で出力します	<ul style="list-style-type: none"> <li>[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。<a href="#">(P47)</a></li> <li>USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。</li> <li>USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。<a href="#">(P259, 262)</a></li> </ul>
情報取得中のため、編集操作はできません	<p>画像ファイルが多いときに再生画面にすると、情報取得中アイコン[■■■]、[■■■]が長時間表示されることがあります。その間消去や再生メニューの使用はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報取得中に電源スイッチを[OFF]にした場合、それまでに情報を取得できた画像のみがグループとして保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。</li> </ul>

## メッセージ表示（続き）

メッセージ	原因・対策
このバッテリーは使えません	<ul style="list-style-type: none"> <li>パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。</li> <li>バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。</li> </ul>
アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。           <ul style="list-style-type: none"> <li>本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。（P242）</li> <li>無線アクセスポイントの電源が入っていません。</li> <li>本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。</li> </ul> </li> <li>接続先のネットワーク設定をご確認ください。</li> <li>他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHzの周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。</li> </ul>
送信できる画像がありません	送信先の制限によって、送信できる画像が1つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。（P220、224、225、227、230、233）
通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ ネットワークが切断されました。 送信を中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。</li> <li>サーバーから応答がない、または通信処理時間を超過しました。しばらくしてから再度実行してください。</li> <li>無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。もう一度接続し直してください。</li> </ul>
クラウドフォルダに画像をアップロードするには、他に PC やスマートフォン等のダウンロードできる機器をクラウド同期設定する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドフォルダから画像をダウンロードする機器が登録されていません。</li> <li>クラウド同期設定は、パソコンの場合は PHOTOfunSTUDIO で、スマートフォン/タブレットの場合は「Image App」で設定してください。クラウド同期サービスについては 233 ページをご参照ください。</li> </ul>



## メッセージ表示（続き）



メッセージ	原因・対策
通信できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続先のスマートフォン/タブレットについて、以下をご確認ください。           <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン/タブレットが動作していません。</li> <li>スマートフォン/タブレット側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。</li> <li>スマートフォン/タブレットの保存容量に空きがありません。</li> </ul> </li> </ul>
ログインできませんでした。 IDとパスワードを確認ください。	<p>「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインID、パスワードが間違っています。入力し直してください。</p> <p>ログインID、パスワードを忘れてしまった場合は、「LUMIX CLUB (PicMate)」のホームページのログイン画面に案内があります。</p>
送信先の制限のため、送信されないファイルがあります/ 送信完了しました。送信先の制限により、未送信のファイルがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信する画像のファイル形式を確認してください。 (P220、224、225、227、230、233)</li> <li>動画を送信する場合、ファイルサイズが大きいと送信できない場合があります。[動画分割]で動画を分割してください。(P199)</li> </ul>
選択できません。PicMateの ウェブページでログイン設定し てください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン/タブレットやパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、送信先 Webサービスのログイン処理を行ってください。</li> </ul>
写真専用と動画専用のウェブ サービスは、同時に選択できま せん	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真専用の Web サービスと、動画専用の Web サービスを同時に選択することはできません。どちらかの選択を解除してください。</li> </ul>
IP アドレスが取得できませ ん。アクセスポイントのIPアドレ ス設定をDHCPにしてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続する無線アクセスポイントのIPアドレスのDHCP設定を有効にしてください。</li> </ul>
サーバと接続できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルート証明書を更新するメッセージが表示された場合は、ルート証明書の更新に同意してください。</li> </ul>

# メニュー一覧



以下をクリックすると、項目の先頭に移動します。

**撮影 P282**

**カスタム P285**

**再生 P288**

**動画 P284**

**セットアップ P287**



## 撮影

画像横縦比、記録画素数などをお好みで設定できます。

- [フォトスタイル]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

<b>フォトスタイル</b>	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。	P107
<b>画像横縦比</b>	画像の横縦比を設定します。	P114
<b>記録画素数</b>	記録画素数を設定します。	P114
<b>クオリティ</b>	画像を保存するときの圧縮率を設定します。	P115
<b>測光モード</b>	明るさを測る測光方式を設定します。	P137
<b>連写速度</b>	連写時の連写速度を設定します。	P144
<b>オートブラケット</b>	オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。	P146
<b>セルフタイマー</b>	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。	P148
<b>ハイライトシャドウ</b>	画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。	P109
<b>iD レンジコントロール</b>	コントラストや露出を補正します。	P116
<b>超解像</b>	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。	P116
<b>HDR</b>	露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。	P117
<b>多重露出</b>	1枚の画像に最大4回の露光を行ったような効果を得ることができます。	P138
<b>インターバル撮影</b>	撮影開始時刻、撮影間隔、撮影枚数を設定し、動植物などの被写体を時間経過を追って自動的に撮影することができます。	P150
<b>コマ撮りアニメ</b>	写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。	P152
<b>パノラマ設定</b>	パノラマ撮影の撮影方向と画像効果を設定します。	P89

## メニュー一覧 (続き)



<b>電子シャッター</b>	静かな環境での撮影時に、シャッター音を鳴らさずに撮影できます。	P156
<b>シャッターディレイ</b>	手ブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと設定した時間が経過してからシャッターが切れます。	P165
<b>フラッシュ設定</b>	撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。	P174
<b>デジタル赤目補正</b>	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。	P180
<b>ISO感度上限設定</b>	ISO感度が[AUTO]または[ISO]のときに、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。	P142
<b>ISO感度ステップ</b>	ISO感度の設定を1/3 EVごと、または1 EVごとの設定値に変更します。	P142
<b>拡張ISO感度</b>	ISO感度が最小[ISO125]まで設定できるようになります。	P142
<b>長秒ノイズ除去</b>	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。	P118
<b>シェーディング補正</b>	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。	P118
<b>EX テレコン(写真)</b>	記録画素数を[L]以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。	P167
<b>デジタルズーム</b>	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。	P170
<b>色空間</b>	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。	P119
<b>手ブレ補正</b>	撮影時の手ブレを感じて、カメラが自動的に補正します。	P161
<b>個人認証</b>	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。	P157
<b>プロフィール設定</b>	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。	P160

## メニュー一覧 (続き)

 動画

記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

- [フォトスタイル]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iオレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。  
– 詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

記録方式	記録する動画のファイル形式(AVCHD、MP4)を設定します。	<a href="#">P181</a>
画質設定	記録する動画の画質(サイズ、フレームレートなど)を設定します。	<a href="#">P181</a>
動画露出設定	クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。	<a href="#">P102</a>
写真撮影	動画撮影中の写真の記録方法を設定します。	<a href="#">P185</a>
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。	<a href="#">P182</a>
動画ハイライト表示	白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。	<a href="#">P186</a>
EX テレコン(動画)	望遠効果を高めます。	<a href="#">P167</a>
フリッカーレンズ	動画のちらつきや横しまを軽減するために、シャッタースピードを固定することができます。	<a href="#">P187</a>
タッチ静音操作	タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。	<a href="#">P103</a>
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。	<a href="#">P187</a>
マイクレベル設定	音声入力のレベルを4段階に調整します。	<a href="#">P187</a>
風音低減	音声記録時に風雜音がある場合に、風雜音を効果的に低減します。	<a href="#">P187</a>



## メニュー一覧 (続き)

 カスタム

画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。

<b>カスタムセット登録</b>	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。	P104
<b>サイレントモード</b>	操作音と発光の禁止を一括で設定します。	P155
<b>AF/AEロック切換</b>	AF/AE ロックを行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。	P134
<b>AF/AEロック維持</b>	ピントや露出を固定して撮影する際の[AF/AE LOCK]のボタン動作を設定します。	P134
<b>シャッター半押しAF</b>	シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるか合わせないかを設定します。	P127
<b>シャッター半押しレリーズ</b>	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。	P127
<b>AFS/AFF/AFC</b>	ピントの合わせ方を設定します。	P121
<b>クイックAF</b>	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。	P127
<b>アイセンサーAF</b>	アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。	P54
<b>ピンポイントAF時間</b>	オートフォーカスマードを[+]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。	P125
<b>AF補助光</b>	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。	P128
<b>ダイレクト フォーカス移動</b>	撮影時にカーソルボタンを使って、AFエリアやMFアシストを移動します。	P125、 P132
<b>フォーカス/レリーズ優先</b>	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。	P128
<b>AF+MF</b>	自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。	P128
<b>MFアシスト</b>	MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。	P130
<b>MFガイド</b>	手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できるMFガイドを画面に表示します。	P129
<b>ピーキング</b>	手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。	P131
<b>ヒストグラム表示</b>	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	P61

## メニュー一覧 (続き)



ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。	P62
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。	P66
常時プレビュー (M モード)	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。	P78
露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。	P73
ダイヤル操作ガイド	ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。	P21
LVF表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。	P60
モニター表示スタイル	モニターの表示方法を設定します。	P60
モニター撮影情報画面	モニターの撮影情報画面を表示します。	P62
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り替えます。	P183
残枚数/残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り替えます。	P34
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	P56
ファンクション Fn ボタン設定	特定のボタンやアイコンに、よく使う機能を割り当てることができます。	P41
Q.MENU	クイックメニューの設定方法を切り替えます。	P39
ダイヤル設定	後ダイヤルと前ダイヤルの操作方法を変更します。	P22
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。	P183
パワーズームレンズ	パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。	P169
アイセンサー	アイセンサーの感度を設定します。また、アイセンサーに目や物を近づけたときに、モニター表示からファインダー表示に自動的に切り替えるか、切り替えないかを設定します。	P53
タッチ設定	タッチ操作の有効、無効を設定します。	P20
タッチ再生送り速度	タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。	P63
メニューガイド	モードダイヤルを  /  に切り換えたときに表示される画面を設定します。	P59
レンズ無しレリーズ	本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。	P25

## メニュー一覧 (続き)

 セットアップ

時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi機能に関する設定もできます。

<b>時計設定</b>	日付や時刻を変更するときに設定します。	P35
<b>ワールドタイム</b>	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。	P43
<b>トラベル日付</b>	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。	P44
<b>Wi-Fi</b>	Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。	P248
<b>電子音</b>	電子音や電子シャッター音の音量を設定します。	P44
<b>スピーカー音量</b>	スピーカーの音量を7段階に調整します。	P45
<b>モニター調整/LVF調整</b>	モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	P45
<b>モニター輝度</b>	周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。	P45
<b>エコモード</b>	本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。	P46
<b>USBモード</b>	USB接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。	P46
<b>映像出力</b>	テレビなどとの接続のしかたを設定します。	P47
<b>ピエラリンク</b>	ピエラリンク対応機器と自動的に連動させます。	P47
<b>3Dテレビ出力</b>	3D画像の出力方法を設定します。	P48
<b>メニュー位置メモリー</b>	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。	P48
<b>メニュー背景色</b>	メニュー画面の背景色を設定します。	P37
<b>メニューインフォメーション</b>	メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。	P48
<b>バージョン表示</b>	本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。	P48
<b>露出補正リセット</b>	撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正量をリセットすることができます。	P48
<b>セルフタイマー自動解除</b>	電源スイッチを[OFF]にしたときに、セルフタイマーを解除する、しないを設定します。	P48
<b>番号リセット</b>	画像のファイル番号を0001に戻します。	P49
<b>設定リセット</b>	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P49
<b>Wi-Fi 設定リセット</b>	Wi-Fiメニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く)	P49
<b>ピクセルリフレッシュ</b>	撮像素子と画像処理の最適化を行います。	P50
<b>センサークリーニング</b>	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。	P50
<b>フォーマット</b>	カードをフォーマット(初期化)します。	P50

## メニュー一覧 (続き)



## 再生

画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

<b>2D/3D 切換</b>	3D 画像の再生方法を切り替えます。	P190
<b>スライドショー</b>	画像の種類などを選んで、順番に再生します。	P190
<b>再生モード</b>	再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。	P192
<b>位置情報記録</b>	スマートフォン/タブレットで取得した位置情報(緯度・経度)を本機に送信して、画像に位置情報を書き込むことができます。	P194
<b>クリアレタッチ</b>	撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。	P195
<b>タイトル入力</b>	撮影した画像に文字(コメント)を入力します。	P196
<b>文字焼き込み</b>	撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。	P197
<b>動画分割</b>	撮影した動画を 2 つに分割します。	P199
<b>インターバル動画作成</b>	インターバル撮影グループから動画を作成します。	P200
<b>コマ撮りアニメ作成</b>	コマ撮りグループから動画を作成します。	P201
<b>リサイズ(縮小)</b>	画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。	P202
<b>トリミング(切抜き)</b>	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。	P203
<b>画像回転</b>	画像を手動で 90° ずつ回転させます。	P204
<b>縦位置自動回転</b>	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。	P204
<b>お気に入り</b>	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。	P205
<b>プリント設定</b>	プリントする画像や枚数などを設定します。	P206
<b>プロテクト</b>	画像を誤って消去するがないように保護します。	P208
<b>認証情報編集</b>	個人認証に関する情報の解除や入れ替えをします。	P209
<b>消去確認画面</b>	画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらかが最初に選ばれるかを設定します。	P209

# Q & A 故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P289～302)をお試しください。

それでも解決できない場合は、セットアップメニューの[設定リセット](P49)を行うと症状が改善する場合があります。

これらの処置をしても直らないときは、付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

## ■ バッテリー、電源について

Q(質問)	A(回答)
電源スイッチを[ON]にしても動作しない。またはすぐに切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーが消耗しています。充電してください。</li> <li>電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 → [エコモード](P46)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。</li> </ul>
電源が勝手に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビエラリンク(HDMI)対応のテレビとHDMIミニケーブル(別売)で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 → ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク]を[OFF]に設定してください。(P47)</li> </ul>
カード/バッテリー扉が閉じない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーを確実に奥まで挿入してください。(P31)</li> </ul>
バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間Wi-Fi接続を行っていませんか？Wi-Fi接続中はバッテリーの消耗が早くなります。 → [エコモード](P46)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。</li> </ul>

## ■ 撮影について

Q(質問)	A(回答)
撮影中に電源が勝手に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の温度が高いときや連続して撮影をしたときなど、撮影中に本機の温度が上昇すると、[▲]が点滅します。 [▲]が点滅したあと、メッセージが表示されると、本機を保護するために電源が自動的に切れます。電源が切れた場合、本機の温度が下がるまで撮影はできません。</li> </ul>
撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピントは合っていますか？ → 買い上げ時は、[フォーカス/レリーズ優先]が[フォーカス]に設定されているため、ピントが合うまで撮影されません。ピントが合っていない場合でもシャッターボタンの全押しで撮影されるようにしたいときは、[フォーカス/レリーズ優先]を[レリーズ]に設定してください。(P128)</li> </ul>

## Q &amp; A 故障かな?と思ったら(続き)

## ■撮影について(続き)

Q(質問)	A(回答)
撮影した画像が白っぽい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 →汚れたときは、電源スイッチを[OFF]にし、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。撮像素子が汚れたときは、<a href="#">304ページ</a>をお読みください。</li> </ul>
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>露出が正しく補正されているか確認してください。<a href="#">(P135)</a></li> <li>不適切な状態でAEロック<a href="#">(P134)</a>がかかっていませんか?</li> </ul>
1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトバランスプラケット<a href="#">(P113)</a>の設定を解除してください。</li> <li>連写<a href="#">(P144)</a>またはオートプラケット<a href="#">(P146)</a>に設定していませんか? →ドライブモードを単写に設定してください。<a href="#">(P55)</a></li> <li>セルフタイマー<a href="#">(P148)</a>を [] に設定していませんか?</li> </ul>
ピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピントが合う範囲から外れています。<a href="#">(P55)</a></li> <li>手ブレや被写体ブレしています。<a href="#">(P161)</a></li> <li>[フォーカス/レリーズ優先]が[レリーズ]になっていますか?<a href="#">(P128)</a> この場合、フォーカスマードレバーを[AF]に合わせていても、ピントが合っていないことがあります。</li> <li>[シャッター半押しAF]が[OFF]になっていますか?<a href="#">(P127)</a></li> <li>不適切な状態でAFロック<a href="#">(P134)</a>がかかっていませんか?</li> </ul>
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。 →本機を両手でしっかり持って撮影してください。<a href="#">(P52)</a></li> <li>遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー<a href="#">(P148)</a>を使って撮影してください。</li> </ul>
ホワイトバランスプラケット撮影ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードのメモリー残量はありますか?</li> </ul>
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くありませんか?(お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、室内などの撮影ではノイズが出ます) →ISO感度を低くしてください。<a href="#">(P141)</a></li> <li>[フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。<a href="#">(P108)</a></li> <li>明るい場所で撮影してください。 →[長秒ノイズ除去]を[ON]に設定してください。<a href="#">(P118)</a></li> <li>[記録画素数]<a href="#">(P114)</a>または[クオリティ]<a href="#">(P115)</a>を低く設定していませんか?</li> <li>[デジタルズーム]を設定していませんか?<a href="#">(P170)</a></li> </ul>



## Q &amp; A 故障かな?と思ったら(続き)

## ■撮影について(続き)

Q(質問)	A(回答)
蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出来る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。</li> <li>動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合、[フリッカーレンジ](P187)を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。 シャッタースピードは[1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]から選択できます。クリエイティブ動画モード(P102)でも手動でシャッタースピードを設定できます。</li> </ul>
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。</li> <li>極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。</li> </ul>
被写体がない明るい点が記録される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮像素子の画素欠けの可能性があります。[ピクセルリフレッシュ](P50)を行ってください。</li> </ul>
露出補正ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>露出補正操作になっていますか? →後ダイヤルを押して露出補正操作に切り換えてください。(P135)</li> </ul>
被写体をロックできない。(動体追尾できない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾AF枠に合わせて設定してください。(P122)</li> </ul>
操作音が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーカーを指で塞いでいませんか?(P16)</li> </ul>
シーンガイドモードの「パノラマで撮る」での撮影が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラを動かす速度が遅いと、カメラの動きを止めたと判断して撮影が終了します。</li> <li>カメラを動かすときに撮影方向に対しての揺れが大きいと、撮影が終了します。</li> </ul>



## Q &amp; A 故障かな?と思ったら(続き)

## ■ 動画について

Q(質問)	A(回答)
<b>動画が撮影できない。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。</li> </ul>
<b>動画撮影が途中で止まる。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。</li> <li>使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合や、何度も記録・消去を繰り返したカードまたはパソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット(<a href="#">P50</a>)することをお勧めします。</li> </ul>
<b>動画撮影中に画面が暗くなる。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画撮影中、バッテリーの消耗を防ぐため時間経過により画面が暗くなることがありますが、撮影された動画に影響はありません。</li> </ul>
<b>一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。</li> </ul>
<b>被写体がゆがんで見える。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の撮像素子にMOSを使用しているため、被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。</li> </ul>
<b>動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かな環境下での撮影や、使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。</li> </ul>
<b>録音される音声が非常に小さい。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](<a href="#">P182</a>)で[OFF]に設定することができます。</li> <li>動画撮影中にズームやボタン、ダイヤル操作などをすると、その操作音が記録される場合があります。操作音が気になるときは、[タッチ静音操作]を使って撮影することをお勧めします。<a href="#">(P103)</a></li> <li>動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声が小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。</li> </ul>

## Q &amp; A 故障かな?と思ったら (続き)

## ■ レンズについて

Q(質問)	A(回答)
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用するレンズによっては、ズームの倍率によりレンズの特性上僅かにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。</li> </ul>

## ■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュを閉じていませんか? → フラッシュオーブンレバーをスライドさせて、フラッシュを開いてください。(P172)</li> <li>[電子シャッター]が[ON]になっていませんか? → 電子シャッター使用時はフラッシュは発光しません。(P156)</li> <li>[サイレントモード]が[ON]になっていませんか? → サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。(P155)</li> </ul>
フラッシュが2回発光する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュは2回発光します。([フラッシュ設定]の[発光モード]を [マニュアル]に設定時を除く) 特に赤目軽減(P174)に設定している場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。</li> </ul>

## Q &amp; A 故障かな?と思ったら (続き)

## ■ モニター/ファインダーについて

Q(質問)	A(回答)
電源[ON]中に、モニター/ファインダーが消える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定した時間の間に何も操作をしないと、[モニター自動OFF] (P46)が働き、モニターが消灯します。</li> <li>アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。(P53)</li> </ul>
モニターが明るすぎたり、暗すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>[モニター輝度]の設定を確認してください。(P45)</li> <li>[モニター調整]/[LVF調整]を行ってください。(P45)</li> </ul>
一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。</li> <li>交換レンズ(H-H020A)などの明るいレンズを使用し、明るい屋外で撮影する場合に発生しやすくなります。</li> </ul>
モニターに画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファインダー表示になってしまいませんか？ → [LVF]ボタンを押して、モニター表示に切り換えてください。(P53)</li> <li>モニターが消灯になってしまいませんか？ → [DISP.]ボタンを押して表示情報を切り換えてください。(P60)</li> </ul>
[LVF]ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面はモニター表示のみになります。</li> </ul>
モニター上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。</li> </ul>
撮影時にモニター画像が一瞬揺れ動く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>撮影モード時に、本機に振動や衝撃などを与えると、モニターの画像が一瞬揺れ動くことがありますが、故障ではありません。</li> </ul>
モニターにノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>暗い場所では、モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。</li> </ul>
ファインダー撮影で目を動かしたり、カメラを速く動かしたときに赤や緑、青のちらつきが見える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これは本機ファインダーの駆動方式の特徴であり異常ではありません。記録される画像には問題ありません。</li> </ul>



## Q &amp; A 故障かな?と思ったら(続き)

## ■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
<b>再生した画像が回転しない。 意図しない方向に回転して表示される。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [縦位置自動回転](P204)を[OFF]にすると画像は回転せずに表示されます。</li> <li>• [画像回転](P204)で画像を回転することができます。</li> </ul>
<b>再生できない。 撮影した画像がない。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [REC]ボタンを押しましたか?</li> <li>• カードは入っていますか?</li> <li>• カードに再生できる画像はありますか?</li> <li>• パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか? この場合、本機で再生することはできません。 →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。</li> <li>• [再生モード]を設定していませんか? →[通常再生]に設定してください。(P192)</li> </ul>
<b>フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか?</li> <li>• 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか? →このような画像を消去するには、フォーマット(P50)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができないので、よく確認してからフォーマットしてください)</li> </ul>
<b>再生音や操作音が小さい。 カレンダー再生で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーカーを塞いでいませんか?(P16)</li> <li>• 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか?(P35)</li> <li>• パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。</li> </ul>

## Q &amp; A 故障かな?と思ったら(続き)

## ■ 再生について(続き)

Q(質問)	A(回答)
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内や暗い場所でフラッシュを使って撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込むことがあります。異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。</li> </ul>
画面に「サムネイル表示」と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他機で撮影された写真ではありませんか?その場合、画質が劣化して表示されることがあります。</li> </ul>
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル赤目補正([]、[S])が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正されることがあります。 →フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを[]にする、または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(P180)</li> </ul>
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>[AVCHD]および[MP4]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。</li> </ul>



## Q &amp; A 故障かな?と思ったら (続き)

## ■ Wi-Fi 機能について

Q(質問)	A(回答)
無線LANに接続できない。 電波が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無線LANネットワークの通信圏内でご使用ください。</li> <li>● 無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティーの設定方法が異なります。 → 無線アクセスポイントの説明書をご確認ください。</li> <li>● 電波が途切れる場合は、無線アクセスポイントの置き場所や角度を変えると電波状態が良くなる場合があります。</li> <li>● 無線アクセスポイントのネットワークSSIDが非通知設定の場合、自動接続できない場合があります。 → 無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。</li> <li>● 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されませんか? → 同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。</li> <li>● 5 GHz/2.4 GHz 切り換式の無線アクセスポイントが5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか? → 5 GHz/2.4 GHz同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。</li> <li>● バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)</li> </ul>
無線アクセスポイント が表示されない。 または接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。</li> <li>● 無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。 → 無線アクセスポイントの近くで接続してください。</li> <li>● 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。 → 無線アクセスポイントの設定内容をご確認ください。 本機が対応している無線チャンネルは1～11チャンネルです。 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1～11チャンネルの中から選び、設定してください。</li> <li>● 電波状況により無線アクセスポイントが見つからない場合があります。 → [手動接続]を行ってください。(P242)</li> <li>● 無線アクセスポイントのネットワークSSIDが非通知に設定されていますか? → 非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して設定してください。(P242)</li> <li>● 以下をお試しください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 本機と無線アクセスポイントを近づける</li> <li>- 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除く</li> <li>- 本機の向きを変える</li> </ul> </li> </ul>

## Q &amp; A 故障かな?と思ったら(続き)

## ■ Wi-Fi 機能について(続き)

Q(質問)	A(回答)
スマートフォン/タブレットとの接続に毎回時間がかかる。	• スマートフォン/タブレットのWi-Fi接続設定によっては時間がかかることがあります、故障ではありません。
スマートフォン/タブレットのWi-Fi設定画面で本機が表示されない。接続設定に時間がかかる。	→スマートフォン/タブレットのWi-Fi設定で、Wi-Fi機能をOFFにしてから、再度ONにしてお試しください。
LUMIX CLUB (PicMate)のログインID、パスワードを忘れた。	• 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン画面にある案内を確認してください。 <a href="http://lumixclub.panasonic.net/jpn/">http://lumixclub.panasonic.net/jpn/</a>
LUMIX CLUB (PicMate)の公開設定が変更できない。	• 本機から公開設定を変更することはできません。 →スマートフォン/タブレットまたはパソコンから「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインして設定を変更してください。
LUMIX CLUB (PicMate)の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。	• パソコンで編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。 • 表示順は「LUMIX CLUB (PicMate)」の画像管理のルールにも影響されることがあります。
自宅に無線アクセスポイントがないが、LUMIX CLUB (PicMate)のサービスユーザー登録をしたい。	• 無線アクセスポイントがない環境では「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録はできません。
パソコンに画像を送信できない。	• OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。
Webサービスに画像を送信できない。	→ログイン情報(ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード)が間違っていないか確認してください。 • Webサービスのサーバー、もしくは回線が混雑している可能性があります。 →しばらくしてから再度実行してください。 → LUMIX CLUB (PicMate) ( <a href="http://lumixclub.panasonic.net/jpn/">http://lumixclub.panasonic.net/jpn/</a> ) や送信先の Web サービスのサイトもご確認ください。
Webサービスに画像を送信するのに時間がかかる。	• 画像のサイズが大きすぎませんか? →[送信サイズ] (P247) で画像サイズを小さくして送信してください。 →[動画分割] (P199) で動画を分割して送信してください。 • 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。 →無線アクセスポイントの近くで送信してください。



## Q &amp; A 故障かな?と思ったら(続き)

## ■ Wi-Fi 機能について(続き)

Q(質問)	A(回答)
Webサービスにアップロードしたはずの画像が見えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像送信中に切断された場合、アップロードを完了できないことがあります。</li> <li>サーバーの状況によっては、画像をアップロードしてから Webサービスに反映されるまで少し時間がかかることがあります。 → しばらく待ってからもう一度お試しください。</li> <li>「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Webサービス連携設定」で送信状況を確認することができます。</li> </ul>
Webサービスの画像をカメラに戻したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webサービス上の画像は本機に保存(ダウンロード)することはできません。アップロードした画像は消去せず、必ずバックアップを残してください。</li> </ul>
Webサービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webサービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することはできません。 → スマートフォン/タブレットやパソコンで操作してください。</li> </ul>
修理に出したらLUMIX CLUB (PicMate)のログインID、パスワードなどが消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>修理の内容によっては、本機に登録された設定内容は消えてしまうことがあります。 →大切な設定は必ず控えを取っておいてください。</li> </ul>
送信できなかった画像がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像のサイズが大きすぎませんか? → [動画分割]で動画を分割してください。(P199) → [送信サイズ]で写真のサイズを小さくしてください。(P247)</li> <li>Webサービスの容量または枚数がいっぱいになっています。 → 「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Webサービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。</li> </ul>
Wi-Fiのパスワードを忘れた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット]を実行してください。(P49)</li> <li>→ ただし、お客様が Wi-Fi設定メニューで設定したすべての情報もリセットされます。([PicMate 設定]は除く)</li> </ul>
画像送信が途中で失敗する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像のサイズが大きすぎませんか? → [動画分割]で動画を分割して送信してください。(P199) → [送信サイズ]で写真のサイズを小さくして送ってください。(P247) → バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。</li> </ul>
動画が送信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。(P220, 224, 225, 227, 230, 233)</li> <li>画像のサイズが大きすぎませんか? → [動画分割]で動画を分割して送信してください。(P199)</li> </ul>
AV機器に画像が送信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AV機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。 また、送信に時間がかかる場合があります。</li> </ul>

## Q &amp; A 故障かな?と思ったら(続き)

## ■ Wi-Fi 機能について(続き)

Q(質問)	A(回答)
NFCで接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>お使いのスマートフォンが NFC 対応しているか確認してください。 → 本機能は、Android(OSバージョン2.3.3以上)でおサイフケータイ® Felica、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。</li> <li>スマートフォンのNFC機能がONになっているか確認してください。 → 初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能を利用される場合は、事前に初期設定が必要です。</li> <li>おサイフケータイ®Felicaご利用時、インターネットで接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。</li> <li>[NFC動作]が[OFF]になっていませんか? (P249)</li> <li>お使いのスマートフォンによっては、タッチしても認識しにくい機種があります。タッチしても認識されない場合は、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。</li> <li>タッチする時間が短いと認識できない場合があります。スマートフォンをしばらくタッチし続けてください。</li> </ul>

## ■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q(質問)	A(回答)
テレビに画像が出ない。 テレビ画面が流れたり色が付かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しく接続されていますか? → テレビの入力切換を外部入力にしてください。</li> </ul>
テレビ画面と本機のモニターの表示される領域が違う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れで表示されることがあります。</li> </ul>
テレビで動画の再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか? → AVケーブル(別売)またはHDMIミニケーブル(別売)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P253)</li> </ul>
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P47)</li> </ul>
ビエラリンク(HDMI)が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMIミニケーブル(別売)で正しく接続されていますか? (P253) → HDMIミニケーブル(別売)が奥まで確実に入っていることを確認してください。 → 本機の[□]ボタンを押してください。</li> <li>本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか? (P47) → テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) → 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 → 本機の電源を入れ直してください。 → テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)</li> </ul>



## Q &amp; A 故障かな?と思ったら (続き)

## ■ テレビ、パソコン、プリンターについて(続き)

Q(質問)	A(回答)
パソコンとの通信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しく接続されていますか?</li> <li>パソコンが本機を正常に認識していますか? →本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P46、259) →本機の電源を入れ直してください。</li> </ul>
パソコンにカードが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>→USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。 →1台のパソコンに2つ以上のUSB端子がある場合、別のUSB端子に接続してみてください。</li> </ul>
パソコンにカードが認識されない。 (SDXCメモリーカードを使用している)	<ul style="list-style-type: none"> <li>お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 <a href="http://panasonic.jp/support/sd_w/">http://panasonic.jp/support/sd_w/</a></li> <li>接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります、フォーマットしないでください。</li> <li>モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。</li> </ul>
プリンターに接続して、プリントができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 →本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P46、262)</li> </ul>
プリントすると、画像の端が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>トリミング(切抜き)や「縁なし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング(切抜き)または「縁なし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください) →お店によっては、横縦比を16:9に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。</li> </ul>
パノラマ写真がうまくプリントできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パノラマ写真是、横縦比が通常の写真と異なるため、正しく印刷できない場合があります。 →パノラマ写真に対応したプリンターをお使いください。(詳しくはプリンターの説明書をお読みください) →CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、プリントする用紙に合わせて写真のサイズを調整することをお勧めします。</li> </ul>



## Q &amp; A 故障かな?と思ったら(続き)

## ■ その他

Q(質問)	A(回答)
電源[ON]時に、本体から音がする。	•ダストリダクション機能( <a href="#">P304</a> )が動作する音で、故障ではありません。
レンズ部から音がする。	•電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。 •ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、モニターの画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
画像の一部が白と黒に点滅する。	•白飛びが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。 <a href="#">(P66)</a>
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	•暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ( <a href="#">P128</a> )が赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	•[AF補助光]を[ON]に設定していますか? <a href="#">(P128)</a> •明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	•ご使用中、本機表面やモニターの裏側が多少熱くなることがあります、性能・品質には問題ありません。
時計が合っていない。	•本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定してください。 <a href="#">(P35)</a>
ファイル番号が連続して記録されない。	•特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。
ファイル番号がさかのぼって記録される。	•電源スイッチを[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。したがって、再度電源スイッチを[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録されることがあります。

# 使用上のお願い



## 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター(別売: DMW-AC8)、DCカプラ(別売: DMW-DCC11)を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

## お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

続く

## 使用上のお願い（続き）



## ■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあります。撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやはこりが付着するのを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

## ダストリダクション機能について

本機は、撮像素子前面に付着したごみやはこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きますが、特にごみが気になる場合はセットアップメニューの[センサークリーニング]（P50）を行ってください。

## 撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、以下のことを必ずお守りください。

- プロワー（市販）で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- プロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- プロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、プロワーが撮像素子に触ると傷がつきます。
- プロワー以外のものは使用しないでください。
- プロワーでもごみやはこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

## ■ ファインダーのアイカップのお手入れについて

- アイカップは取り外しきれませんので、汚れた場合などお手入れの際は、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけてください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

## モニター/ファインダーについて

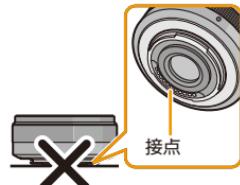
- モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター/ファインダーは、精度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。モニター/ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

## 使用上のお願い（続き）

## レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズ取り付け部を下にして置かないでください。また、レンズの接点を汚さないようにお気をつけください。



## バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

## 使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

## 出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P271）

## バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れる、本機を傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

## 使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>



充電式  
リチウムイオン  
電池使用

**Li-ion 20**

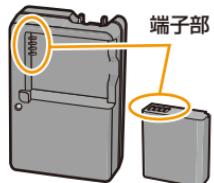
## 使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

## 使用上のお願い（続き）

## チャージャーについて

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波などの影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.1Wの電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



## カードについて

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されることがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失することがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

## メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

## 使用上のお願い（続き）



## 個人情報について

プロフィール設定／個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

個人情報の保護のため、Wi-Fi パスワードを設定することをお勧めします。（P249）

## 免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。

個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 修理依頼または譲渡／廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を [Wi-Fi 設定リセット]/[消去・退会] を行って必ず消去してください。（P49、238）
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。（P49）
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡／廃棄する際は、306 ページの「メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。

## 画像を Web サービスにアップロードするとき

- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

## 長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。  
(推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが [OFF] であっても、絶えず微少電流が流れています。これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、バッテリー残量がなくなつてから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

## 画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機で撮影、編集した画像は、他機では正しく再生されない場合や、効果が反映されない場合があります。また、他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

## 使用上のお願い（続き）



## 三脚／一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚／一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚／一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。  
無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることができますので、お気をつけください。
- 本機に径の大きなレンズを取り付けた場合、三脚／一脚によっては台座にレンズが接触するものがあります。接触した状態でねじを締めると、本機やレンズを損傷することがありますので、三脚アダプター（別売：DMW-TA1）を取り付けてから三脚／一脚に装着することをお勧めします。
- 三脚／一脚の説明書もよくお読みください。

## ショルダーストラップについて

- 本体に重いレンズ（約1kg以上）を付けた場合、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。本体とレンズを持って持ち運びしてください。

—このマークがある場合は—

## ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

## 使用上のお願い（続き）



- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズロゴマークはオリンパスイメージング(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”的ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setupのマークは、“Wi-Fi Alliance”的商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“Wi-Fi Direct”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”的商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- ≪は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- おサイフケータイ®は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

**AVCHD™**  
Progressive



## 使用上のお願い（続き）

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# さくいん



## あ行

アイカップ	304
アイセンサー	53
アイセンサーAF	54
青空をさわやかに撮る	83
アクセス表示	32
圧縮率	115
位置情報記録	194
位置情報データ消去	247
イルミネーションをキラキラ撮る	86
色温度設定	112
色空間	119、260
インターバル撮影	150、189
インターバル動画作成	200
インテリジェントオートプラスモード	68
インテリジェントオートモード	68
インテリジェントISO	141
インプレッシブアート	96
動くペットをきちんと撮る	88
後ダイヤル	21
映像出力	47
エコモード	46
オートフォーカスマード	120
オートプラケット	146
オートホワイトバランス	111
オートレビュー	56
オールドデイズ	94
お気に入り	205
お気に入り登録する（Wi-Fi接続）	244
お手入れ	303

## か行

カード	31、32、306
ガイドライン表示	62
外部フラッシュ	178、268
顔認識	69、122
拡張ISO感度	142
画質設定（動画撮影時）	181
画質調整	108
カスタムセット登録	104

カスタムメニュー	285
カスタムモード	104
風音低減	187
画像回転	204
画像横縦比	114
カメラ内の画像を送る	246
カレンダー再生	188
感度	53
機器名称	248
逆光でしっかり撮る	82
逆光でふんわり撮る	82
逆光補正	70
記録画素数	114
記録可能時間（動画撮影時）	30、34
記録可能枚数	29、33
記録方式	181
記録枠表示	183
クイックメニュー	38
クイックAF	127
クオリティ	115
クラウド上限枚数動作	247
クラウド同期サービス	233
クリアレタッチ	195
クリエイティブコントロールモード	92
クリエイティブ動画モード	102
グループ画像	189
クロスフィルター	99
クロスプロセス	97
検出レベル	131
光学ズーム	166
個人認証	157
子どもをかわいく撮る	83
コマ撮りアニメ	152、189
コマ撮りアニメ作成	201
コントラスト	108

## さ行

再生	63
再生ズーム	64
再生メニュー	288

## さくいん（続き）



再生モード	192	スピーカー音量	45
彩度	108	スポーツをきれいに撮る	88
サイレントモード	155	スポット測光	137
撮影距離基準	133	スマートフォンとつないで使う	215
撮影中に画像を送る	246	スライドショー	190
撮影メニュー	282	スリープモード	46
三脚	308	設定リセット	49
サンシャイン	101	セットアップメニュー	43, 287
残枚数 / 残時間切換	34	セピア	95
シーンガイドモード	81	セルフタイマー	148
シェーディング補正	118	セルフタイマー自動解除	48
ジオラマ	98	センサークリーニング	50
自動シーン判別	68, 69	送信サイズ	247
視度調整	54	送信ファイル形式	247
絞り優先 AE モード	75	測光モード	137
シャープネス	108	ソフトフォーカス	99
写真撮影（動画撮影時）	185		
シャッターディレイ	165		
シャッター半押しリリーズ	127		
シャッター半押し AF	127		
シャッター優先 AE モード	76		
シャッターリモコン	269		
充電	27		
消去	67		
消去確認画面	209		
常時プレビュー（M モード）	78		
焦点距離設定	164		
焦点距離表示	169		
ショルダーストラップ	26		
シルキーモノクローム	96		
人物の肌をきれいに撮る	82		
人物をきれいに撮る	82		
スイーツをかわいく撮る	88		
水準器表示	62		
水面をキラキラ撮る	84		
ズーム	166		
ズーム位置メモリー	169		
ズーム速度	169		
ズームリング操作	169		
ステップズーム	169		

## た行

タイトル入力	196
ダイナミックモノクローム	95
ダイヤル設定	22
ダイヤル操作ガイド	21
ダイレクトフォーカス移動	125, 132
宅外 AV 機器設定	239
多重露出	138
ダストリダクション機能	304
タッチ再生送り速度	63
タッチシェアリング	249
タッチシャッター	56
タッチズーム	171
タッチ静音操作	103
タッチ設定	20
タッチタブ	20
タッチパッド AF	20, 54
タッチパネル	19, 20
タッチ AE	20, 139
タッチ AF	20
縦位置検出機能	52
縦位置自動回転	204
ダビング	261

## さくいん（続き）



中央重点測光	137	ハイライトシャドウ	109
超解像	116	ハイライト表示	66
長秒ノイズ除去	118	パソコン接続	227, 256
追尾 AF	122	発光モード	177, 179
露付き	12	バッテリー	27, 31, 305
デジタル赤目補正	180	花をふんわり撮る	87
デジタルズーム	170	パノラマ設定	89
デフォルトに戻す	41, 42	パノラマで撮る	89
手ブレ補正	161	バルブ	78
手ブレ補正（本体）	163	パワーズームレンズ	169
手ブレ補正（レンズ）	162	番号リセット	49
テレビ再生	223, 253	ピーキング	131
電子音	44	ビエラリンク	47, 254
電子シャッター	156	ピクセルリフレッシュ	50
電子シャッター音音量	44	ヒストグラム表示	61
トイフォト	97	日付プリント	207, 264, 265
トイポップ	97	ピント	120, 121, 182
動画から写真を作成	193	ピンポイント	123
動画再生	65	ピンポイント AF 時間	125
動画撮影	57, 102, 181	ファイル番号	49, 260, 277
動画撮影中に写真を記録	185	ファインダー	53, 272
動画撮影メニュー	186, 284	ファンクションボタン	41
動画ハイライト表示	186	ファンタジー	99
動画分割	199	フィルター効果	108
動画ボタン	57, 183	風景をきれいに撮る	83
動画露出設定	102	フォーカスエリア選択	41
時計設定	35	フォーカス / レリーズ優先	128
ライブモード	143	フォーマット	33, 50
トラベル日付	44	フォトスタイル	107
トリミング（切抜き）	203	フォルダーパン号	49, 260, 277
<b>な行</b>		フラッシュ	172
認証情報	249	フラッシュ光量調整	135, 176, 179
認証情報編集	209	フラッシュシンクロ	176
ネットワークアドレス表示	249	フラッシュ設定	174
ノイズリダクション	108	フラッシュモード	174
<b>は行</b>		ブリーチバイパス	97
バージョン表示	48	フリッカー軽減	187
ハイキー	94	プリント	224, 262
ハイダイナミック	96	プリント設定	206
		プリント枚数	206, 264

## さくいん（続き）



プレビュー	79
プログラムシフト	74
プログラム AE モード	73
プロジェクト	208
プロフィール設定	160
ボケ味コントロール	71, 93
ホットシュー	268
ホットシューカバー	268
ポップ	94
ほのぼのした雰囲気で撮る	83
ホワイトバランス	110
ホワイトバランス微調整	112
ホワイトバランスブラケット	113
<b>ま行</b>	
マイクレベル設定	187
マイクレベル表示	187
前ダイヤル	21
マニュアル発光量設定	177, 179
マニュアルフォーカス	129
マニュアル露出モード	77
マルチ再生	188
マルチ測光	137
メニュー位置メモリー	48
メニューインフォメーション	48
メニューガイド	59
メニュー背景色	37
文字入力	51
文字焼き込み	197
モニター	18, 272
モニター輝度	45
モニター撮影情報画面	38, 42, 60, 62
モニター自動 OFF	46
モニター調整	45
モニター表示スタイル	60
モノクローム	95
モノクロで撮る	88
<b>や行</b>	
夜景をアーティスティックに撮る	85
夜景を暖かく撮る	85
夜景をきれいに撮る	84
夜景をバックに人物をきれいに撮る	86
夕焼けを印象的に撮る	84
夕焼けを幻想的に撮る	84
用紙サイズ	264
夜空をクールに撮る	85
<b>ら行</b>	
ライブビューモード	46
ラフモノクローム	96
リサイズ（縮小）	202
リモート撮影	217
料理をおいしそうに撮る	87
レイアウト	264
レトロ	94
連写	144, 189
連写速度	144
レンズ	23, 24, 305
レンズ無しレリーズ	25
ローキー	95
露出補正	135
露出補正リセット	48
露出補正連動	177
露出メーター	73, 78
<b>わ行</b>	
ワールドタイム	43
ワイアレス設定	179
ワイアレスチャンネル	178
ワイアレス通信光量	178
ワイアレスフラッシュ	178
ワイアレスプリント	224
ワイアレスモード	178
ワイアレス FP	178
ワンピッシュ AE	80
ワンポイントカラー	100

## 英数字

1 枚消去	42, 67
2D/3D 切換	190, 252
3D 写真	250

## や行

夜景をアーティスティックに撮る	85
夜景を暖かく撮る	85

## さくいん（続き）



3D テレビ出力 .....	48
AC アダプター .....	270
AF 補助光 .....	128
AF 連続動作（動画） .....	182
AFC .....	121, 182
AFF .....	121, 182
AF-ON .....	130, 134
AFS .....	121, 182
AFS/AFF/AFC .....	121
AF/AE ロック .....	134
AF/AE ロック維持 .....	134
AF/AE ロック切換 .....	134
AF+MF .....	128
AV 機器 .....	225
AV ケーブル .....	253, 261
AVCHD .....	181
プログレッシブ .....	
AVCHD Progressive .....	181
B（パレブ） .....	78
DC カブラー .....	270
DCF 規格 .....	63
EX テレコン .....	167
ファンクション .....	
Fn ボタン設定 .....	41
コントロール .....	
HDAVI Control™ .....	254
HDMI 出力解像度 .....	47
HDMI ミニケーブル .....	253
HDR .....	117
iD レンジコントロール .....	116
Image App .....	214
iOS .....	214
IP アドレス .....	249
ISO 感度 .....	141
ISO 感度上限設定 .....	141, 142
ISO 感度ステップ .....	142
i.ISO（インテリジェント ISO） .....	141
ルミックス クラブ ピクメイト .....	
LUMIX CLUB (PicMate) .....	235
LVF 調整 .....	45
LVF 表示スタイル .....	60
LVF/モニター自動切換 .....	53
MAC アドレス .....	249
MC プロテクター .....	270
MF .....	129
MF アシスト .....	130, 132
MF ガイド .....	129
MP4 .....	181
ND フィルター .....	270
NFC .....	216, 218
NFC 動作 .....	249
PC 接続設定 .....	248
PHOTOfunSTUDIO .....	257
ピクメイト .....	
PicMate 設定 .....	235
ピクトプリッジ .....	
PictBridge .....	262
PL フィルター .....	270
クイックメニュー .....	
Q.MENU .....	38, 39
RAW .....	115
SD スピードクラス .....	32
TTL .....	177, 179
TV 画面タイプ .....	47
TV で見る .....	223
USB 接続ケーブル .....	259, 262
USB モード .....	46
Web サービス .....	230
Wi-Fi 機能 .....	213
Wi-Fi 設定メニュー .....	248
Wi-Fi 設定リセット .....	49
Wi-Fi パスワード .....	249
Wi-Fi Direct .....	243
WPS .....	241



QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて  
使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2013